

市川市子ども・子育て支援事業計画
策定に係る市民ニーズ調査
＜中間報告書＞

平成31年2月13日

市川市

目次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査対象・件数	1
	(1) 調査の設計	1
	(2) 調査方法及び期間	1
	(3) 回収結果	1
	(4) 調査項目	2
3	調査結果の見方	2
II	調査の集計・分析結果	3
	【1 就学前児童（0～5歳）のいる世帯】	3
	(1) 居住地区	3
	(2) 子どもと家族の状況	3
	(3) 子育て環境	5
	(4) 地域の子育て支援事業について	7
	(5) 幼稚園・保育所等の利用状況	10
	(6) 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	23
	(7) 病気の際の対応	26
	(8) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	29
	(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方	33
	(10) 保護者の就労状況	39
	(11) 育児休業など職場の両立支援制度	43
	(12) 総合	48
	【2 小学生（1～6年生）のいる世帯】	50
	(1) 居住地区	50
	(2) 子どもと家族の状況	50
	(3) 子育て環境	52
	(4) 病気の際の対応	54
	(5) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	56
	(6) 放課後の過ごし方	59
	(7) 保護者の就労状況	69
	(8) 子ども本人へのアンケート	74
	(9) 総合	75

【3 妊婦の方のいる世帯】	77
（1）居住地区	77
（2）家族の状況	77
（3）子育て環境	79
（4）地域の子育て支援事業の利用状況	82
（5）幼稚園や保育所、その他の利用希望	84
（6）土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	88
（7）育児休業など職場の両立支援制度	90
（8）保護者の就労状況	94
（9）総合	99

I 調査の概要

1 調査目的

平成27年度を始期とする支援事業計画の計画期間の終期が平成31年度(2019年度)であり、2020年度を始期とする第二期の子ども・子育て支援事業計画を改めて作成する必要があることから、市民の意識・ニーズ等のアンケート調査を行うことを目的とする。

2 調査対象・件数

(1) 調査の設計

調査種別	項目	内容
1. 就学前児童(0～5歳)	ア. 調査対象者	市内在住で就学前児童のいる世帯
	イ. 対象者数	4,500
	ウ. 抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
2. 小学生(1～6年生)	ア. 調査対象者	市内在住で小学生のいる世帯
	イ. 対象者数	2,500
	ウ. 抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
3. 妊婦	ア. 調査対象者	市内在住で妊婦のいる世帯
	イ. 対象者数	394
	ウ. 抽出方法	窓口来訪者に配布

(2) 調査方法及び期間

調査種別	方法	期間
1. 就学前児童(0～5歳)	郵送配布・郵送回収	平成30年11月20日～12月20日
2. 小学生(1～6年生)		
3. 妊婦	窓口にて直接配布・郵送回収	平成30年11月19日～12月20日

(3) 回収結果

調査種別	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
1. 就学前児童(0～5歳)	4,500	2,588	2,574	57.2%
2. 小学生(1～6年生)	2,500	1,356	1,332	53.3%
3. 妊婦	394	43	43	10.9%

(4) 調査項目

調査種別	調査項目
1. 就学前児童（0～5歳）	(1) 居住地区 (2) 子どもと家族の状況 (3) 子育て環境 (4) 地域の子育て支援事業 (5) 幼稚園・保育所等の利用状況 (6) 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望 (7) 病気の際の対応 (8) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用 (9) 小学校就学後の放課後の過ごし方 (10) 保護者の就労状況 (11) 育児休業など職場の両立支援制度 (12) 総合
2. 小学生（1～6年生）	(1) 居住地区 (2) 子どもと家族の状況 (3) 子育て環境 (4) 病気の際の対応 (5) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用 (6) 放課後の過ごし方 (7) 保護者の就労状況 (8) 子ども本人へのアンケート (9) 総合
3. 妊婦	(1) 居住地区 (2) 家族の状況 (3) 子育て環境 (4) 地域の子育て支援事業 (5) 幼稚園や、保育所、その他の利用希望 (6) 土曜・休日の幼稚園・保育所等の利用希望 (7) 育児休業など職場の両立支援制度 (8) 保護者の就労状況 (9) 総合

3 調査結果の見方

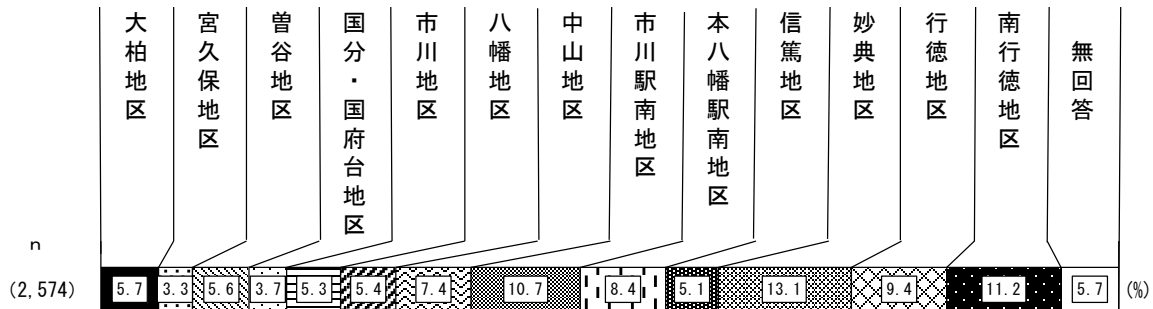
- ①この報告書の設問および図表中のnとは、設問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
- ②回答の比率(%)はnを基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位までを示した。したがって、合計が100%にならない場合がある。
- ③回答者数が10に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていないものがある。
- ④本文中で、百分率の比較をする際には、ポイントと表記している。
- ⑤選択肢の文章が長い場合等、設問の表現を変えている場合がある。

II 調査の集計・分析結果

【1 就学前児童（0～5歳）のいる世帯】

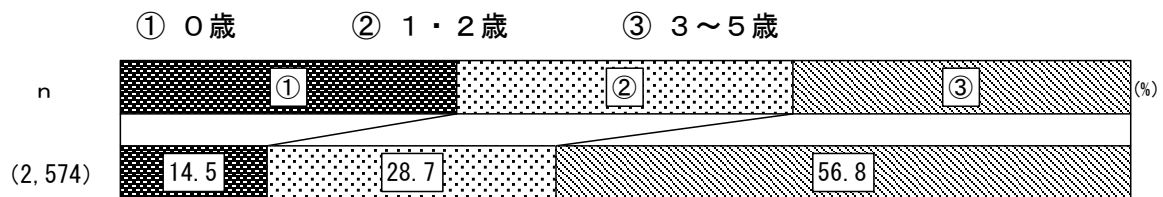
(1) 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

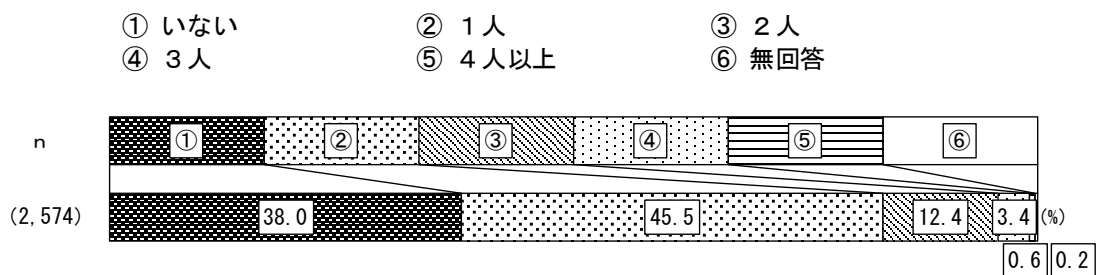


(2) 子どもと家族の状況

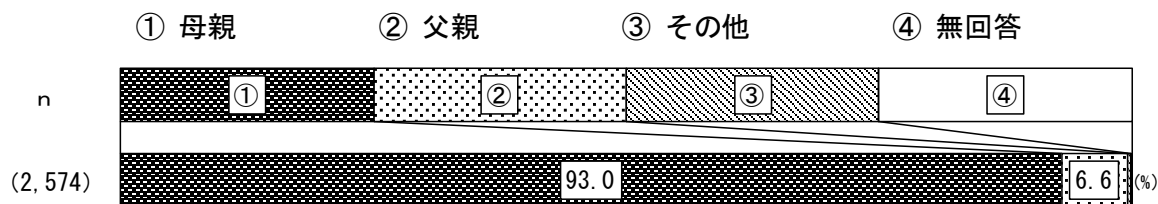
問2 お子さんの年齢は何歳ですか。



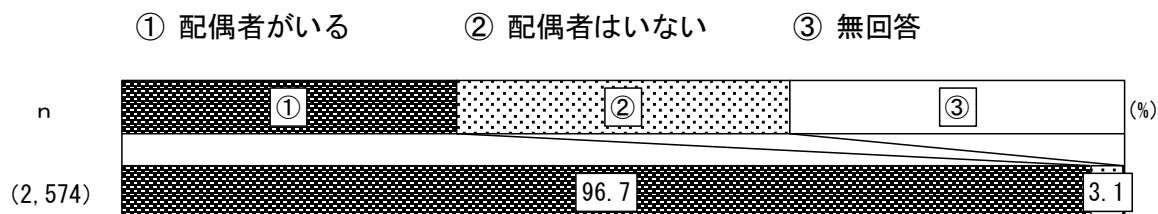
問3 お子さんのきょうだいは何人いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



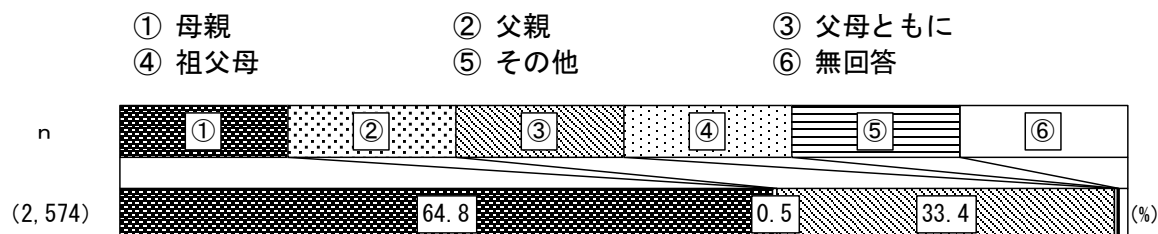
問4 この調査票に記入されているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問5 この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

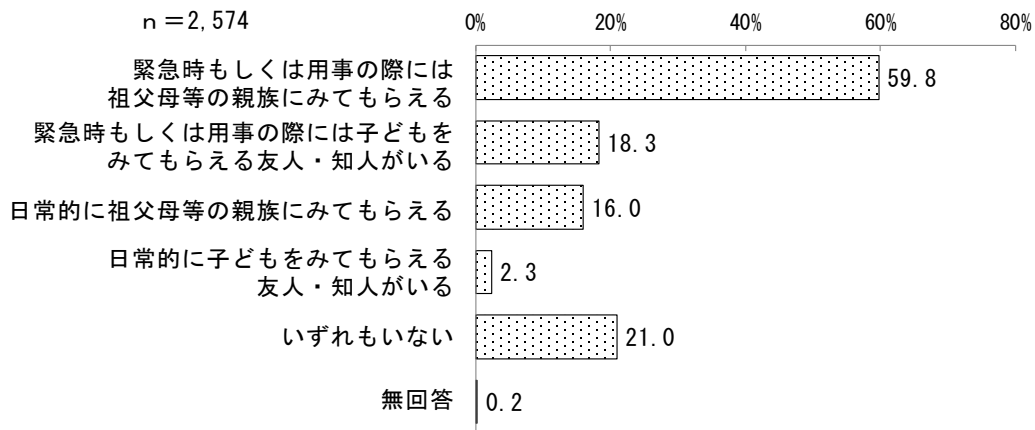


(3) 子育て環境

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

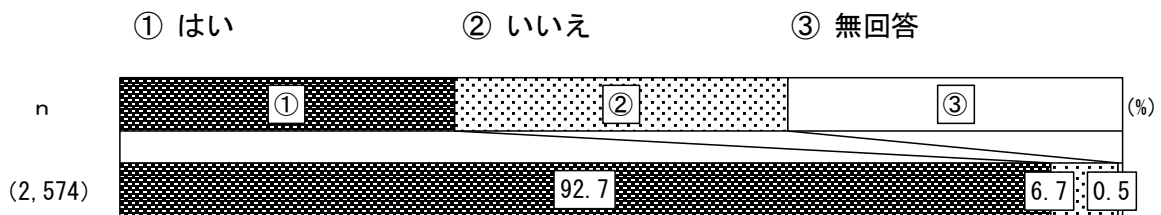
相談相手がいる中では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が59.8%と最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が18.3%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が16.0%の順となっている。一方、「いずれもない」は21.0%となっている。



問8 お子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか(いますか)。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

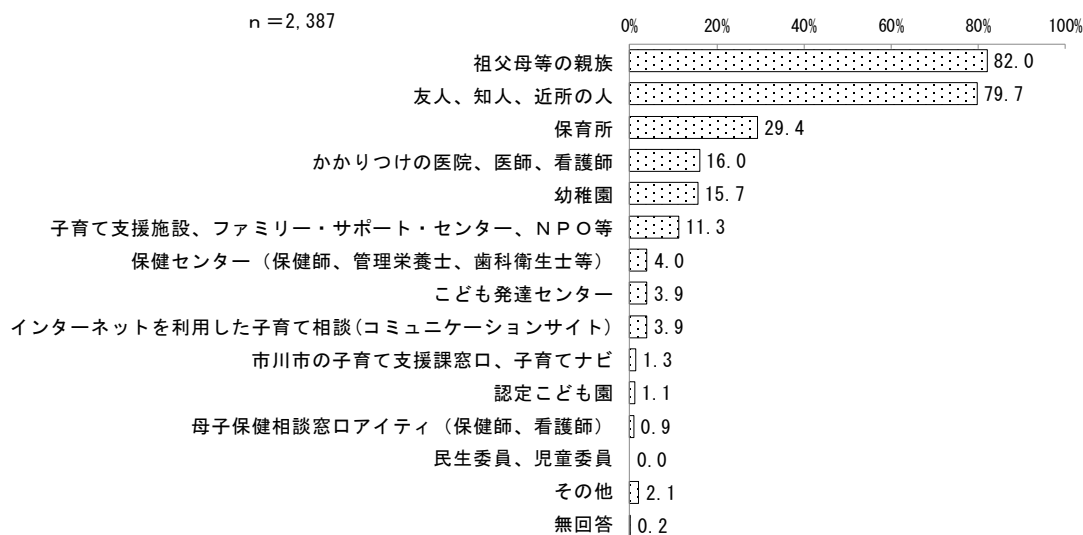
「はい」が92.7%と多くなっている。



問9 問8で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

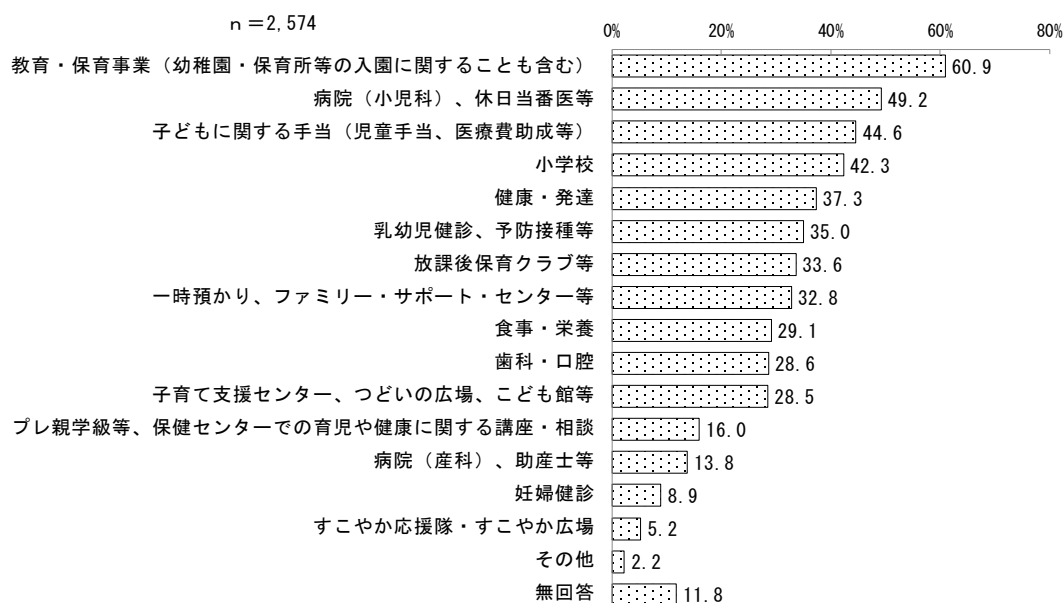
「祖父母等の親族」が82.0%と最も多く、次いで「友人、知人、近所の人」が79.7%、「保育所」が29.4%の順となっている。



問10 子育てに関するどのような情報を入手したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

「教育・保育事業（幼稚園・保育所等の入園に関することも含む）」が60.9%と最も多く、次いで「病院（小児科）、休日当番医等」が49.2%、「子どもに関する手当（児童手当、医療費助成等）」が44.6%の順となっている。

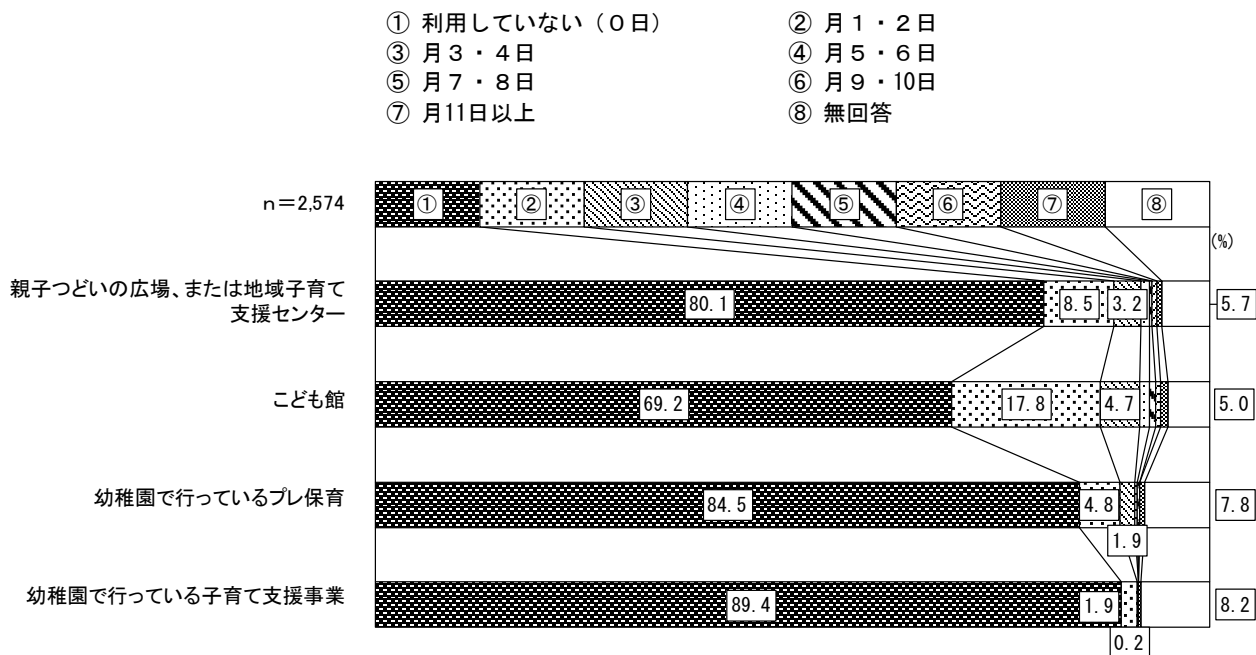


(4) 地域の子育て支援事業について

問12 地域の子育て支援事業をどのくらい利用していますか。 A欄（現在の利用日数）

【分析】

「利用していない」の割合が最も多いが、希望している中では「利用していない」の割合が最も多いが、利用している中では「こども館」が25.8%と最も多く、次いで「親子つどいの広場、または地域子育て支援センター」が14.2%となっている。また、利用日数はどの事業でも「月1・2日」が最も多くなっている。

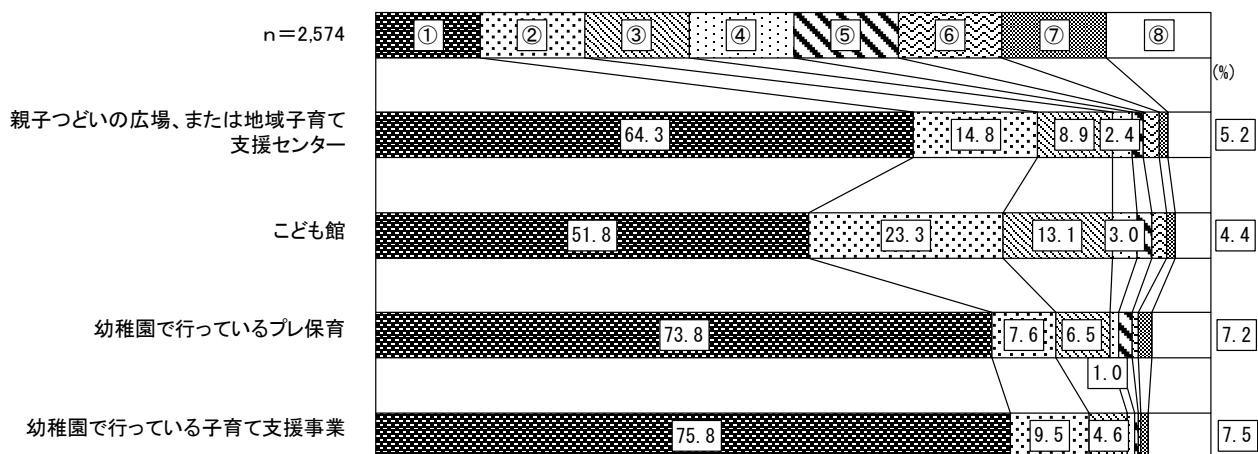


問12 地域の子育て支援事業を希望としてどのくらい利用したいですか。 B欄（希望する利用日数）

【分析】

「利用を希望しない」の割合が最も多いが、希望している中では「こども館」が43.8%と最も多く、次いで「親子つどいの広場、または地域子育て支援センター」が30.5%となっている。また、希望日数はどの事業でも「月1・2日」が最も多くなっている。

- ① 利用を希望しない（0日）
- ② 月1・2日
- ③ 月3・4日
- ④ 月5・6日
- ⑤ 月7・8日
- ⑥ 月9・10日
- ⑦ 月11日以上
- ⑧ 無回答



問13 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望 総括

	知っている	利用したことがある	今後利用したい
①市のプレ親学級・パパママ栄養クラス	64.0%	35.9%	-
②母子保健相談窓口アイティ	39.6%	17.1%	29.9%
③乳児・1歳6ヶ月児・3歳児健康診査	93.6%	88.6%	68.8%
④保健センターによる子育て相談・講座	79.9%	62.4%	48.3%
⑤家庭教育学級	15.5%	5.6%	32.8%
⑥教育センターによる教育相談	18.9%	2.7%	37.6%
⑦保育所の地域交流事業・園庭開放	69.9%	29.6%	50.3%
⑧幼稚園の育児相談・園庭開放	57.0%	24.8%	51.0%
⑨子育て家庭総合支援センター	34.8%	7.2%	46.3%
⑩児童家庭支援センター・このだ	9.0%	1.0%	19.2%
⑪こども発達センター	37.1%	8.1%	32.4%
⑫すこやか応援隊	28.5%	9.1%	39.2%
⑬子育てナビ	57.7%	29.2%	52.5%
⑭いちかわ子育てガイドブック	80.0%	54.6%	63.6%
⑮いちかわっこWEB	56.9%	38.7%	55.8%
⑯予防接種スケジュールナビ	62.7%	38.4%	57.8%

【分析】

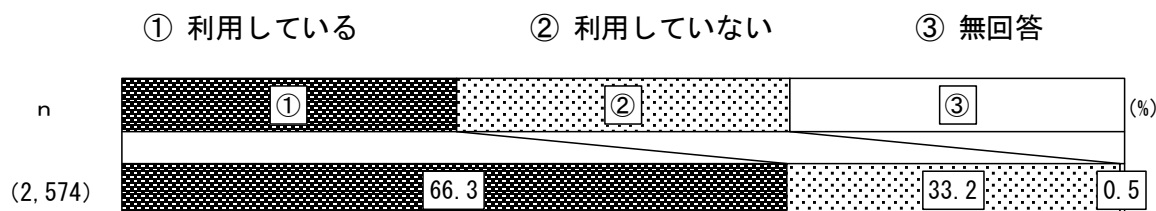
認知度（「知っている」）では「乳児・1歳6ヶ月児・3歳児健康診査」が93.6%と最も多く、次いで「いちかわ子育てガイドブック」が80.0%となっている。利用状況（「利用したことがある」）では「乳児・1歳6ヶ月児・3歳児健康診査」が88.6%と最も多く、次いで「保健センターによる子育て相談・講座」が62.4%となっている。利用希望（「今後利用したい」）では「乳児・1歳6ヶ月児・3歳児健康診査」が68.8%と最も多く、次いで「いちかわ子育てガイドブック」が63.6%となっている。

(5) 幼稚園・保育所等の利用状況

問14 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

「利用している」が66.3%となっている。

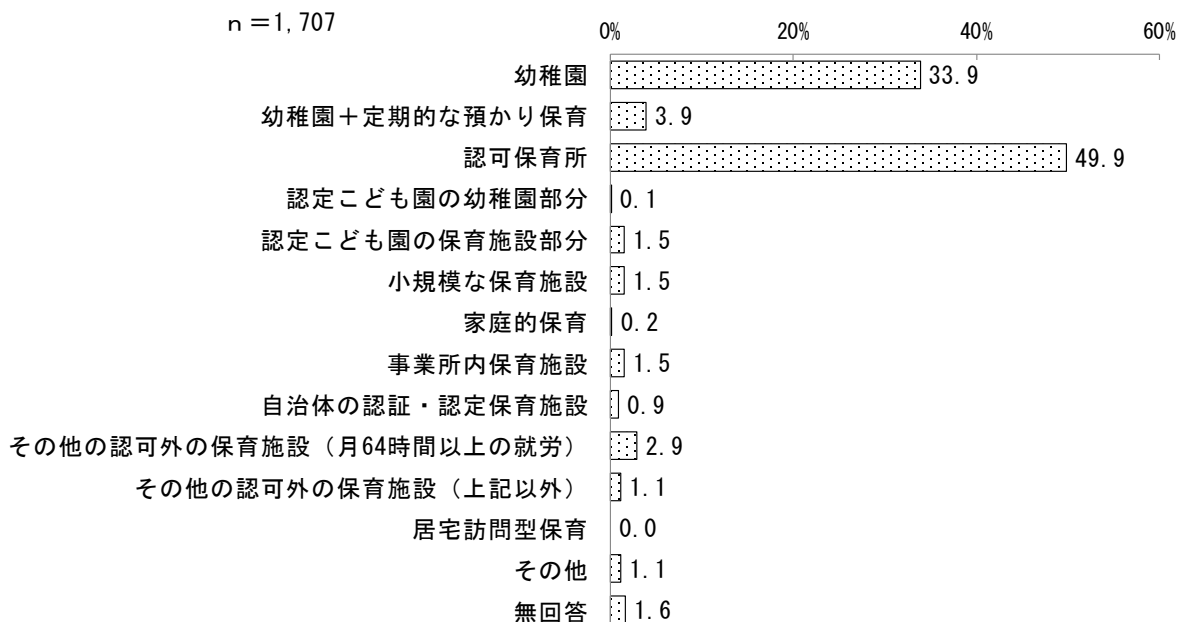


問15 問15～問18は、問14で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんは、平日主にどのような教育・保育事業を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

「認可保育所」が49.9%と最も多く、次いで「幼稚園」が33.9%、「幼稚園＋定期的な預かり保育」が3.9%の順となっている。



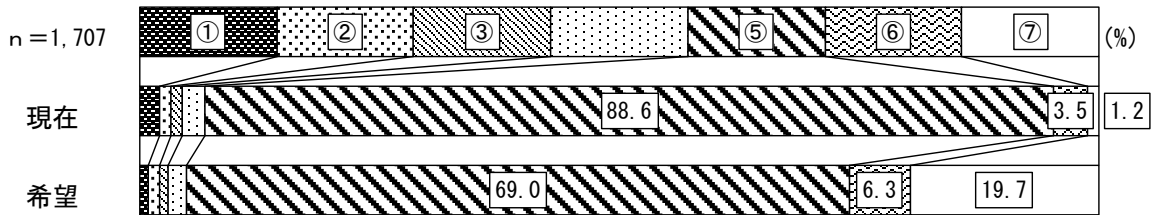
問16 教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

■ 1週あたり日数

【分析】

現在・希望ともに「1週あたり5日」が最も多く、それぞれ88.6%、69.0%となっている。

- ① 1週あたり1日 ② 1週あたり2日
- ③ 1週あたり3日 ④ 1週あたり4日
- ⑤ 1週あたり5日 ⑥ 1週あたり6日以上 ⑦ 無回答

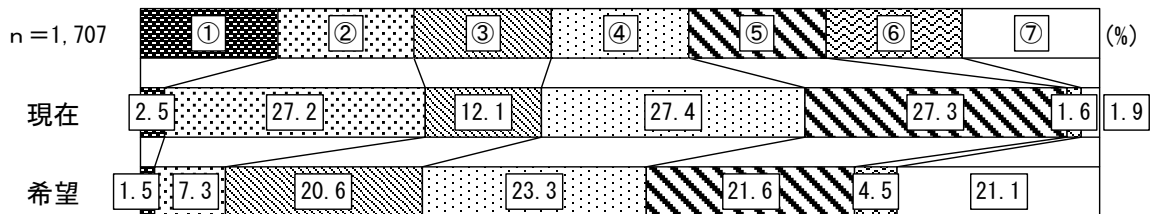


■ 1日あたり時間

【分析】

現在・希望ともに「1日あたり8・9時間以下」が最も多く、それぞれ27.4%、23.3%となっている。

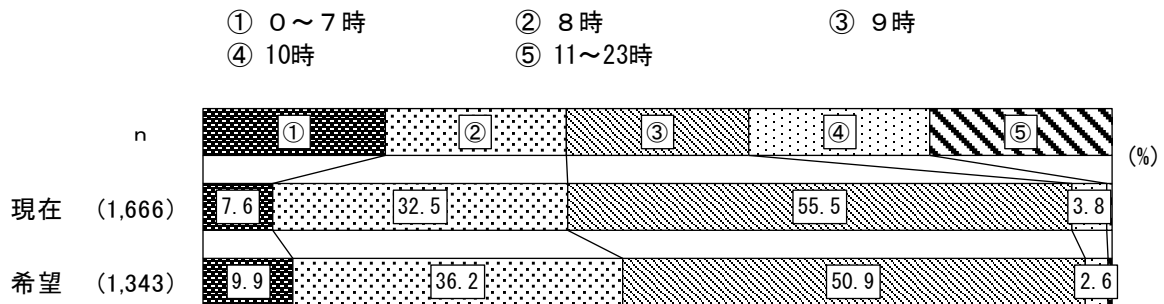
- ① 1日当たり3時間以下 ② 1日当たり4・5時間以下
- ③ 1日当たり6・7時間以下 ④ 1日当たり8・9時間以下
- ⑤ 1日当たり10・11時間以下 ⑥ 1日当たり12時間以上 ⑦ 無回答



■開始時刻

【分析】

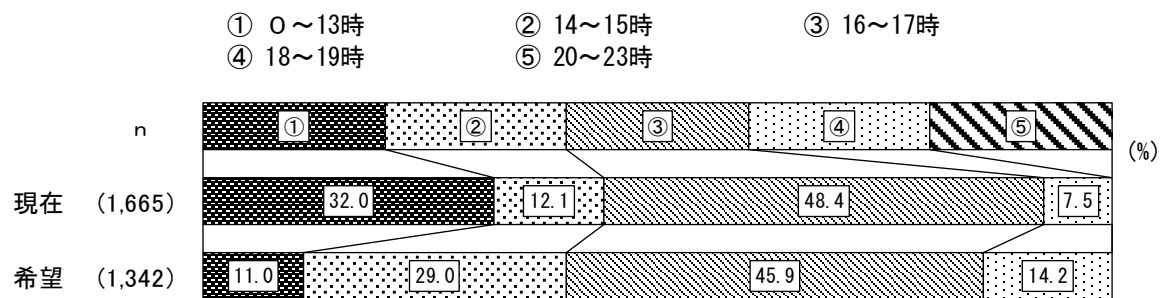
現在・希望ともに「9時」が最も多く、それぞれ55.5%、50.9%となっている。



■終了時刻

【分析】

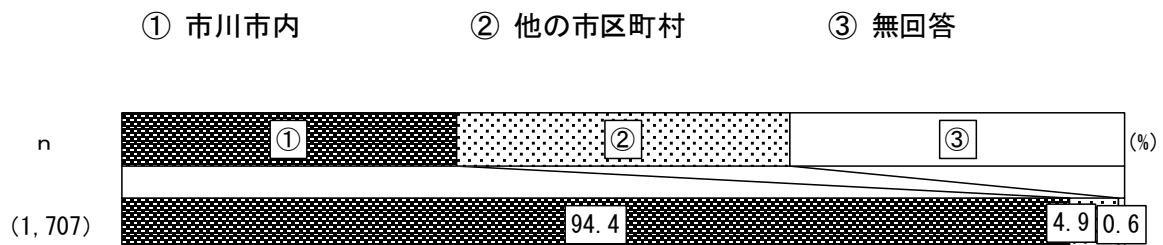
現在・希望ともに「16～17時」が最も多く、それぞれ48.4%、45.9%となっている。



問17 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

【分析】

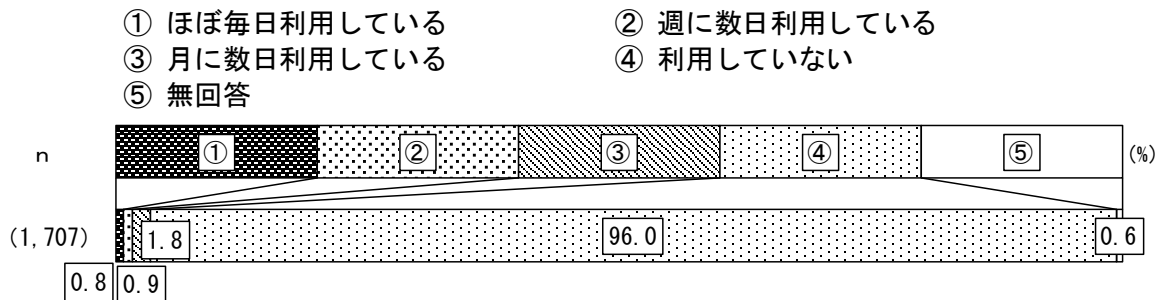
「市川市内」が94.4%と顕著に多くなっている。



問18 現在、利用している教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

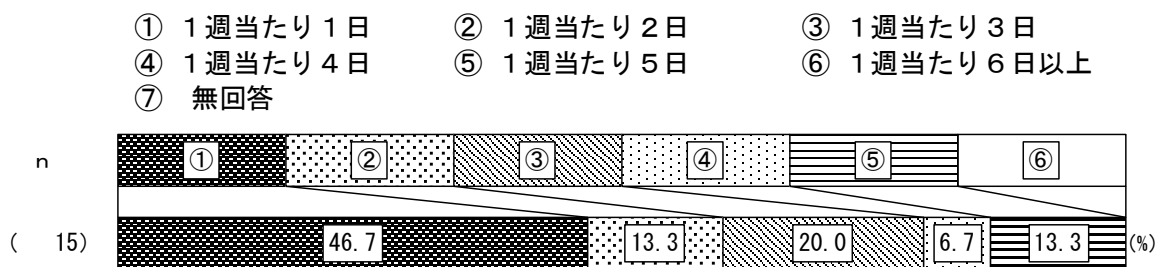
利用している中では「月に数日利用している」が1.8%と最も多くなっている。一方、「利用していない」は96.0%となっている。



■ 1週あたり日数

【分析】

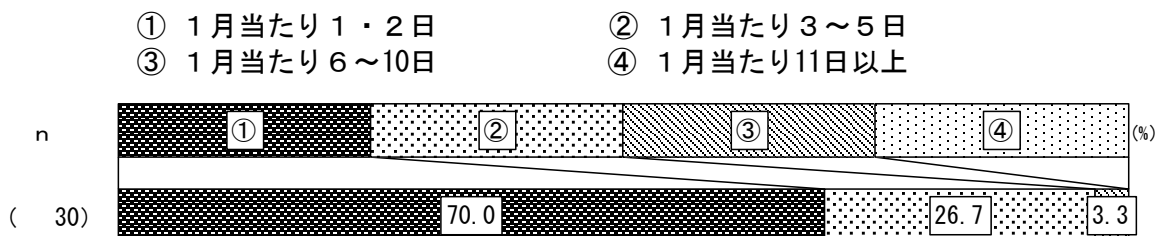
「1週あたり1日」が46.7%と最も多く、次いで「1週あたり3日」が20.0%となっている。



■ 1月あたり日数

【分析】

「1月あたり1・2日」が70.0%と最も多く、次いで「1月あたり3～5日」が26.7%となっている。

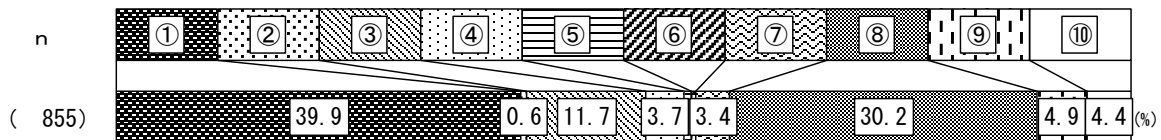


問19 問14で教育・保育事業を「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

「子どもの母親か父親がみている」が39.9%と最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が30.2%、「利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしている）」が11.7%の順となっている。

- ① 子どもの母親か父親がみている
- ② 子どもの祖父母、親族、父母の友人・知人等がみている
- ③ 利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしている）
- ④ 利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしていない）
- ⑤ 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- ⑥ 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- ⑦ 利用したいが、事業の利用要件（就労要件等）に当てはまらない
- ⑧ 子どもがまだ小さいため
- ⑨ その他
- ⑩ 無回答

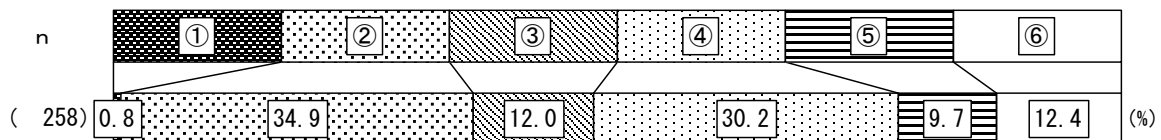


■ 「⑧子どもがまだ小さいため」と答えたうち、子どもが何歳になったら利用したいか

【分析】

「1歳」が34.9%と最も多く、次いで「3歳」が30.2%、「2歳」が12.0%の順となっている。

- ① 0歳
- ② 1歳
- ③ 2歳
- ④ 3歳
- ⑤ 4歳以上
- ⑥ 無回答

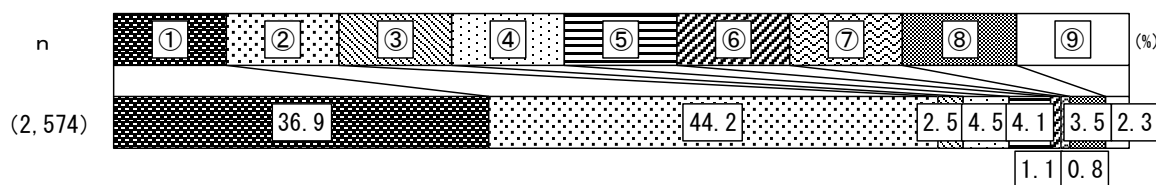


問20 2019年10月から3～5歳児を対象に幼児教育・保育の無償化を段階的に実施することが検討されておりますが、無償化が実施された場合、お子さんの平日の教育・保育事業の利用をどのように考えますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

「無償化にかかわらず保育所を利用したい」が44.2%と最も多く、次いで「無償化にかかわらず幼稚園を利用したい」が36.9%、「無償化されるなら幼稚園を利用したい」が4.5%の順となっている。

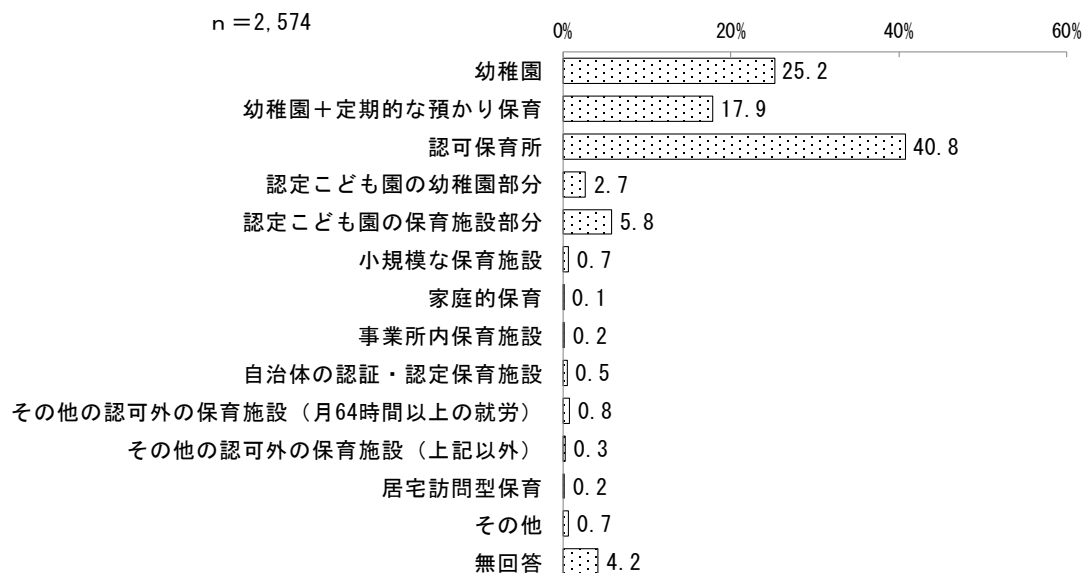
- ① 無償化にかかわらず幼稚園を利用したい
- ② 無償化にかかわらず保育所を利用したい
- ③ 無償化にかかわらず認定こども園を利用したい
- ④ 無償化されるなら幼稚園を利用したい
- ⑤ 無償化されるなら保育所を利用したい
- ⑥ 無償化されるなら認定こども園を利用したい
- ⑦ 無償化にかかわらず利用するつもりはない
- ⑧ その他
- ⑨ 無回答



問21 お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したい事業1つに◎を記入欄に回答して下さい。

【分析】

「認可保育所」が40.8%と最も多く、次いで「幼稚園」が25.2%、「幼稚園+定期的な預かり保育」が17.9%の順となっている。

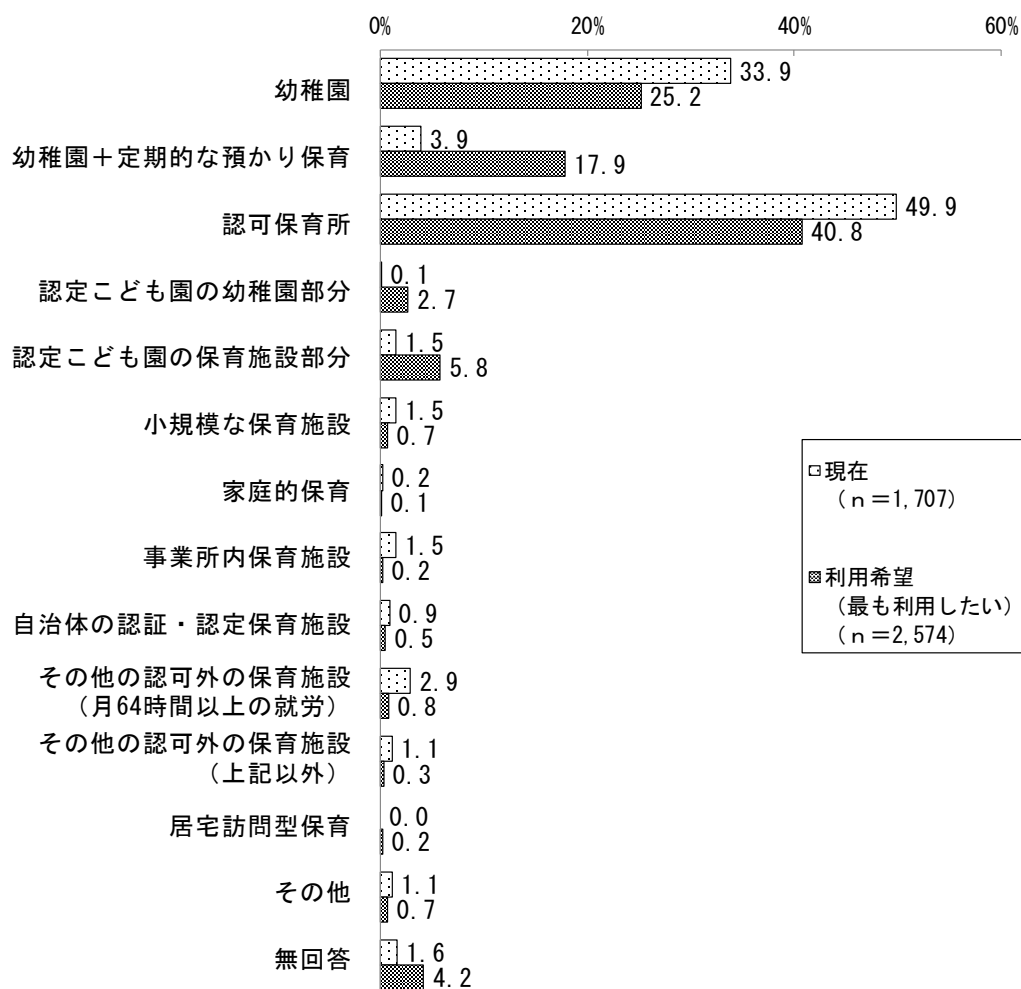


■教育・保育事業を現在利用している人（問15回答者）と利用希望（問21）の比較

【分析】

現在・希望利用ともに「認可保育所」「幼稚園」「幼稚園＋定期的な預かり保育」の順に多くなっている。また、「幼稚園＋定期的な預かり保育」は現在が3.9%、利用希望が17.9%で、14.0ポイントと大幅に増加している。

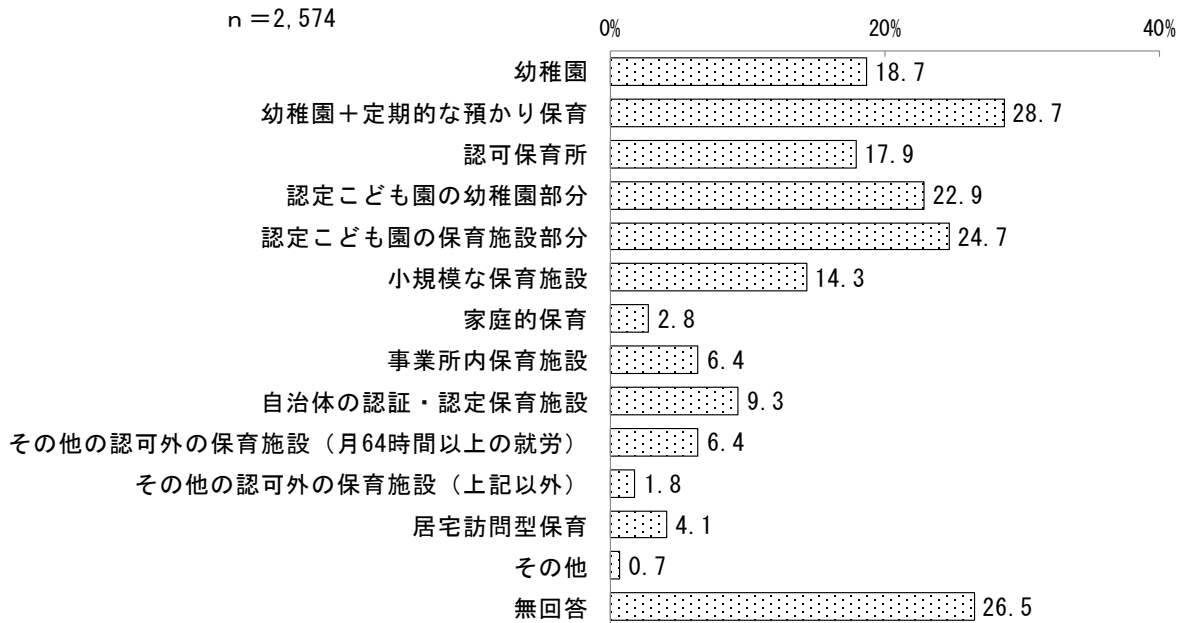
	現在 (n=1,717)	利用希望 (最も利用したい) (n=2,574)
幼稚園	33.9%	25.2%
幼稚園＋定期的な預かり保育	3.9%	17.9%
認可保育所（一時預かり等による利用は除く）	49.9%	40.8%
認定こども園の幼稚園部分	0.1%	2.7%
認定こども園の保育施設部分	1.5%	5.8%
小規模な保育施設	1.5%	0.7%
家庭的保育	0.2%	0.1%
事業所内保育施設	1.5%	0.2%
自治体の認証・認定保育施設	0.9%	0.5%
その他の認可外の保育施設 (月64時間以上の就労)	2.9%	0.8%
その他の認可外の保育施設（上記以外）	1.1%	0.3%
居宅訪問型保育	0.0%	0.2%
その他（【例：児童発達支援施設】）	1.1%	0.7%
無回答	1.6%	4.2%



問21 お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したい事業に空きがない等の場合利用したい事業に○を記入欄に回答して下さい。(複数回答)

【分析】

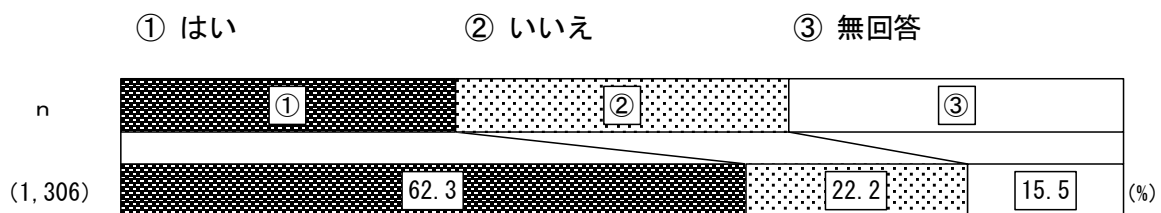
無回答を除くと、「幼稚園+定期的な預かり保育」が28.7%と最も多く、次いで「認定こども園の保育施設部分」が24.7%、「認定こども園の幼稚園部分」が22.9%の順となっている。



問22 問21で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園+定期的な預かり保育」に○または◎をつけ、かつ「3~13」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園 (幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む) の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

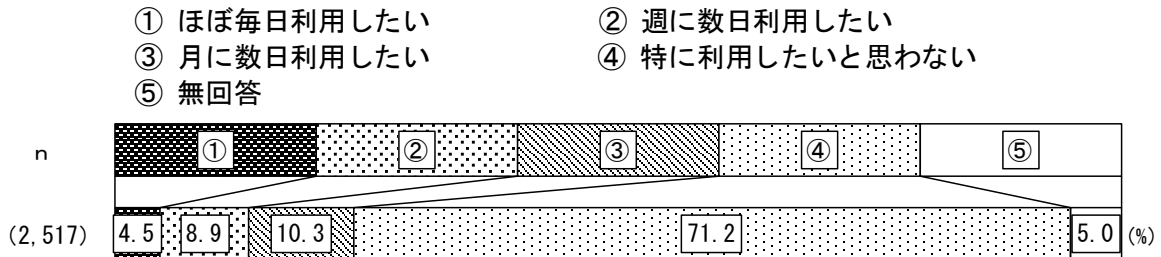
「はい」が62.3%と多くなっている。



問23 問21で○または◎をつけた教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用したいと思いますか。

【分析】

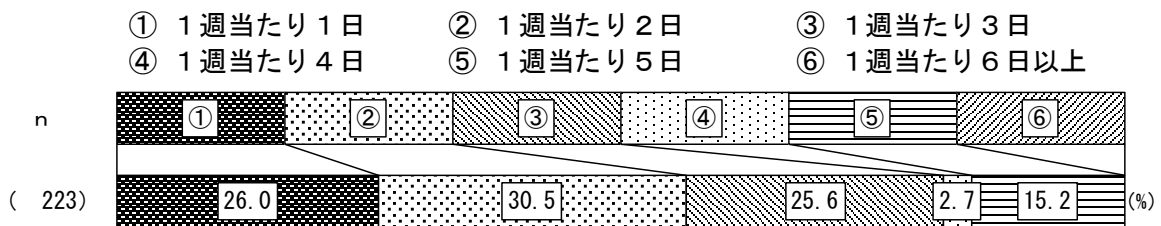
利用したい中では「月に数日利用したい」が10.3%と最も多くなっている。一方、「特に利用したいと思わない」は71.2%となっている。



■ 1週あたり日数

【分析】

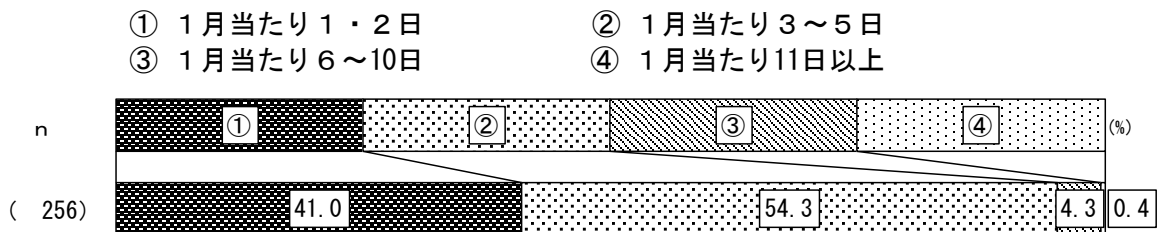
「1週あたり2日」が30.5%と最も多く、次いで「1週あたり1日」が26.0%となっている。



■ 1月あたり日数

【分析】

「1月あたり3～5日」が54.3%と最も多く、次いで「1月あたり1・2日」が41.0%となっている。

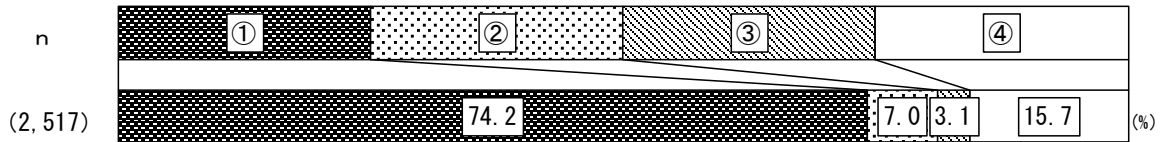


問24 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけ、「2.」に○をつける場合には、口内に数字でご記入ください。

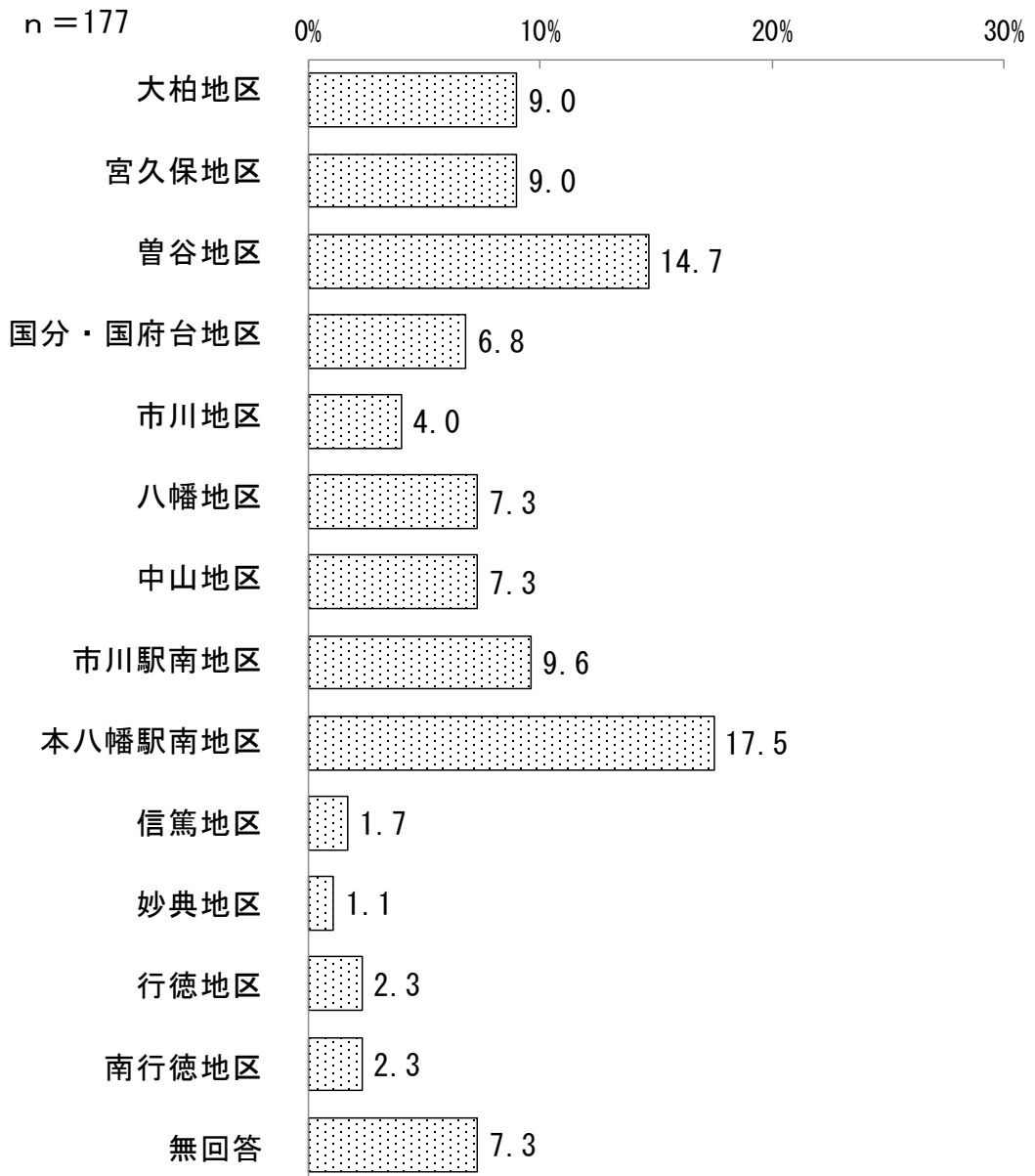
【分析】

「問1で回答した居住地区内」と回答した人は74.2%であり、「市川市内だが、問1で回答した居住地区とは別の地区」と「他の市区町村」の割合は、合わせても1割程度であった。

- ① 問1で回答した居住地区内
- ② 市川市内だが、問1で回答した居住地区とは別の地区
- ③ 他の市区町村
- ④ 無回答



■市川市内で居住地区とは別に希望する地区

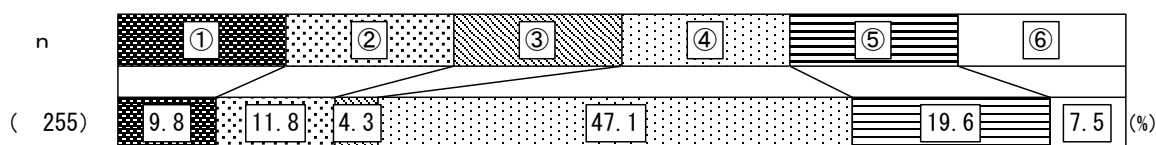


問25 問24で「2.」または「3.」に○をつけた方にうかがいます。居住地区とは別の地区または他の市区町村を希望する理由は何ですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

「希望する施設が居住地区とは別の地区等にある」が47.1%と最も多くなっている。

- ① 母親または父親の職場に近い、または通勤経路にある
- ② 駅が近くにある
- ③ 祖父母等の親族の家に近い
- ④ 希望する施設が居住地区とは別の地区等にある
- ⑤ その他
- ⑥ 無回答

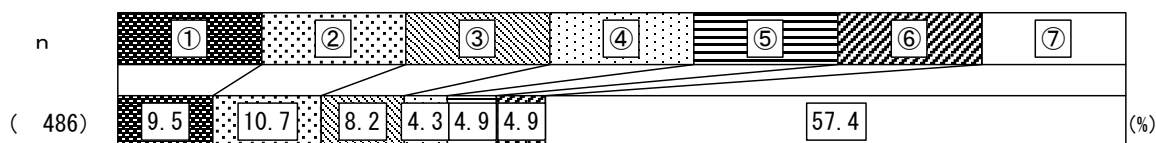


問26 希望とは異なる教育・保育事業を現在利用している方にうかがいます。希望する事業を利用できていない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

無回答を除くと、「利用したい事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしていない）」が10.7%と最も多く、次いで「利用したい事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしている）」が9.5%、「利用したい事業が地域において実施されていない」が8.2%の順となっている。

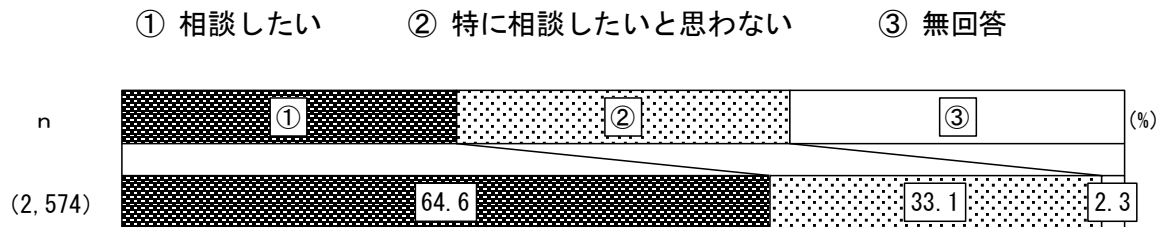
- ① 利用したい事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしている）
- ② 利用したい事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしていない）
- ③ 利用したい事業が地域において実施されていない
- ④ 利用したい事業の利用料（保育料等）が高い
- ⑤ 利用したい事業の利用要件（就労要件等）に当てはまらない
- ⑥ その他
- ⑦ 無回答



問27 教育・保育・子育て支援の利用が円滑にできるように、調整・案内する人（介護保険のケアマネージャーのような人）がいれば、相談したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

「相談したい」が64.6%と多くなっている。



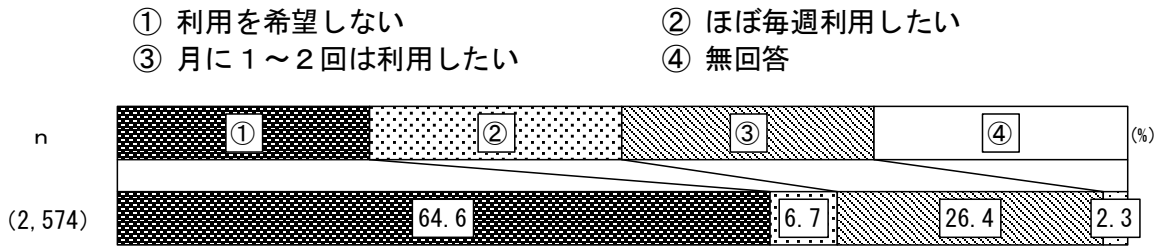
(6) 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

問28 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業の利用希望はありますか（利用料あり）。

(1) 土曜日

【分析】

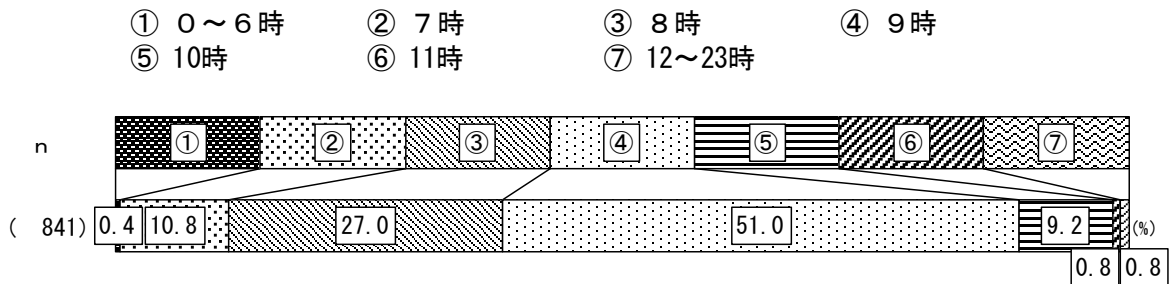
「ほぼ毎週利用したい」が6.7%、「月に1～2回は利用したい」が26.4%となっている。



■開始時刻

【分析】

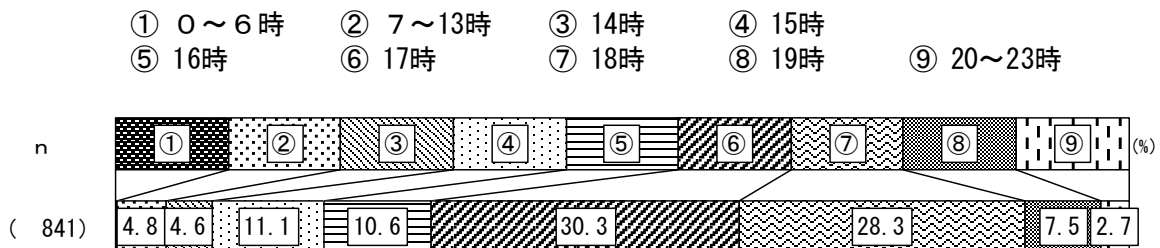
「9時」が51.0%と最も多く、次いで「8時」が27.0%となっている。



■終了時刻

【分析】

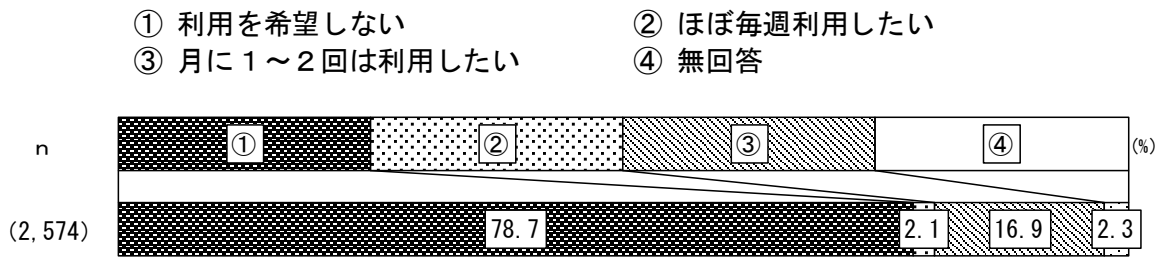
「17時」が30.3%と最も多く、次いで「18時」が28.3%となっている。



(2) 日曜・祝日

【分析】

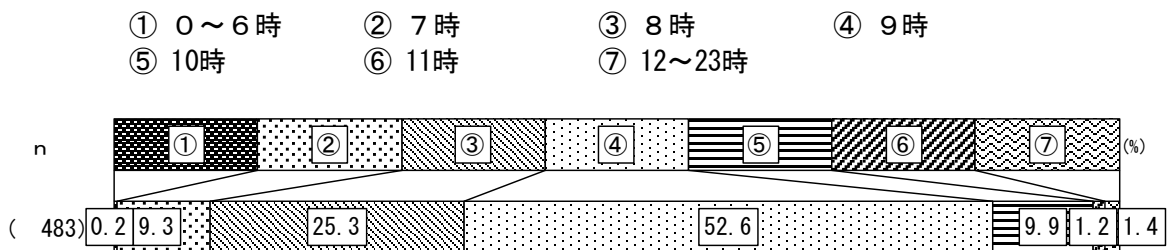
「ほぼ毎週利用したい」が2.1%、「月に1～2回は利用したい」が16.9%となっている。



■開始時刻

【分析】

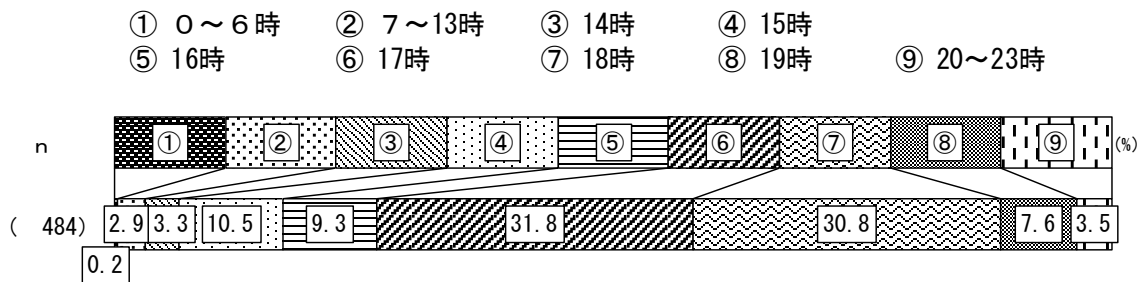
「9時」が52.6%と最も多く、次いで「8時」が25.3%となっている。



■終了時刻

【分析】

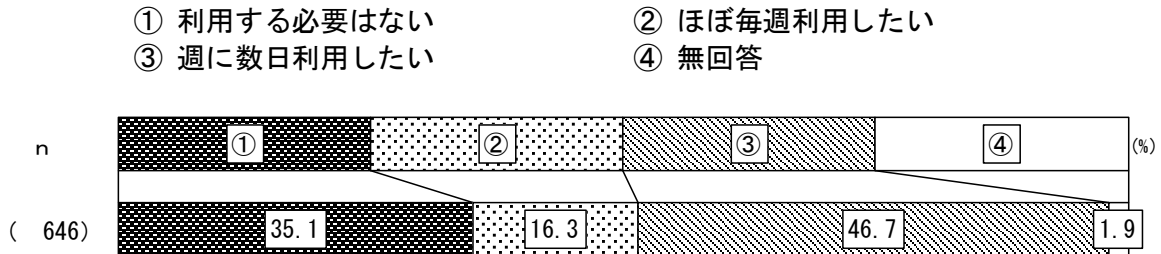
「17時」が31.8%と最も多く、次いで「18時」が30.8%となっている。



問29 お子さんが「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか（利用料あり）。

【分析】

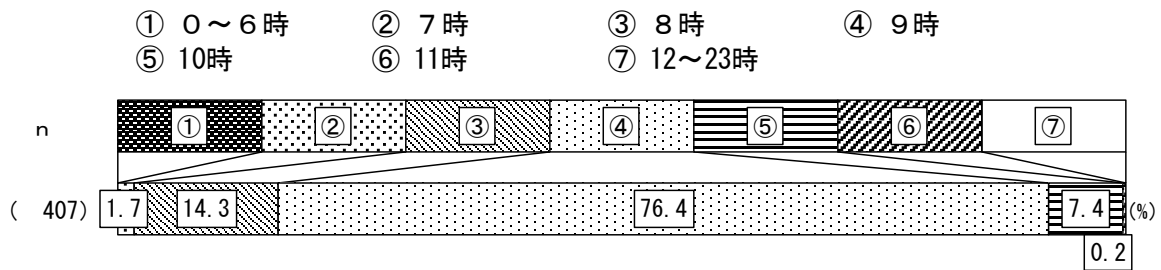
「週に数日利用したい」が 46.7%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が 35.1%となっている。



■開始時刻

【分析】

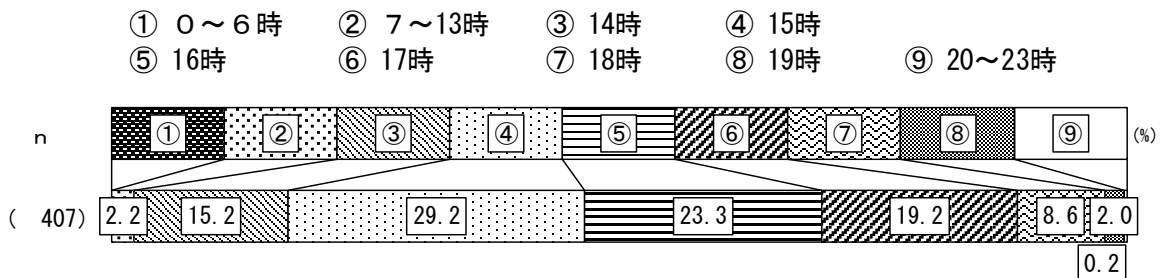
「9時」が 76.4%と最も多く、次いで「8時」が 14.3%となっている。



■終了時刻

【分析】

「15時」が 29.2%と最も多く、次いで「16時」が 23.3%となっている。

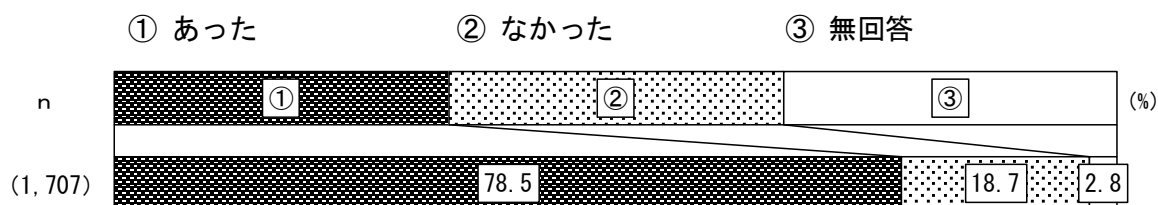


(7) 病気の際の対応

問30 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

【分析】

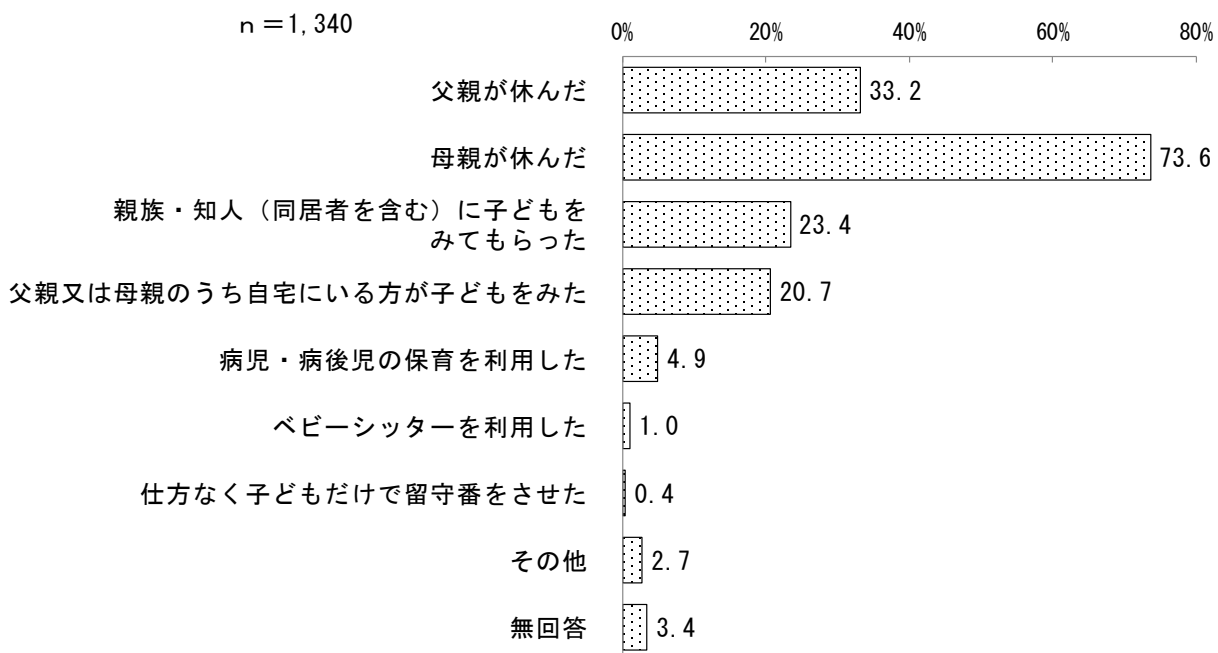
「あった」が78.5%と多くなっている。



問31 病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法

【分析】

「母親が休んだ」が73.6%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が33.2%、「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」が23.4%の順となっている。

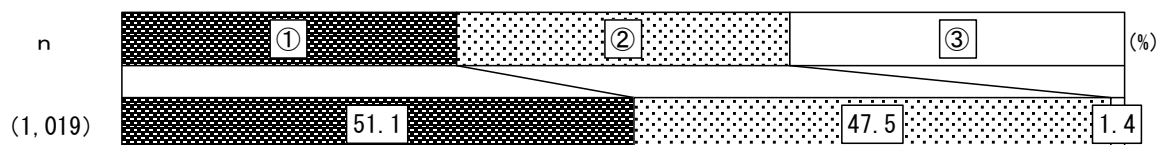


問32 問31で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(利用料あり、事前にかかりつけ医の受診が必要)

【分析】

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が51.1%と多くなっている。

- ① できれば病児・病後児保育施設等を利用したい
- ② 利用したいと思わない
- ③ 無回答

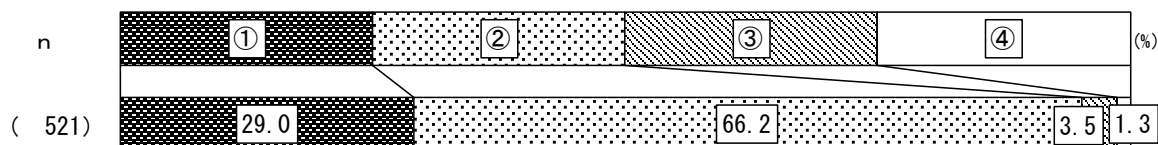


問33 問32で「1」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が66.2%と多くなっている。

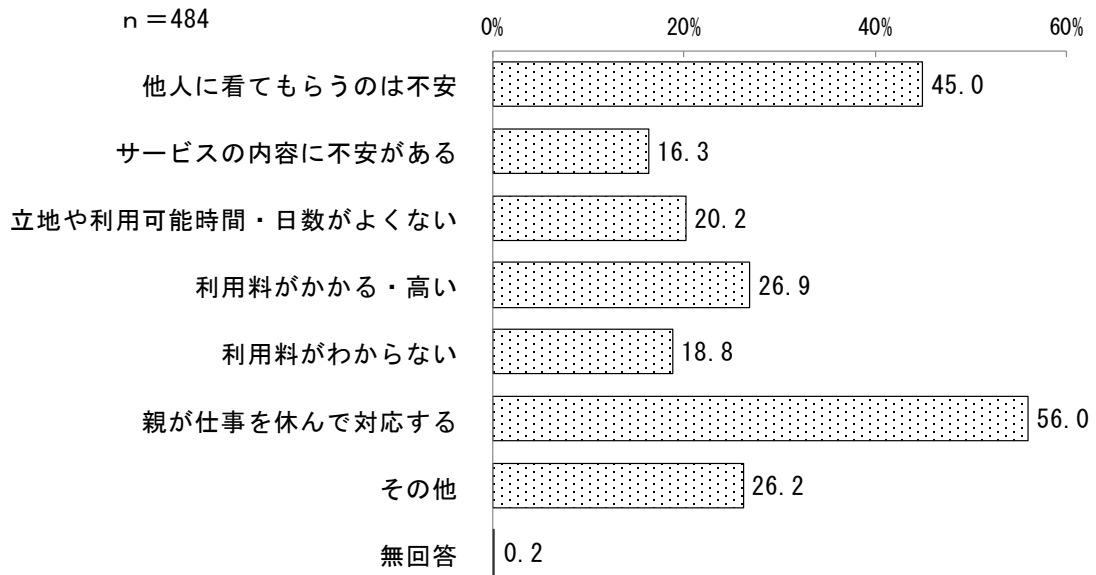
- ① 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
- ② 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
- ③ その他
- ④ 無回答



問34 問32で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

「親が仕事を休んで対応する」が56.0%と最も多く、次いで「他人に看てもらうのは不安」が45.0%、「利用料がかかる・高い」が26.9%の順となっている。



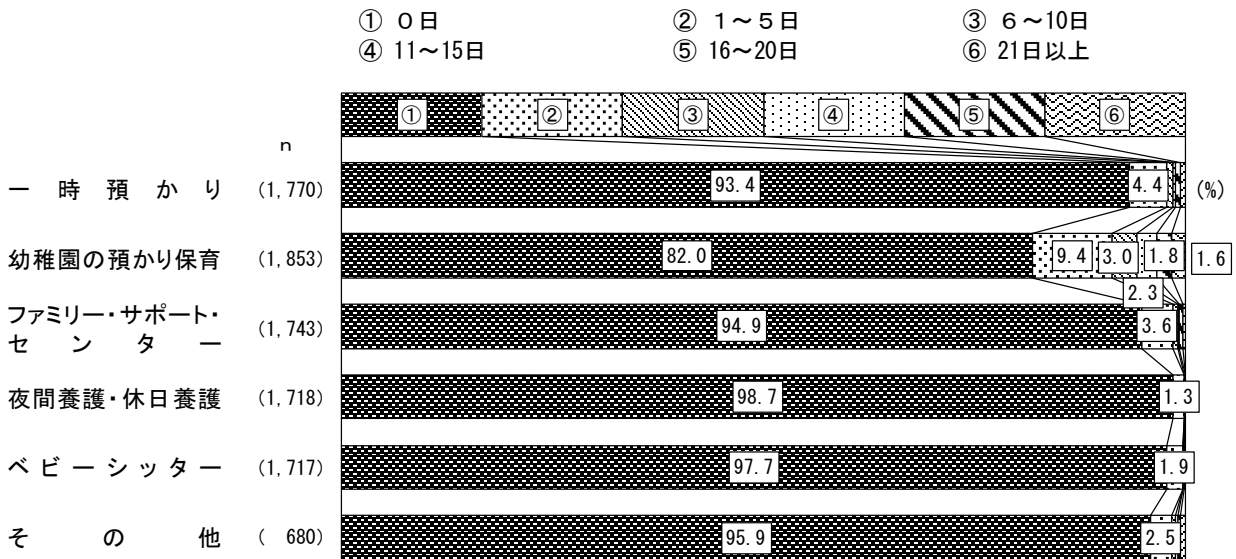
(8) 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問35 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等を目的としたお子さんを預ける事業を、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。

■日数（現在）

【分析】

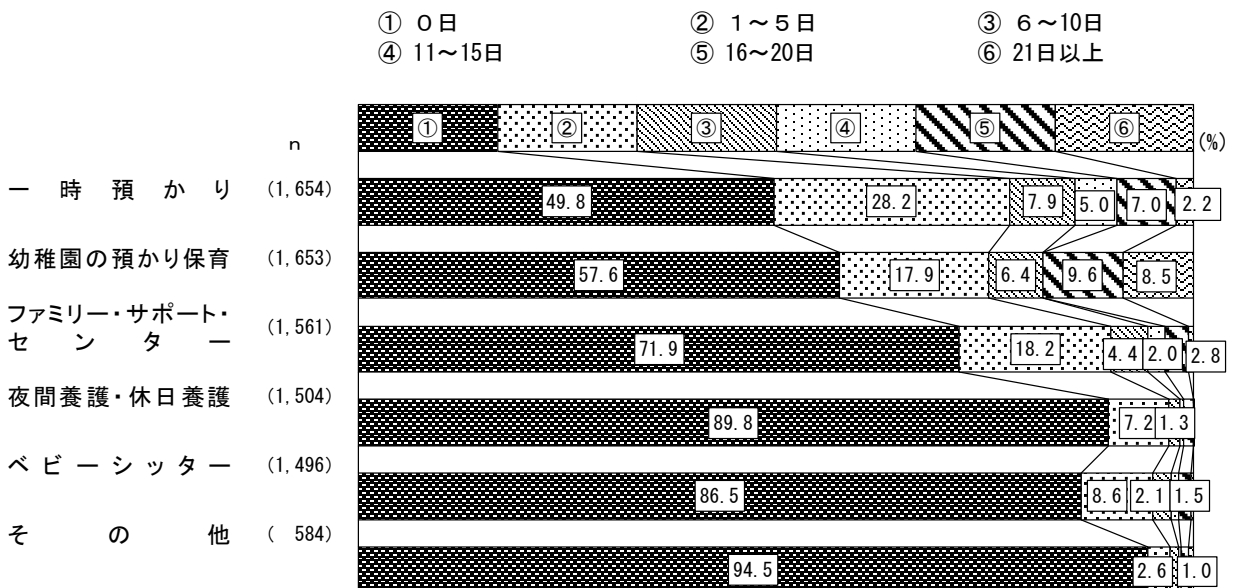
利用している預かり事業は「幼稚園の預かり保育」が18.0%と最も多く、次いで「一時預かり」が6.6%となっている。また、利用日数はどの事業でも「1～5日」が最も多くなっている。



■日数（希望）

【分析】

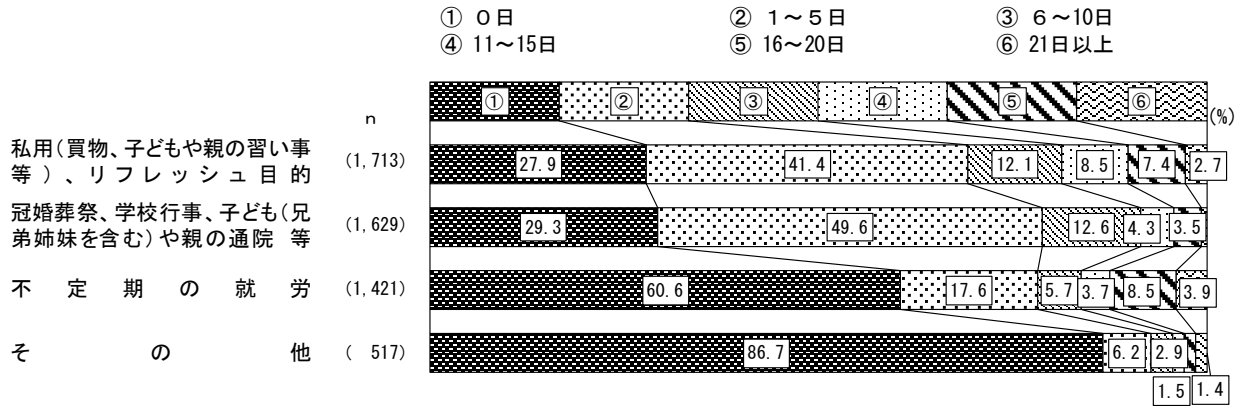
希望している預かり事業は「一時預かり」が50.2%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が42.4%となっている。また、希望日数はどの事業でも「1～5日」が最も多くなっている。



問36 問35の目的で、お子さんを預ける事業について、どのような目的で利用したいと思いますか。

【分析】

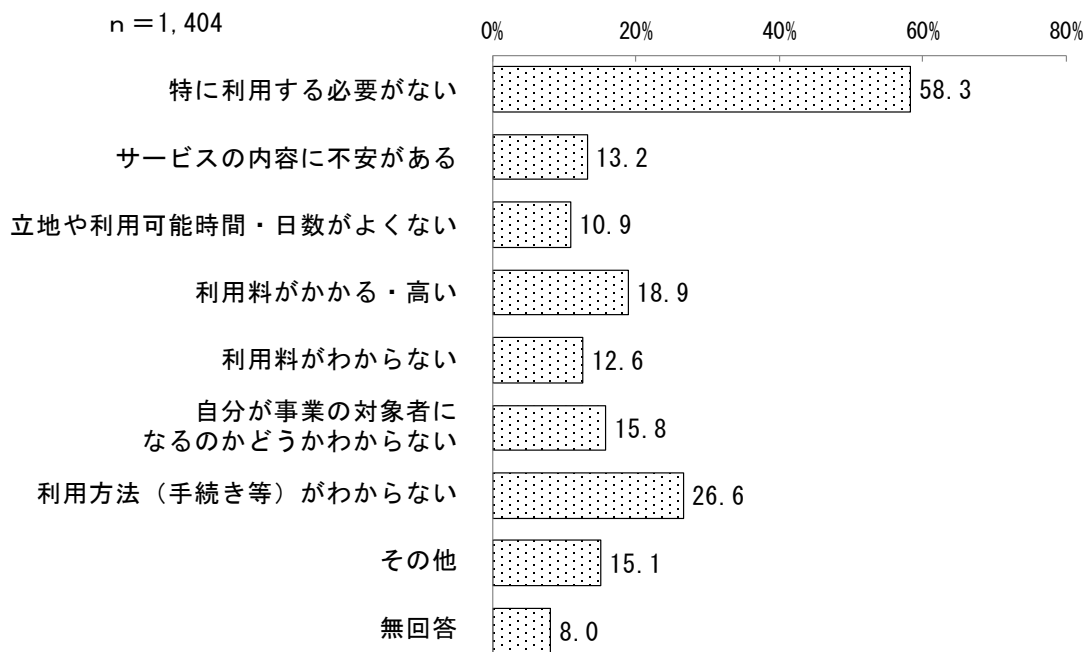
預かり事業利用の目的は「私用、リフレッシュ目的」が72.1%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が70.7%となっている。また、目的の日数はどの事業でも「1～5日」が最も多くなっている。



問37 問35のA欄で全ての項目について「1.」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

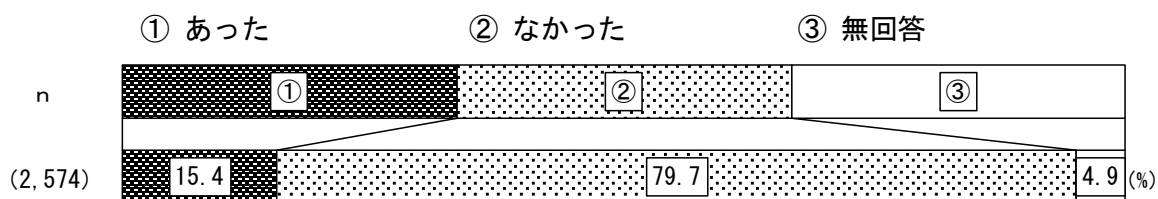
「特に利用する必要がない」が58.3%と最も多く、次いで「利用方法(手続き等)がわからない」が26.6%、「利用料がかかる・高い」が18.9%の順となっている。



問38 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

【分析】

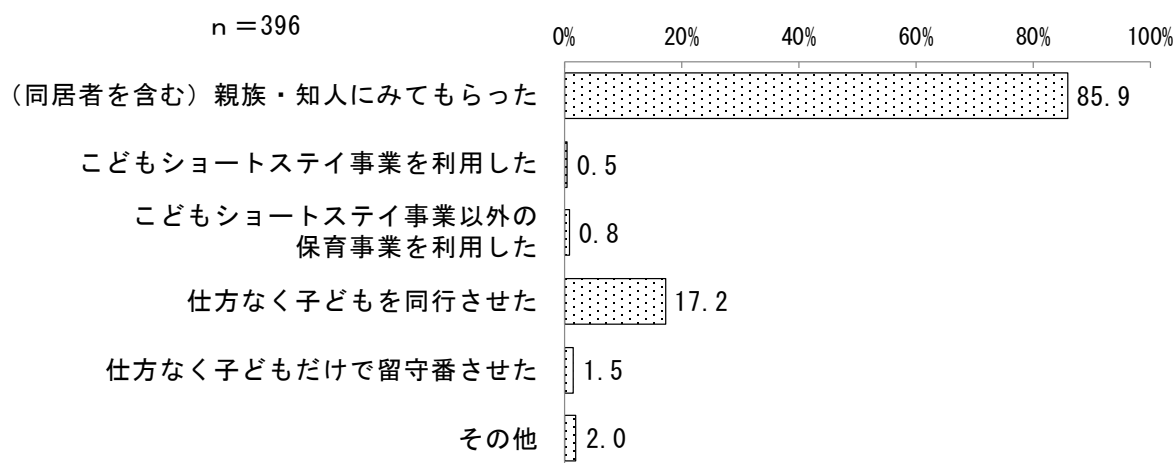
「なかった」が79.7%と多くなっている。



■ 1年間の対処方法

【分析】

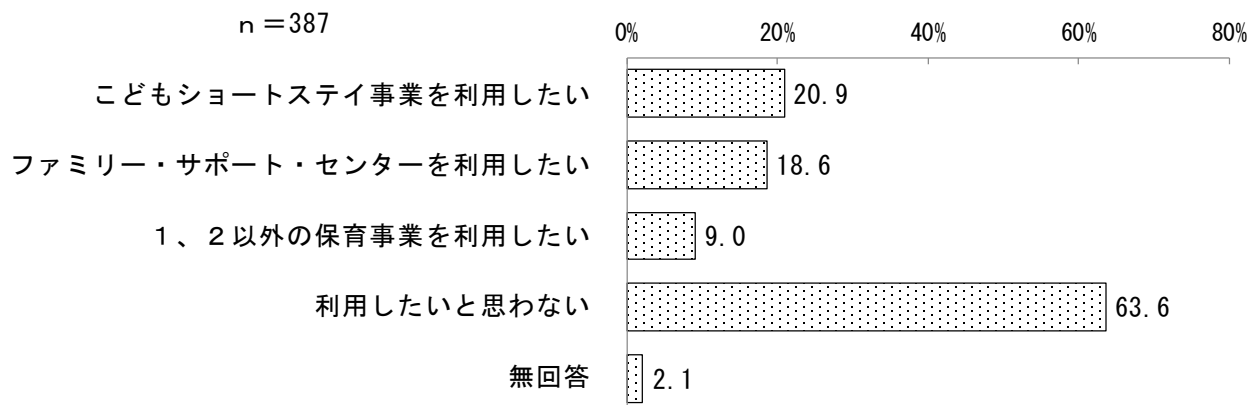
1年間の対処方法は「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が85.9%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が17.2%となっている。



問39 問38で「1. あった ア、エ、オ」のいずれかを回答した方にうかがいます。今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

「利用したいと思わない」が63.6%と最も多く、次いで「こどもショートステイ事業を利用したい」が20.9%となっている。



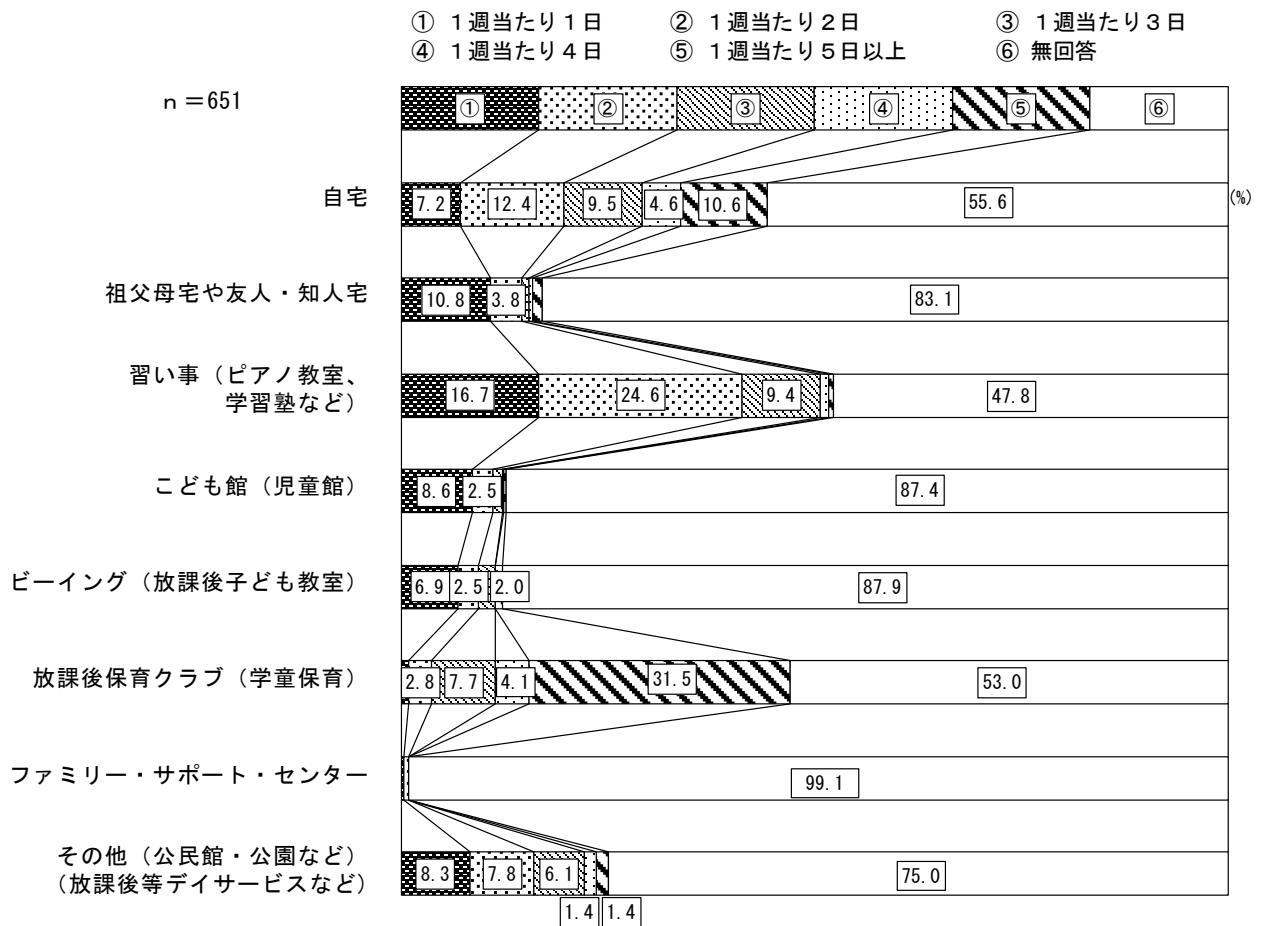
(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方

問40 お子さんが5歳以上である方にうかがいます（4歳以下の方は問42へお進みください）。お子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年・高学年のそれぞれで、当てはまる内容すべてについて、希望する1週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください（記載例：下校時から18時まで）。

■小学校低学年（1～3年生）

【分析】

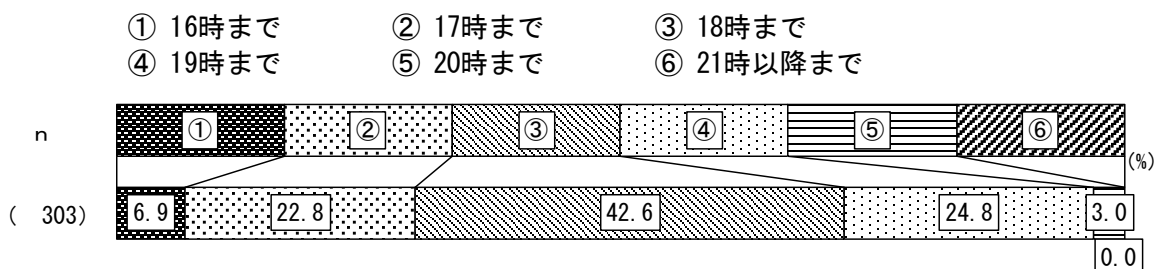
無回答を除くと、「習い事（ピアノ教室、学習塾など）」が52.2%と最も多く、次いで「放課後保育クラブ（学童保育）」が47.0%、「自宅」が44.4%の順となっている。



■放課後保育クラブの利用希望時刻（下校時から〇〇時まで）

【分析】

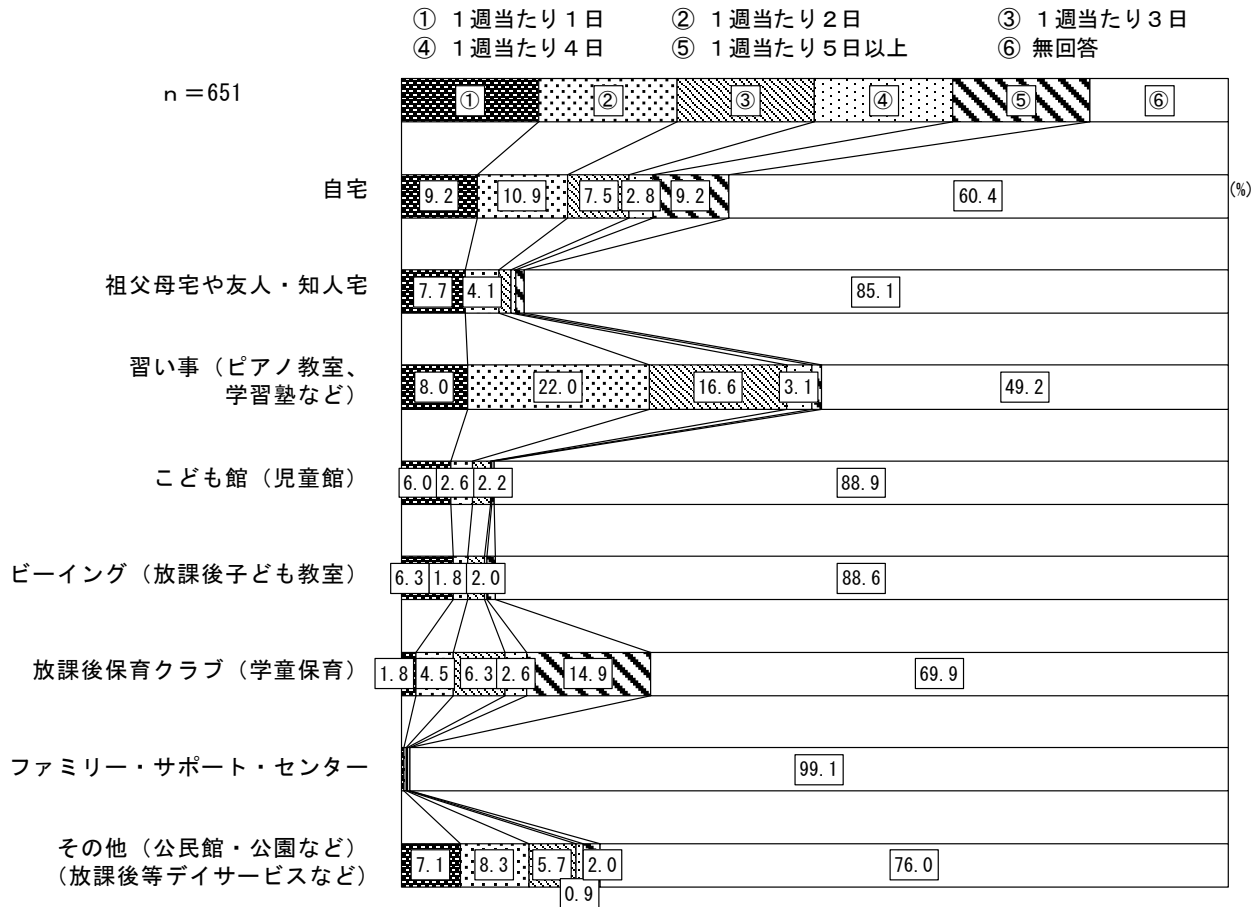
「18時まで」が42.6%と最も多く、次いで「19時まで」が24.8%となっている。



■小学校高学年（4～6年生）

【分析】

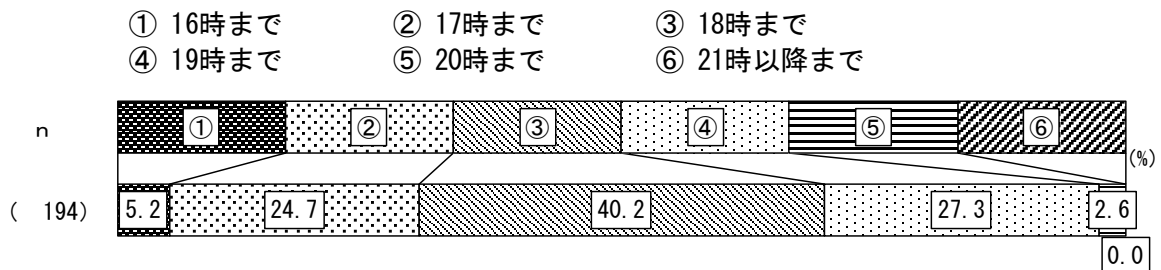
無回答を除くと、「習い事（ピアノ教室、学習塾など）」が50.8%と最も多く、次いで「自宅」が39.6%、「放課後保育クラブ（学童保育）」が30.1%の順となっている。



■放課後保育クラブの利用希望時刻（下校時から〇〇時まで）

【分析】

「18時まで」が40.2%と最も多く、次いで「19時まで」が27.3%となっている。

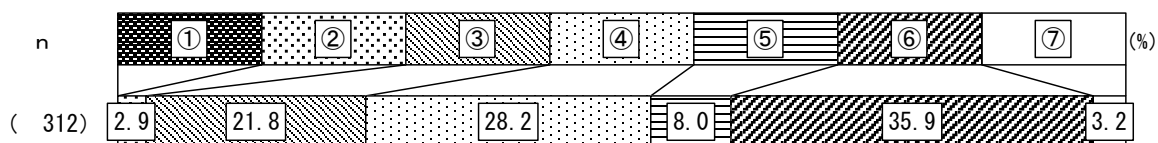


問41 問40で「6. 放課後保育クラブ（学童保育）」に日数を記入した方にうかがいます。お子さんについて、放課後保育クラブを何年生まで利用したいですか。利用したい学年を数字でご記入ください。

【分析】

「小学校6年生まで」が35.9%と最も多く、次いで「小学校4年生まで」が28.2%、「小学校3年生まで」が21.8%の順となっている。

- ① 小学校1年生まで ② 小学校2年生まで ③ 小学校3年生まで
- ④ 小学校4年生まで ⑤ 小学校5年生まで ⑥ 小学校6年生まで
- ⑦ 無回答



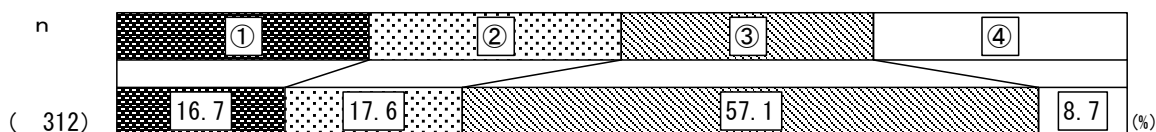
問41-1 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。

(1) 土曜日

【分析】

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が16.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が17.6%となっている。

- ① 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- ② 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- ③ 利用する必要はない
- ④ 無回答

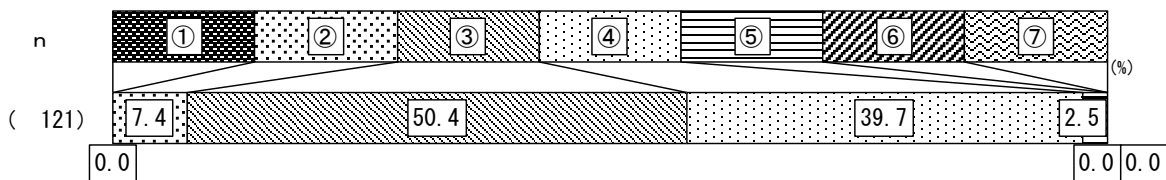


■開始時刻

【分析】

「8時」が50.4%と最も多く、次いで「9時」が39.7%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7時
- ③ 8時
- ④ 9時
- ⑤ 10時
- ⑥ 11時
- ⑦ 12～23時

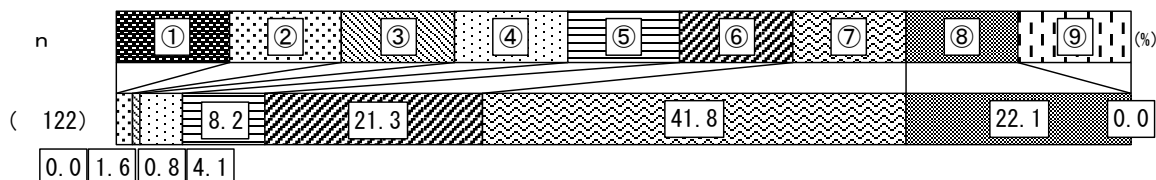


■終了時刻

【分析】

「18時」が41.8%と最も多く、次いで「19時」が22.1%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7～13時
- ③ 14時
- ④ 15時
- ⑤ 16時
- ⑥ 17時
- ⑦ 18時
- ⑧ 19時
- ⑨ 20～23時

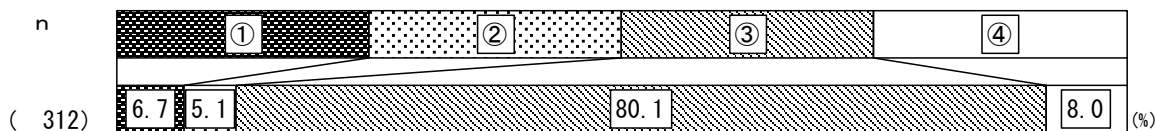


(2) 日曜・祝日

【分析】

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が6.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が5.1%となっている。

- ① 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- ② 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- ③ 利用する必要はない
- ④ 無回答

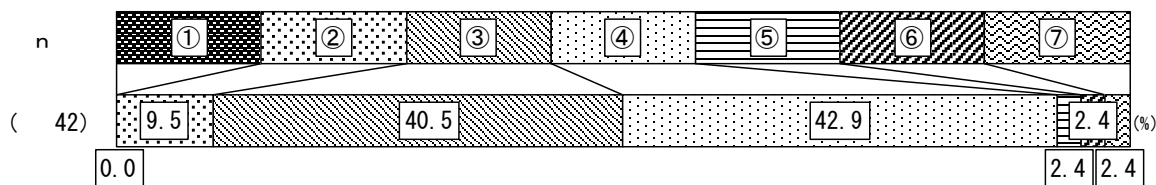


■開始時刻

【分析】

「9時」が42.9%と最も多く、次いで「8時」が40.5%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7時
- ③ 8時
- ④ 9時
- ⑤ 10時
- ⑥ 11時
- ⑦ 12～23時

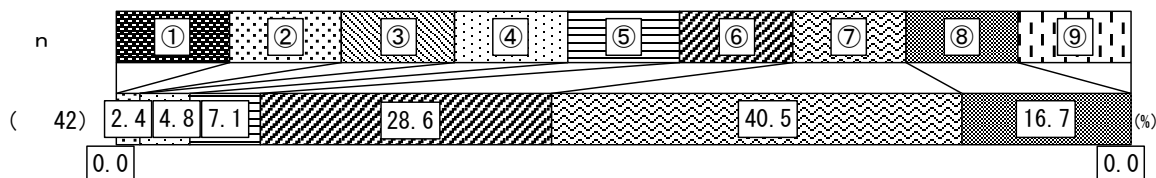


■終了時刻

【分析】

「18時」が40.5%と最も多く、次いで「17時」が28.6%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7～13時
- ③ 14時
- ④ 15時
- ⑤ 16時
- ⑥ 17時
- ⑦ 18時
- ⑧ 19時
- ⑨ 20～23時

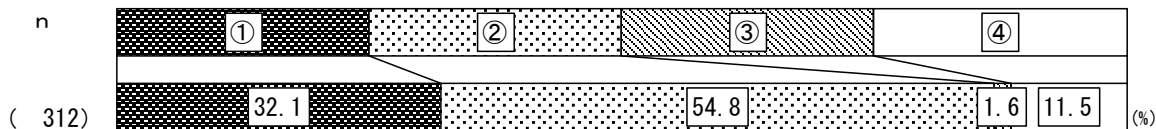


(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

【分析】

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が32.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が54.8%となっている。

- ① 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- ② 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- ③ 利用する必要はない
- ④ 無回答

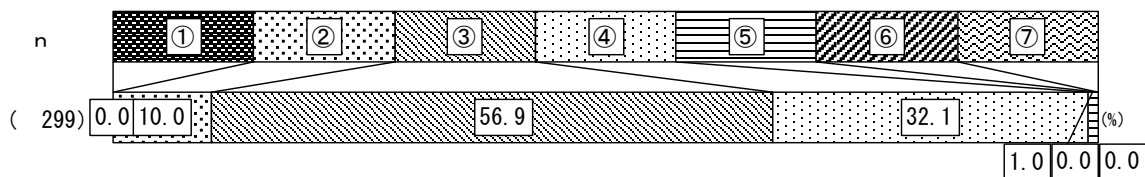


■開始時刻

【分析】

「8時」が56.9%と最も多く、次いで「9時」が32.1%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7時
- ③ 8時
- ④ 9時
- ⑤ 10時
- ⑥ 11時
- ⑦ 12～23時

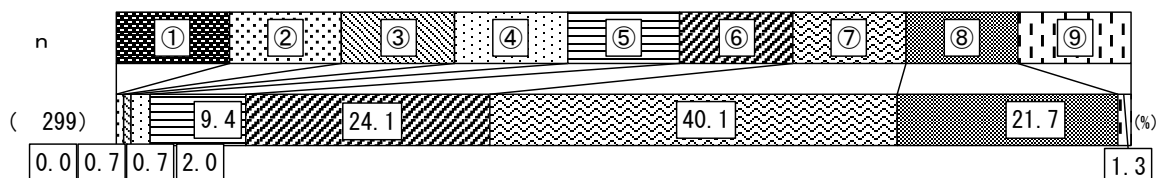


■終了時刻

【分析】

「18時」が40.1%と最も多く、次いで「17時」が24.1%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7～13時
- ③ 14時
- ④ 15時
- ⑤ 16時
- ⑥ 17時
- ⑦ 18時
- ⑧ 19時
- ⑨ 20～23時



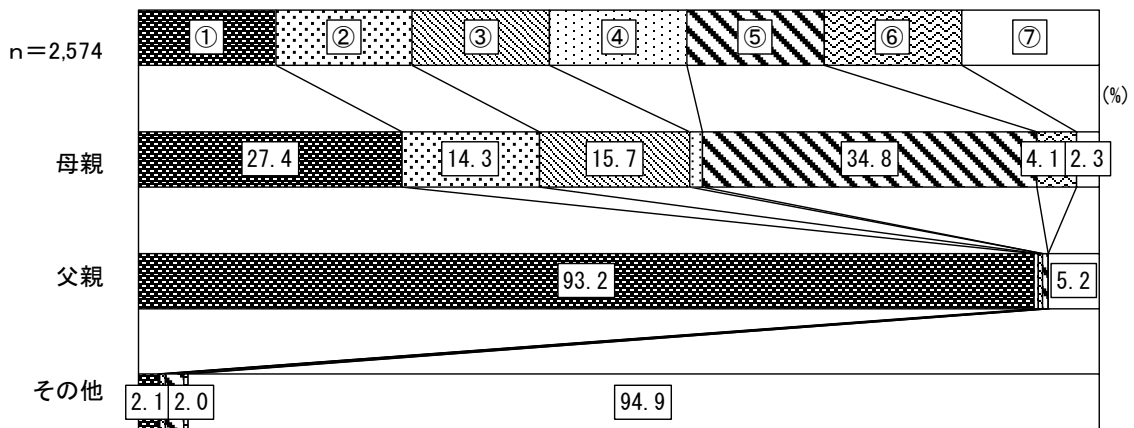
(10) 保護者の就労状況

問42 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【分析】

母親の就労率は58.7%で、フルタイムでの就労率は産休等の休業中も含めて41.7%となっている。父親の就労率は94.2%で、フルタイムでの就労率は産休等の休業中も含めて93.7%となっている。その他の保護者の就労率は2.8%で、フルタイムでの就労率は産休等の休業中も含めて2.3%となっている。

- ① フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ② フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ③ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ④ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ⑤ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ⑥ これまで就労したことがない
- ⑦ 無回答

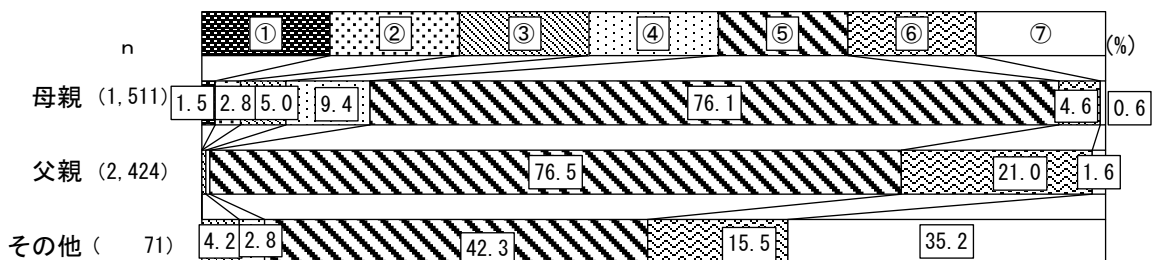


■ 1週間あたりの「就労日数」

【分析】

就労日数が週5日である割合は、母親が76.1%、父親が76.5%、その他の保護者が42.3%となっている。

- ① 1週当たり1日
- ② 1週当たり2日
- ③ 1週当たり3日
- ④ 1週当たり4日
- ⑤ 1週当たり5日
- ⑥ 1週当たり6日以上
- ⑦ 無回答

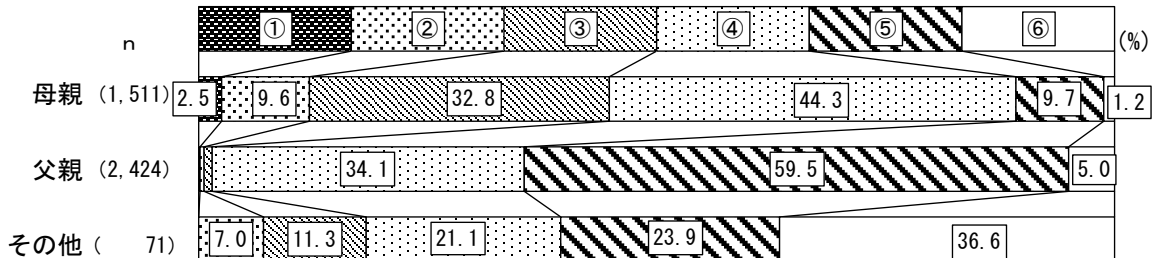


■ 1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」

【分析】

1日あたりの就労時間が8時間以上である割合は、母親が54.0%、父親が93.6%、その他の保護者が45.0%となっている。

- ① 1日当たり3時間以下
- ② 1日当たり4・5時間
- ③ 1日当たり6・7時間
- ④ 1日当たり8・9時間
- ⑤ 1日当たり10時間以上
- ⑥ 無回答

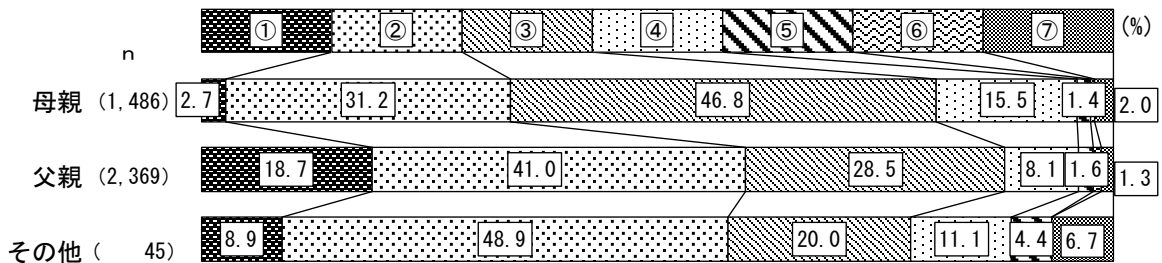


■ 家を出る時刻

【分析】

母親では「8時」が46.8%と最も多く、次いで「7時」が31.2%となっている。父親では「7時」が41.0%と最も多く、次いで「8時」が28.5%となっている。その他の保護者では「7時」が48.9%と最も多く、次いで「8時」が20.0%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7時
- ③ 8時
- ④ 9時
- ⑤ 10時
- ⑥ 11時
- ⑦ 12～23時

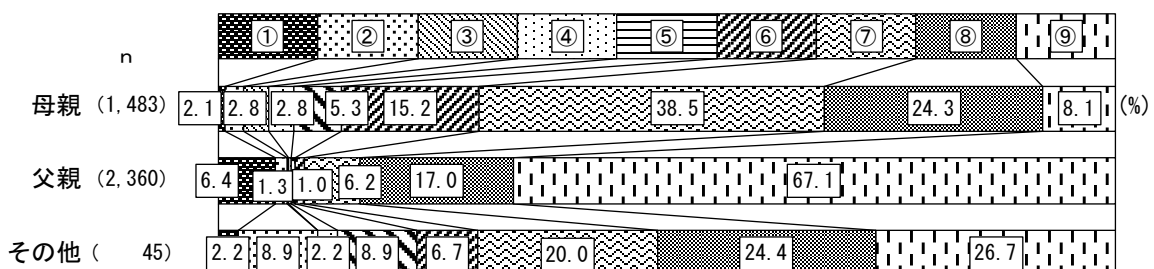


■ 帰宅時刻

【分析】

母親では「18時」が38.5%と最も多く、次いで「19時」が24.3%となっている。父親では「20～23時」が67.1%と最も多く、次いで「19時」が17.0%となっている。その他の保護者では「20～23時」が26.7%と最も多く、次いで「19時」が24.4%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7～13時
- ③ 14時
- ④ 15時
- ⑤ 16時
- ⑥ 17時
- ⑦ 18時
- ⑧ 19時
- ⑨ 20～23時

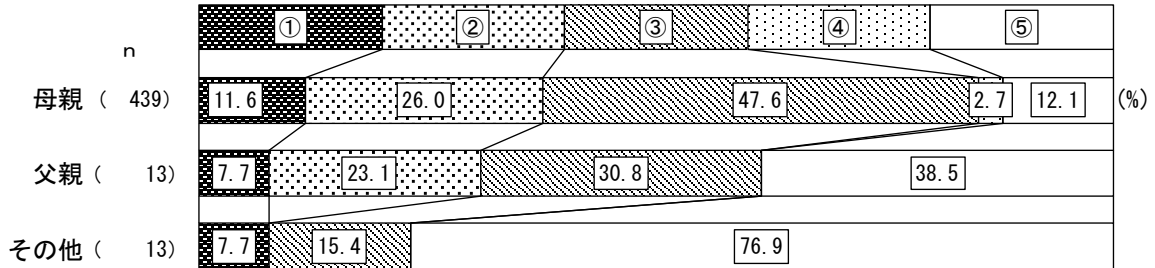


問43 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

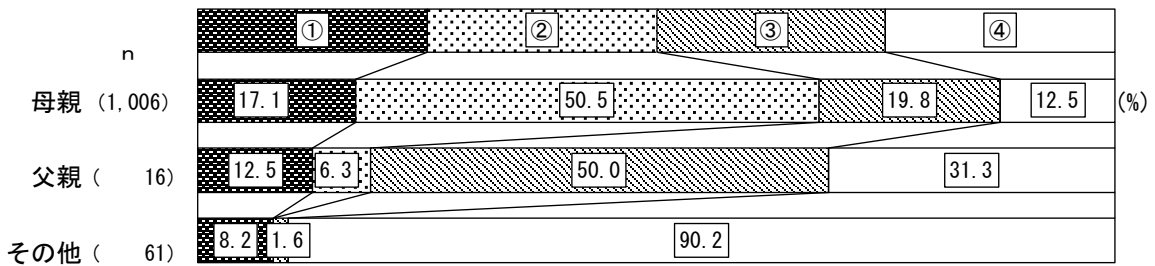
母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が47.6%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が26.0%となっている。父親およびその他の保護者はサンプル数が少ないため参考までに図示する。

- ① フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ② フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ③ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ④ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- ⑤ 無回答



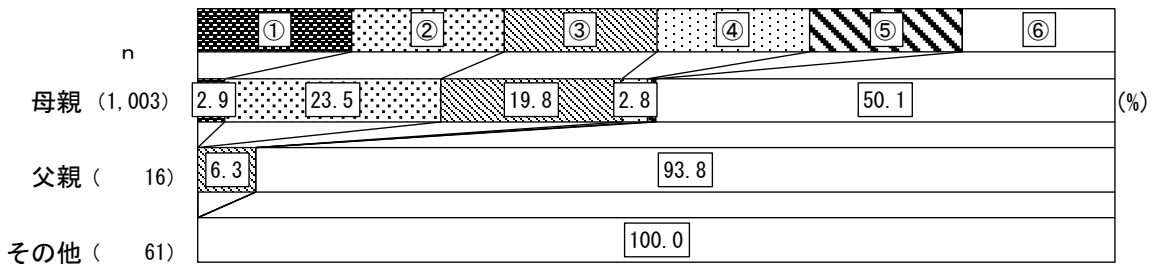
問44 就労したいという希望はありますか。

- ① 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- ② 1年より先、一番下の子が○歳になったころに就労したい
- ③ すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- ④ 無回答

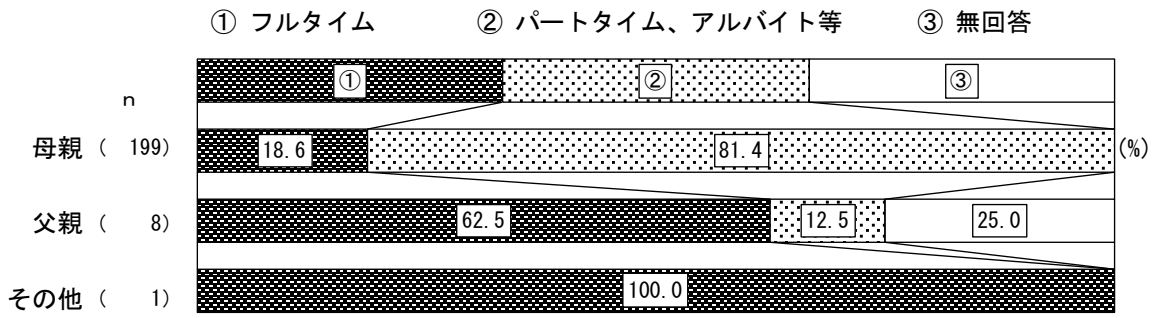


■ 1年より先、一番下の子が○歳になったころに就労したい

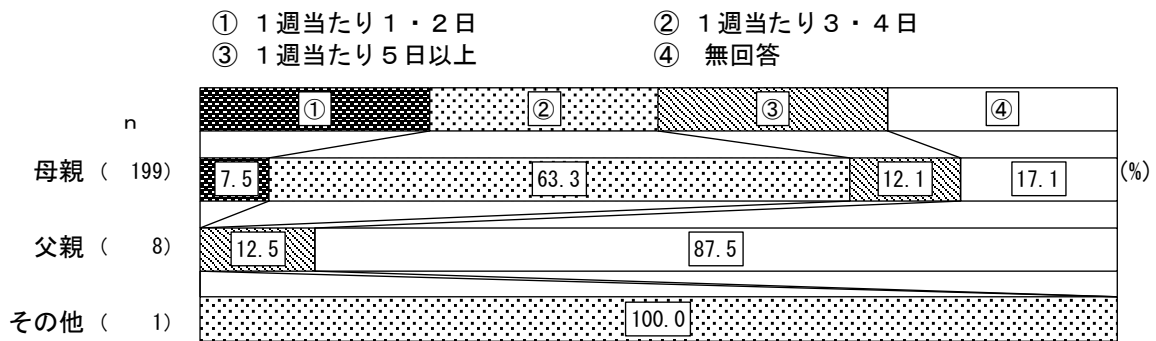
- ① 2歳以下
- ② 3～5歳
- ③ 6～8歳
- ④ 9～11歳
- ⑤ 12歳以上
- ⑥ 無回答



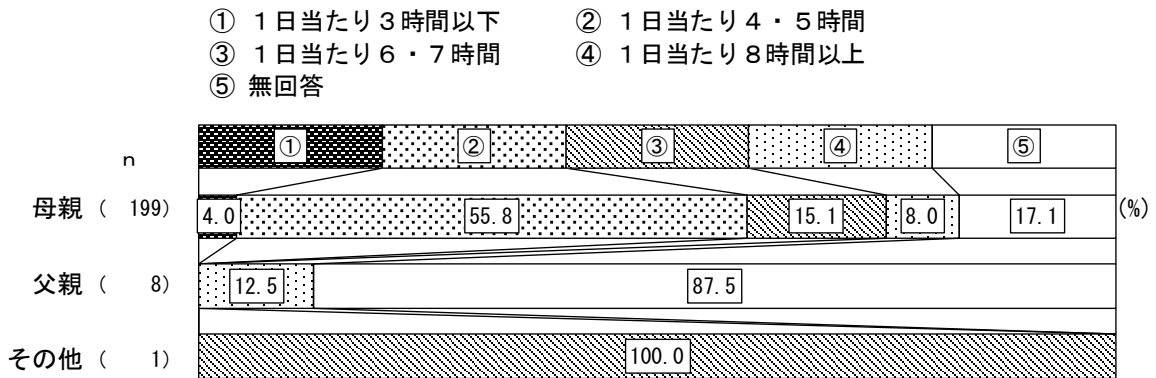
■ 希望する就労形態



■ 1週間あたり就労日数



■ 1日あたり就労時間

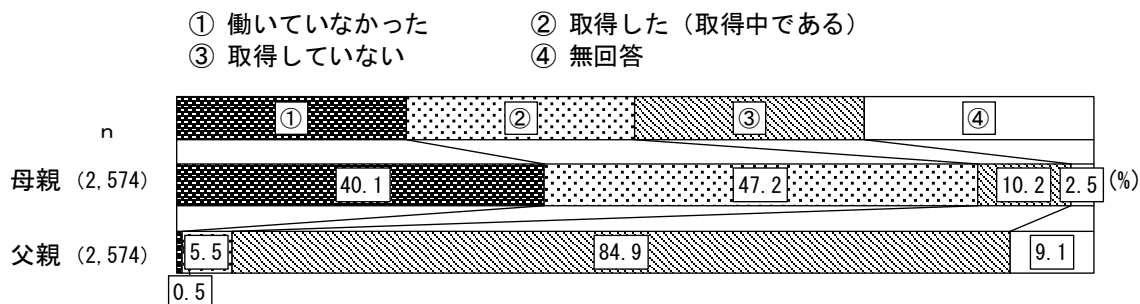


(11) 育児休業など職場の両立支援制度

問45 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。

【分析】

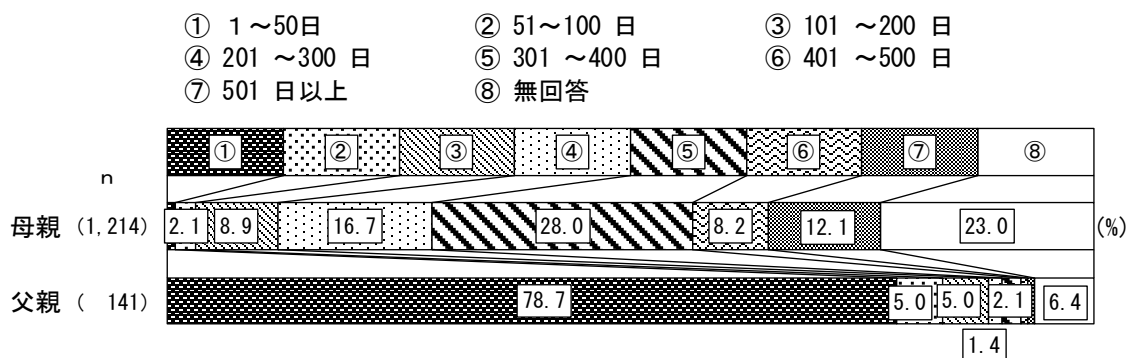
「取得した」の割合は、母親が47.2%、父親が5.5%となっている。



■ 育児休業取得期間

【分析】

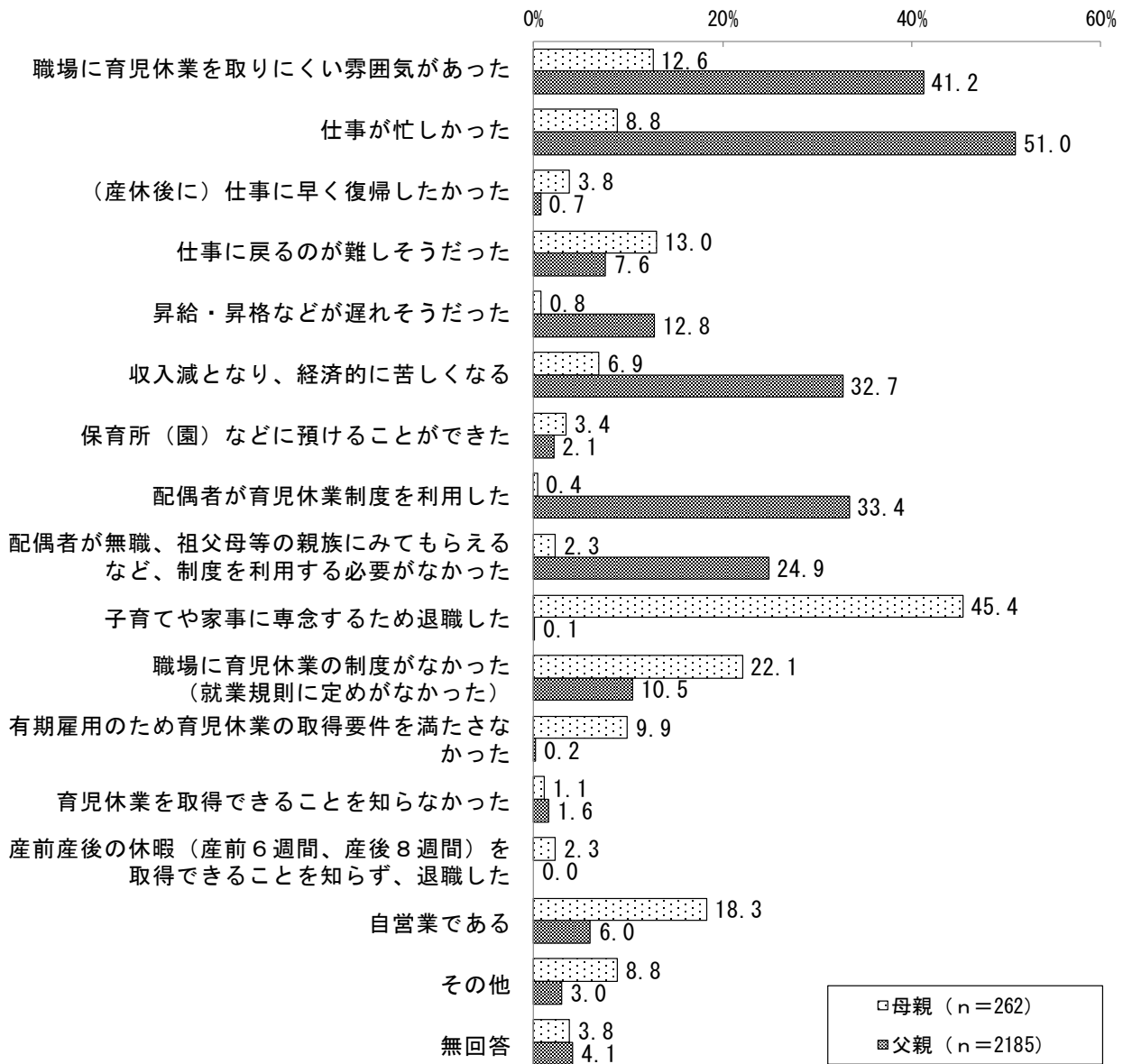
母親では「301～400日」が28.0%と最も多く、次いで「201～300日」が16.7%となっている。父親では「1～50日」が78.7%と顕著に多く、次いで「51～100日」「101～200日」がともに5.0%となっている。



■育児休業を取得していない理由

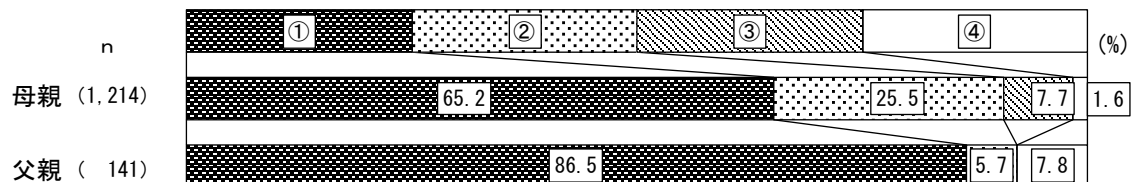
【分析】

母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が45.4%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が22.1%となっている。父親では「仕事が忙しかった」が51.0%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が41.2%となっている。



問46 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

- ① 育児休業取得後、職場に復帰した
- ② 現在も育児休業中である(復帰予定である)
- ③ 育児休業中に離職した
- ④ 無回答

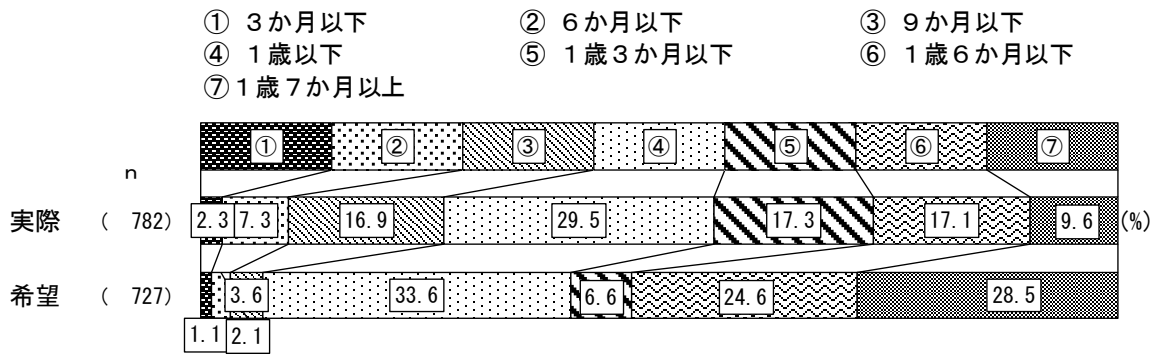


問47 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまでとりたかったですか。

■母親

【分析】

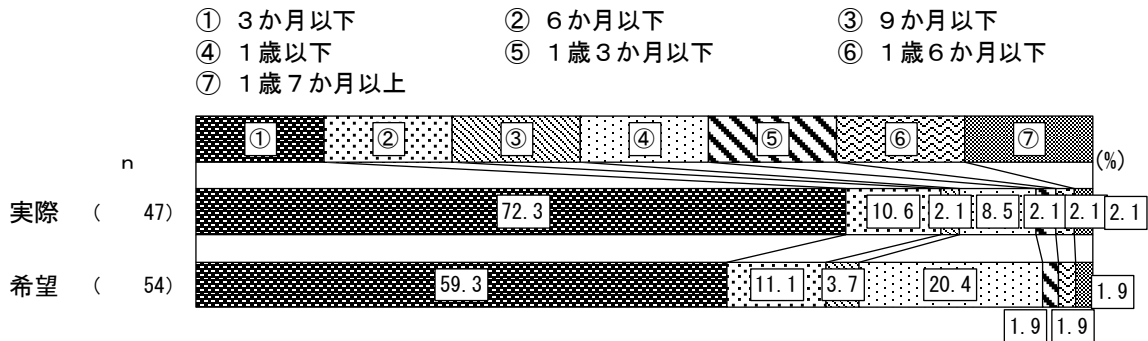
実際・希望ともに「1歳以下」が最も多く、それぞれ29.5%、33.6%となっている。また、「1歳7か月以上」が希望では28.5%であるのに対して、実際では9.6%と、18.9ポイントの開きがある。



■父親

【分析】

実際・希望ともに「3か月以下」が最も多く、それぞれ72.3%、59.3%となっている。また、「1歳以下」が希望では20.4%であるのに対して、実際では8.5%と、11.9ポイントの開きがある。

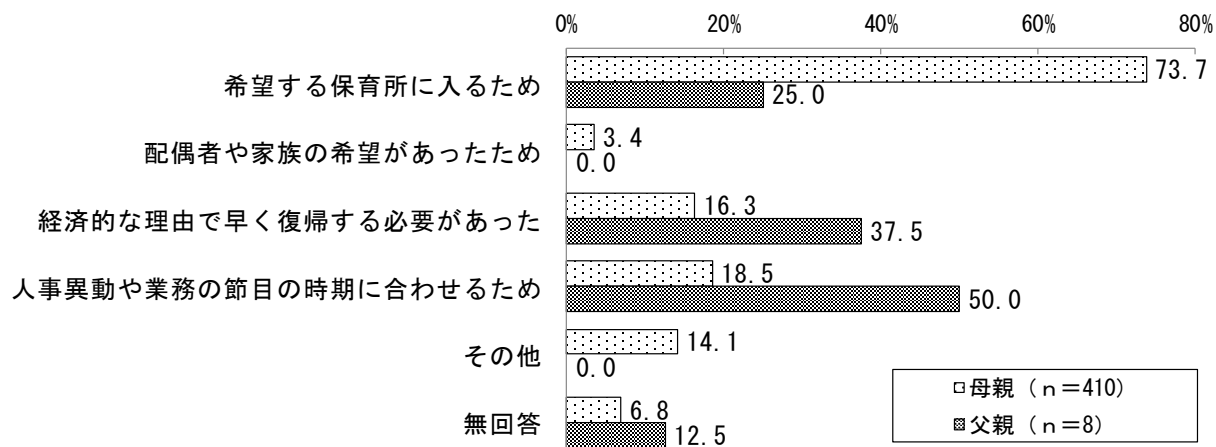


問48 問47で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方

【分析】

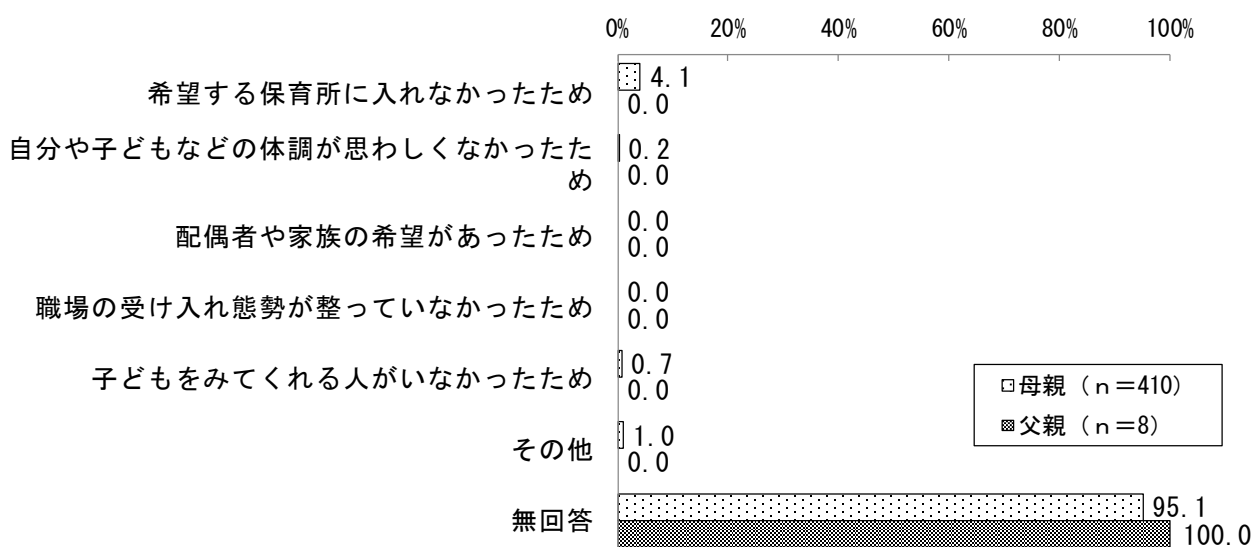
母親では「希望する保育所に入るため」が73.7%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が18.5%となっている。父親はサンプル数が少ないため参考までに図示する。



(2) 「希望」より遅く復帰した方

【分析】

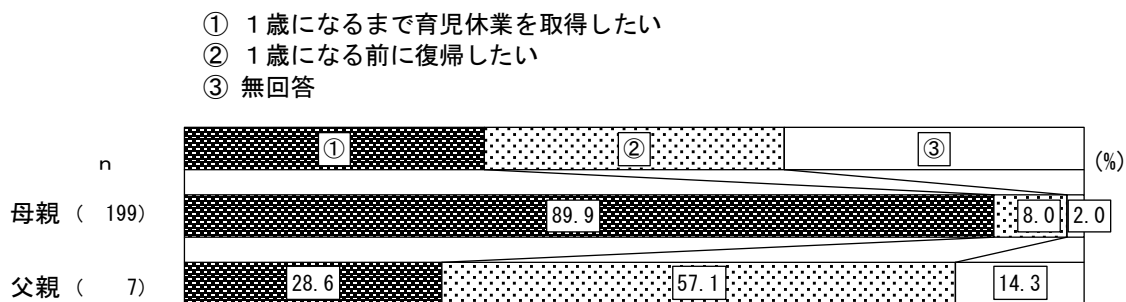
母親では「希望する保育所に入れなかったため」が4.1%と最も多く、次いで「その他」が1.0%となっている。父親では対象者がいなかった。



問49 問46で「2. 現在も育児休業中である」と回答し、お子さんが1歳未満の方にかがいます。お子さんが1歳になったときに必ず預けられる保障（保育所の入園など）があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいですか。または、預けられる保障があっても1歳になる前に復帰したいですか。当てはまる欄に○をつけてください。

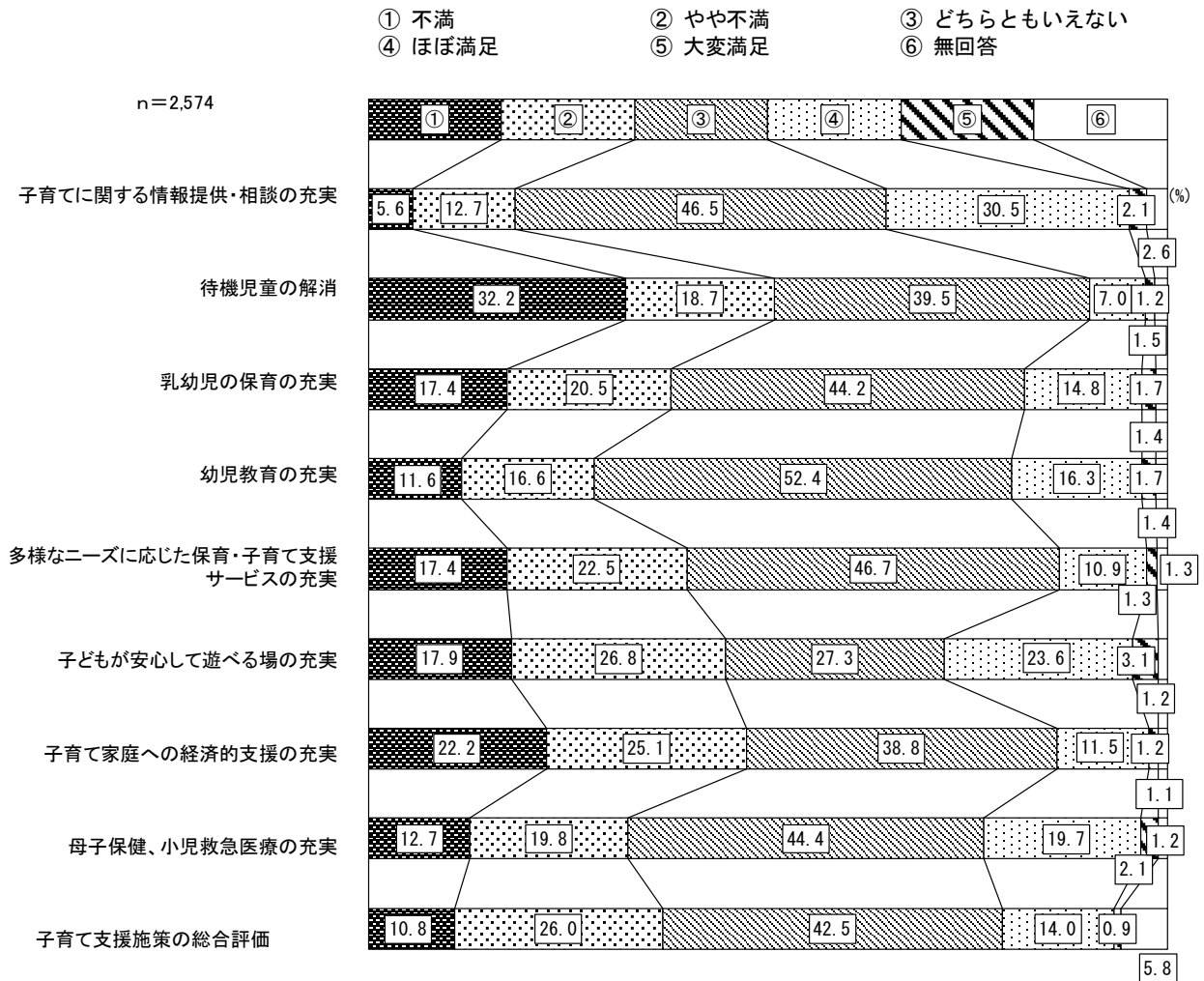
【分析】

母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が89.9%と多くなっている。父親はサンプル数が少ないため参考までに図示する。



(12) 総合

問50 市川市の子育て支援施策に対する「満足度」をおうかがいします。下記の①～⑦のそれぞれ、および「子育て支援施策の総合評価」について、どの程度満足されているか、当てはまる番号1つに○をつけてください。



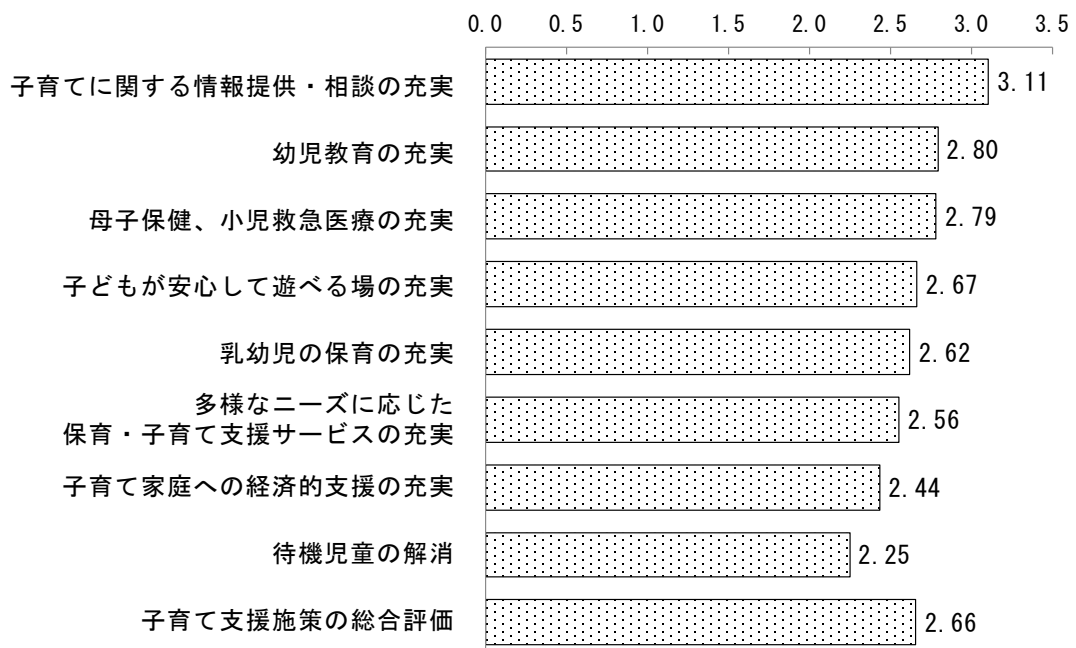
■満足度

下表の基準により、満足度の平均点数を算出した。

大変満足	5点
ほぼ満足	4点
どちらともいえない	3点
やや不満	2点
不満	1点

【分析】

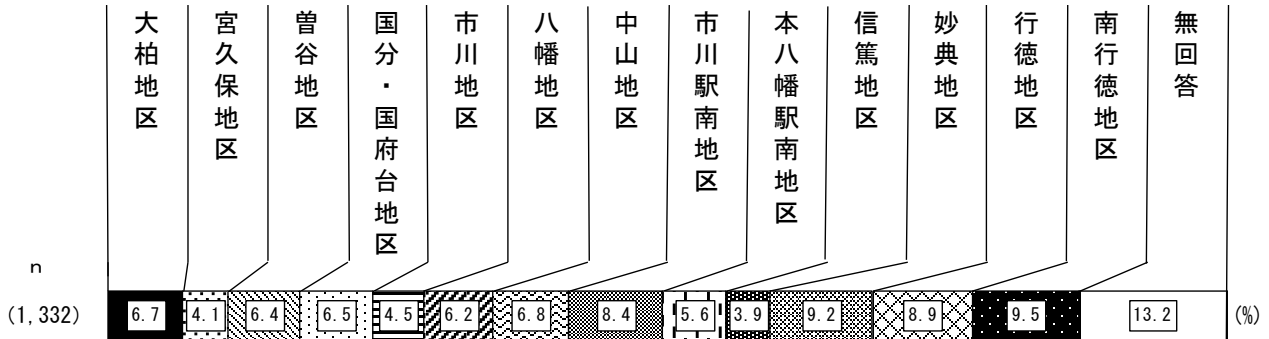
「子育てに関する情報提供・相談の充実」が3.11点と最も高く、次いで「幼児教育の充実」が2.80点、「母子保健、小児救急医療の充実」が2.79点の順となっている。



【2 小学生（1～6年生）のいる世帯】

（1）居住地区

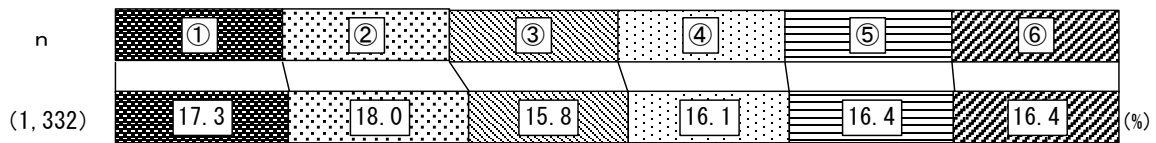
問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。



（2）子どもと家族の状況

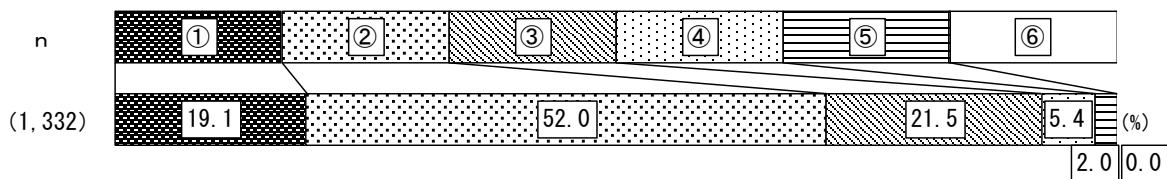
問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

- ① 小学校1年生
- ② 小学校2年生
- ③ 小学校3年生
- ④ 小学校4年生
- ⑤ 小学校5年生
- ⑥ 小学校6年生



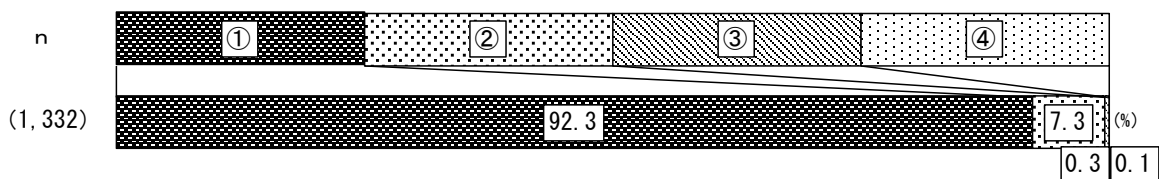
問3 お子さんのきょうだいは何人いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- ① いない
- ② 1人
- ③ 2人
- ④ 3人
- ⑤ 4人以上
- ⑥ 無回答

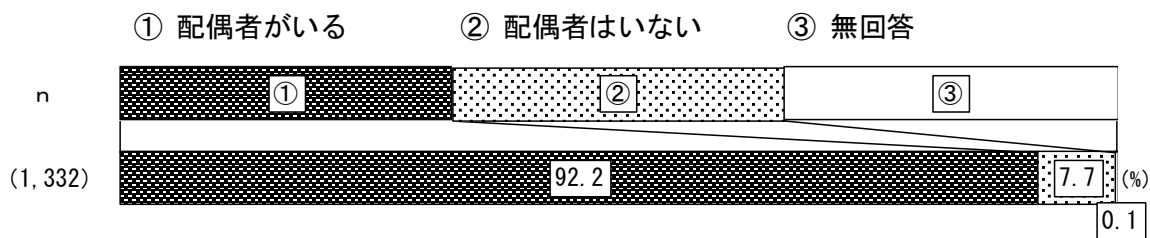


問4 この調査票に記入されているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

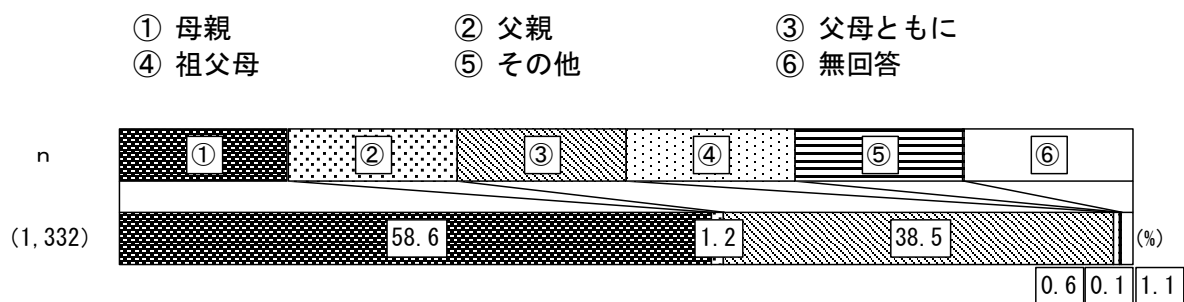
- ① 母親
- ② 父親
- ③ その他
- ④ 無回答



問5 この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

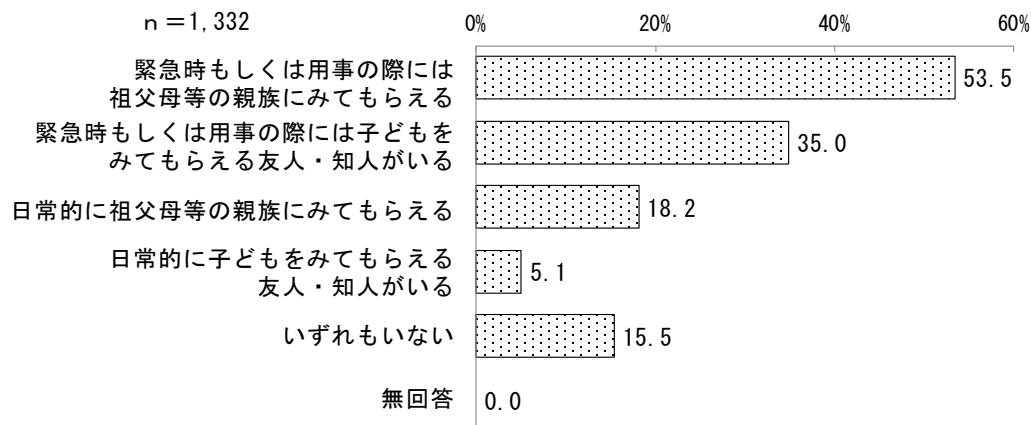


(3) 子育て環境

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

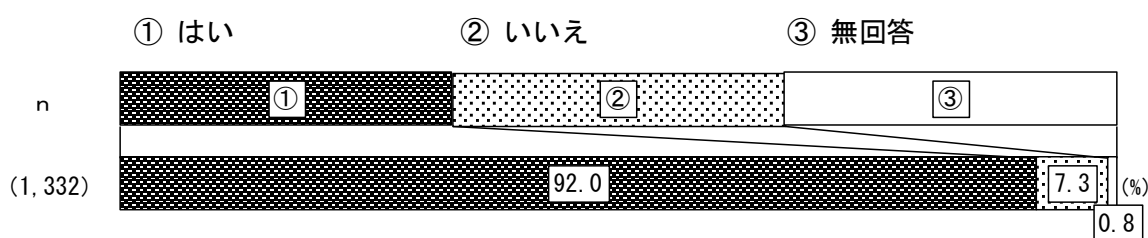
相談相手がいる中では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が53.5%と最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が35.0%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が18.2%の順となっている。一方、「いずれもない」は15.5%となっている。



問8 お子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか(いますか)。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

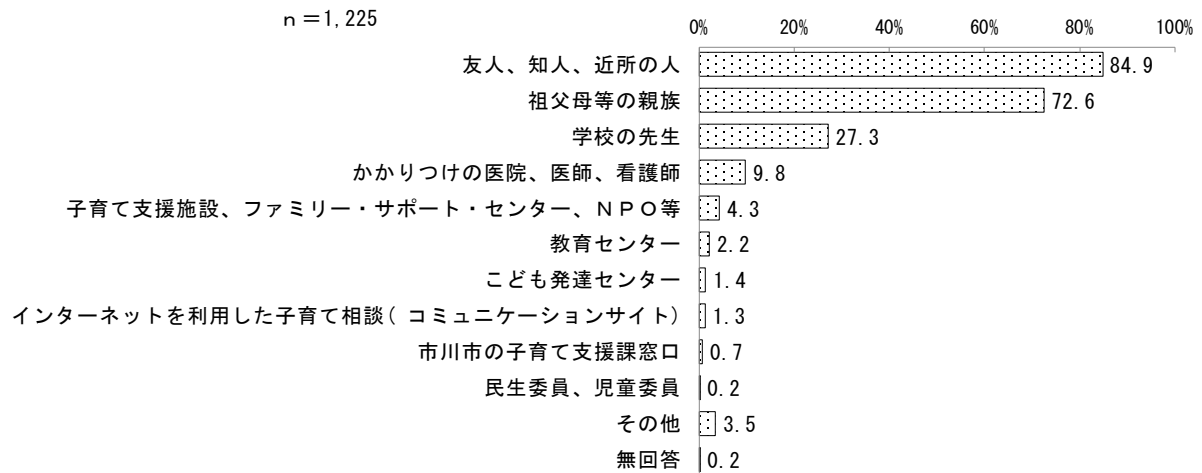
「はい」が92.0%と多くなっている。



問9 問8で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

「友人、知人、近所の人」が84.9%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が72.6%、「学校の先生」が27.3%の順となっている。

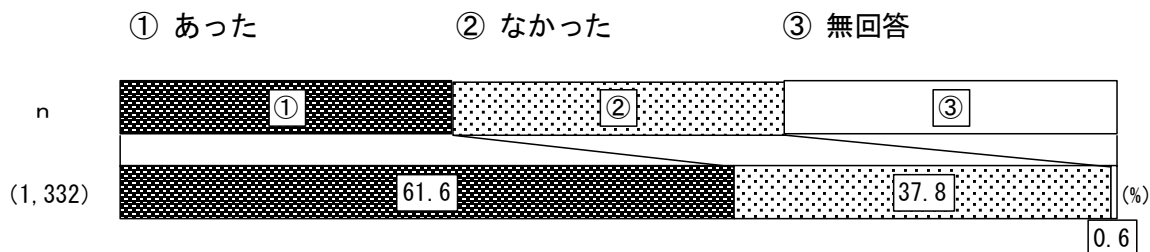


(4) 病気の際の対応

問11 この1年間に、お子さんが病気やケガで小学校を欠席したことはありますか。

【分析】

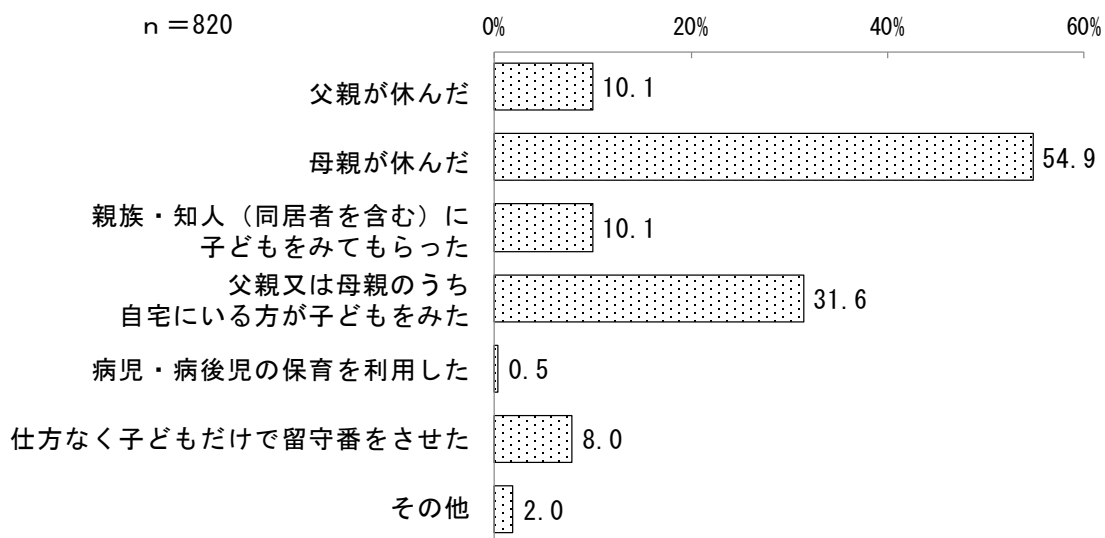
「あった」が61.6%と多くなっている。



問12 病気やケガで小学校を欠席した場合に、この1年間に行った対処方法

【分析】

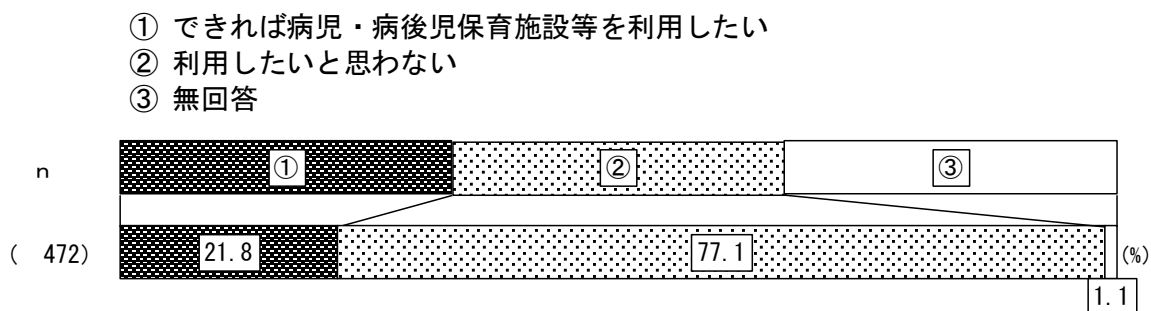
「母親が休んだ」が54.9%と最も多く、次いで「父親又は母親のうち自宅にいる方が子どもをみた」が31.6%、「父親が休んだ」が10.1%の順となっている。



問13 問12で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(利用料あり、事前にかかりつけ医の受診が必要)

【分析】

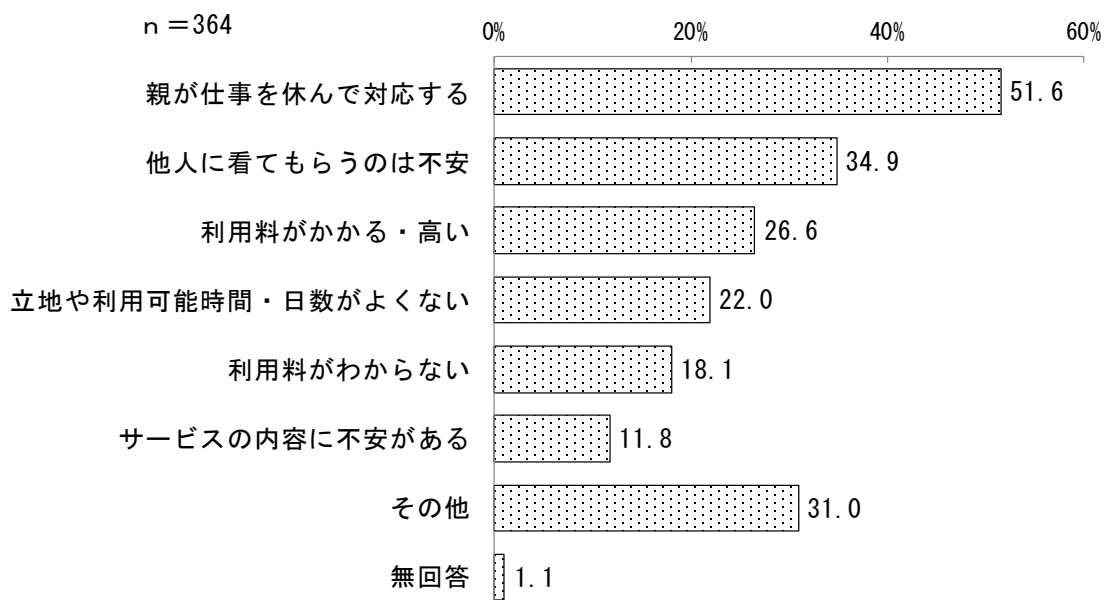
「利用したいと思わない」が77.1%と多くなっている。



問14 問13で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

「親が仕事を休んで対応する」が51.6%と最も多く、次いで「他人に看てもらうのは不安」が34.9%、「利用料がかかる・高い」が26.6%の順となっている。



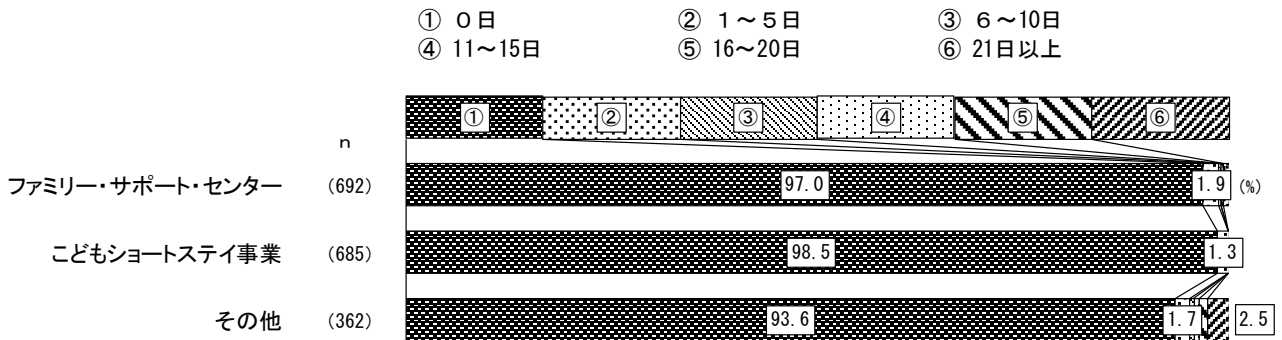
(5) 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問15 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等を目的としたお子さんを預ける事業を、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。

■日数（現在）

【分析】

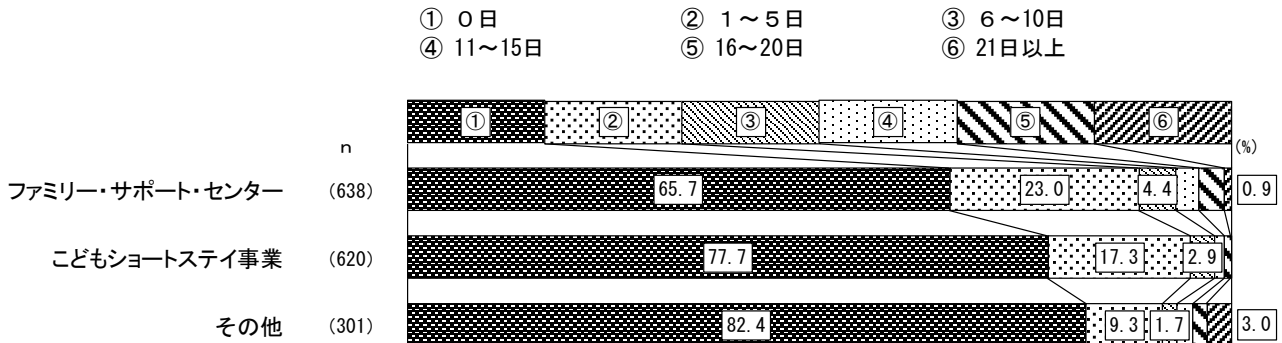
利用している預かり事業は「その他」が6.4%と最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が3.0%となっている。また、利用日数はどの事業でも「1～5日」が最も多くなっている。



■日数（希望）

【分析】

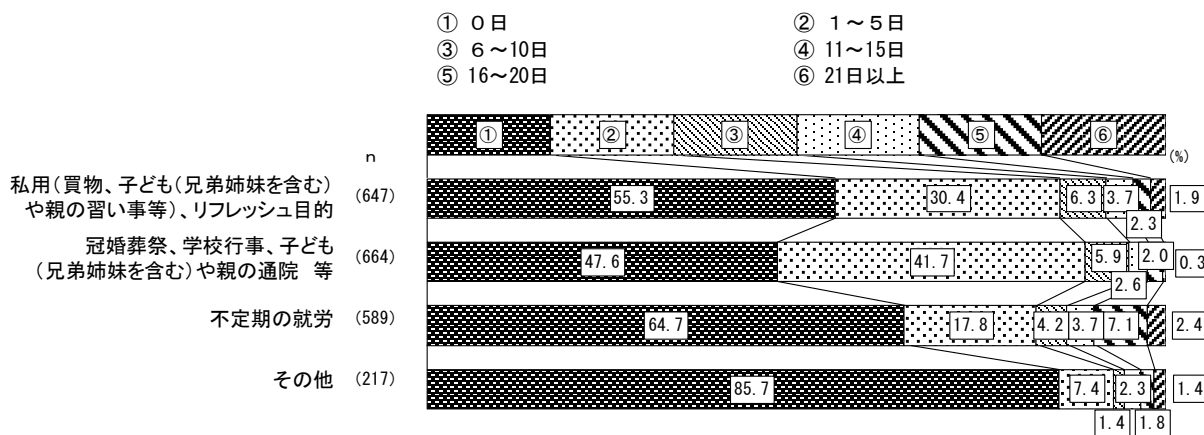
希望している預かり事業は「ファミリー・サポート・センター」が34.3%と最も多く、次いで「こどもショートステイ事業」が22.3%となっている。また、希望日数はどの事業でも「1～5日」が最も多くなっている。



問16 問15の目的で、お子さんを預ける事業について、どのような目的で利用したいと思いますか。

【分析】

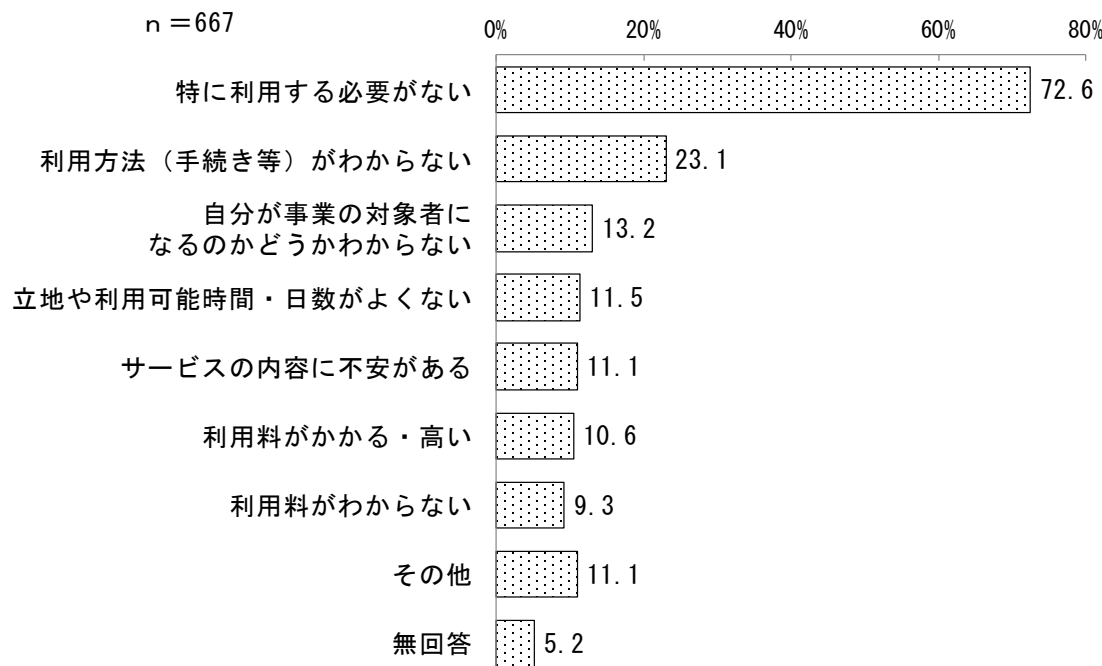
預かり事業利用の目的は「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が52.4%と最も多く、次いで「私用、リフレッシュ目的」が44.7%となっている。また、利用希望日数はどの事業でも「1～5日」が最も多くなっている。



問17 問15のA欄で全ての項目について「1.」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

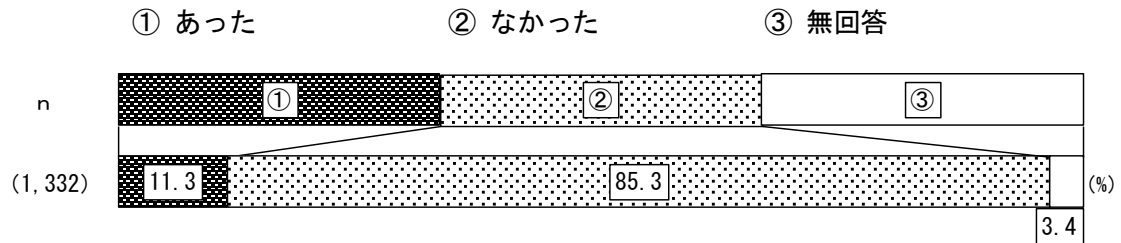
「特に利用する必要がない」が72.6%と最も多く、次いで「利用方法(手続き等)がわからない」が23.1%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」が13.2%の順となっている。



問18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

【分析】

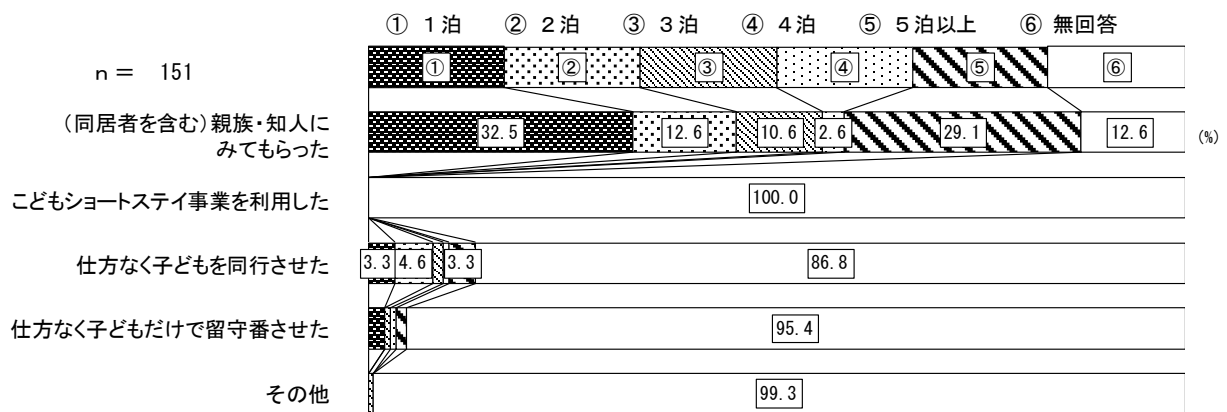
「なかった」が85.3%となっている。



■ 1年間の対処方法

【分析】

無回答を除くと、1年間の対処方法は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が87.4%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が13.2%となっている。

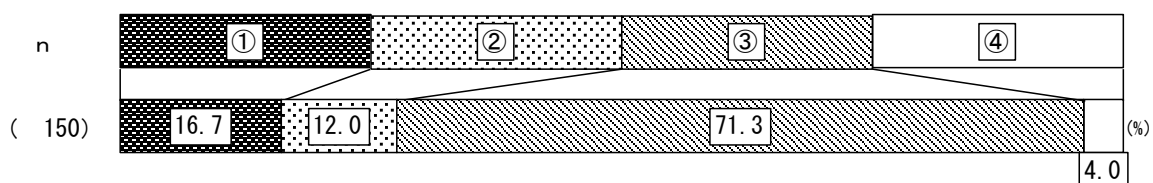


問19 問18で「1. あった ア、ウ、エ」のいずれかを回答した方にうかがいます。今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

「利用したいと思わない」が71.3%と最も多く、次いで「子どもショートステイ事業を利用したい」が16.7%となっている。

- ① 子どもショートステイ事業を利用したい
- ② ファミリー・サポート・センターを利用したい
- ③ 利用したいと思わない
- ④ 無回答



(6) 放課後の過ごし方

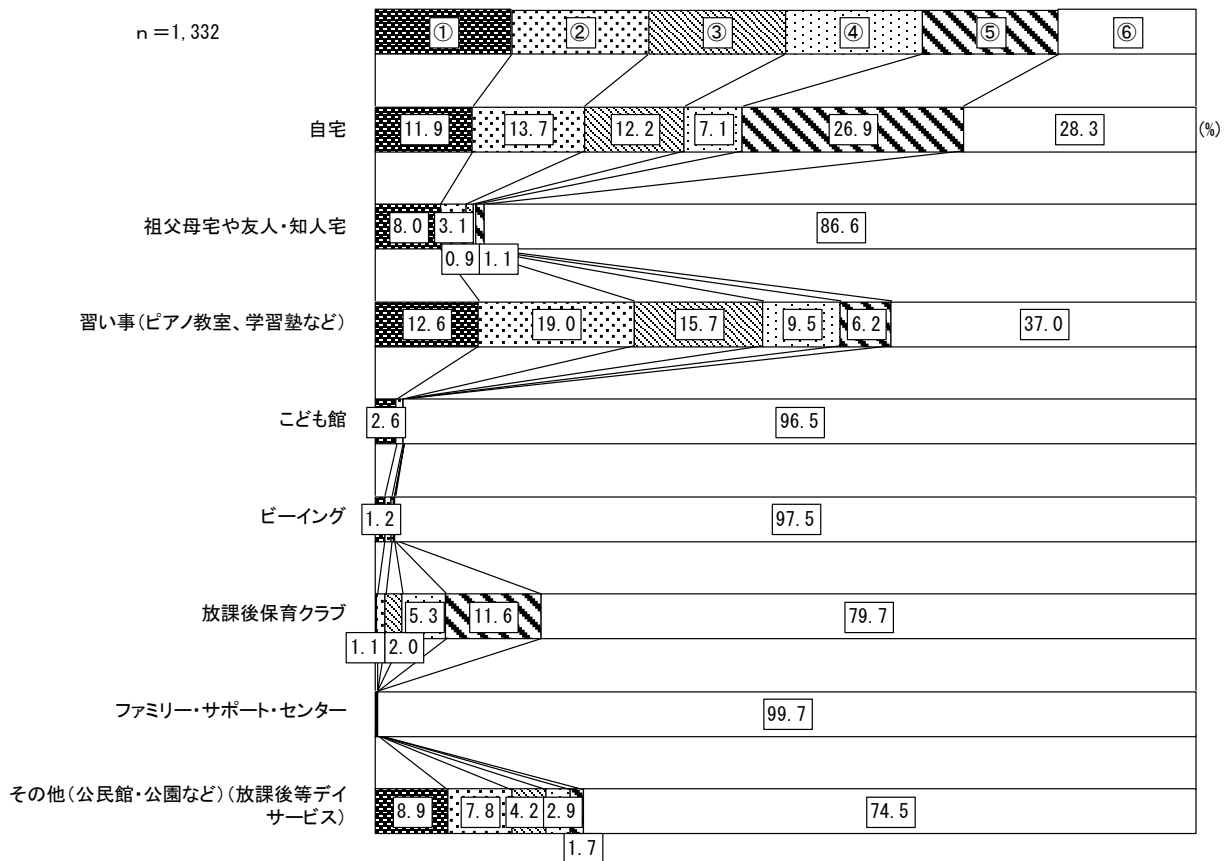
問20 お子さんについて、放課後の時間を現在どのような場所で過ごさせていますか。また希望としてはどのように過ごさせたいですか。現在の状況をA欄に、希望をB欄に（現在の状況と同じ場合には記載不要です）、それぞれの内容ごとに1週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ」については利用を希望する時間も数字でご記入ください（記載例：下校時から18時まで）。

■放課後の過ごし方（現在の状況）

【分析】

「自宅」が71.7%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、学習塾など）」が63.0%、「その他（公民館・公園など）（放課後等デイサービス）」が25.5%の順となっている。

- ① 1週あたり1日
- ② 1週あたり2日
- ③ 1週あたり3日
- ④ 1週あたり4日
- ⑤ 1週あたり5日以上
- ⑥ 無回答

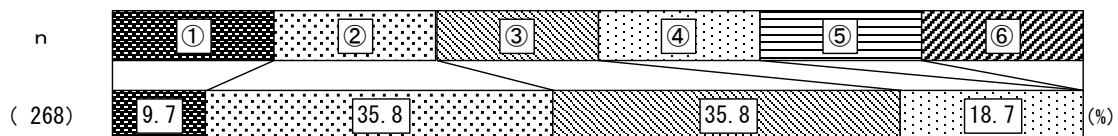


■放課後保育クラブの利用希望時刻（下校時から〇〇時まで）

【分析】

「17時まで」「18時まで」がともに35.8%と最も多く、次いで「19時まで」が18.7%となっている。

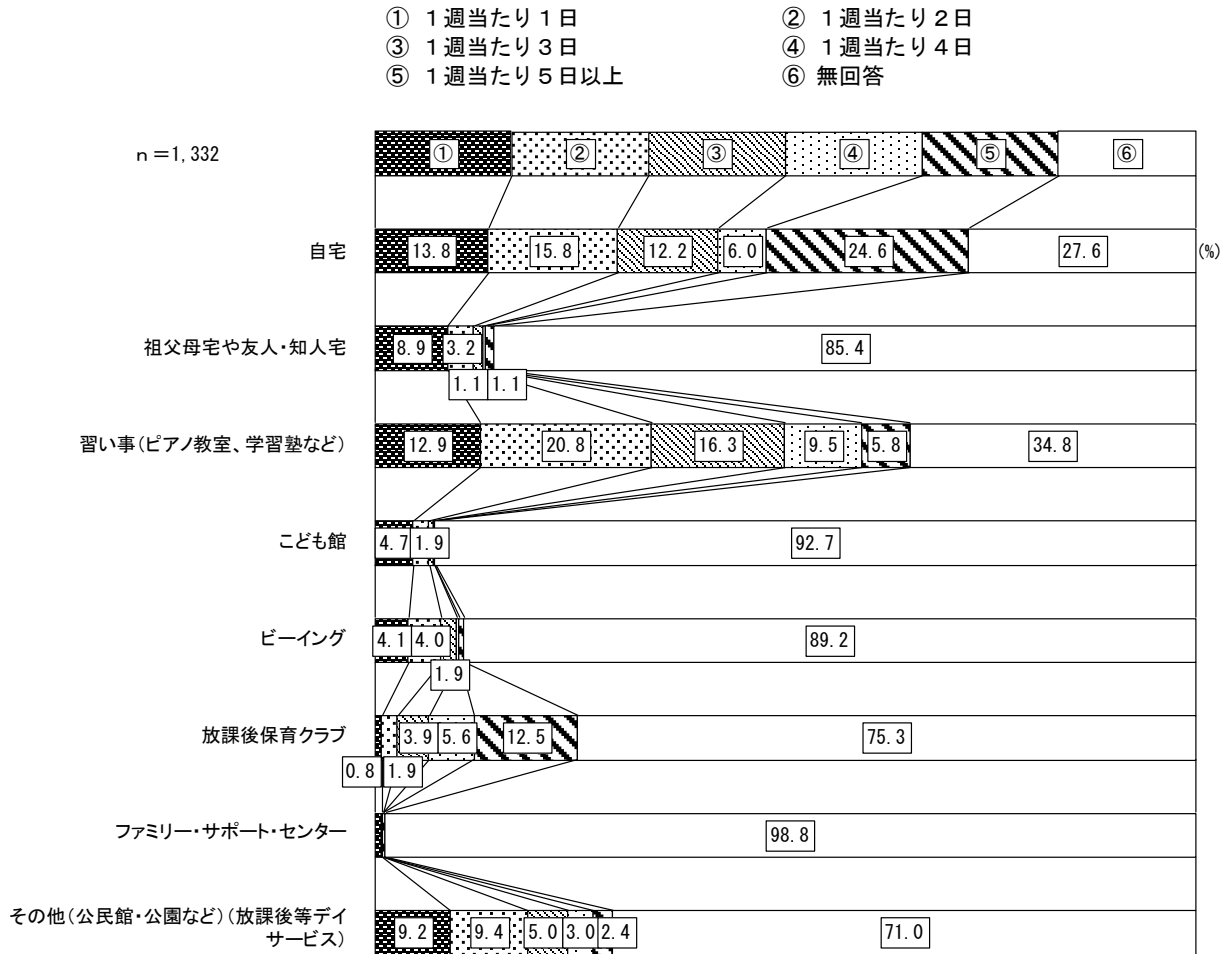
- ① 16時まで
- ② 17時まで
- ③ 18時まで
- ④ 19時まで
- ⑤ 20時まで
- ⑥ 21時以降まで



■放課後の過ごし方（希望）

【分析】

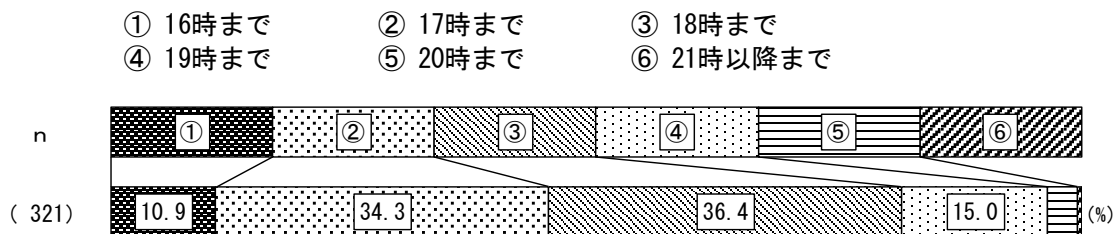
「自宅」が 72.4%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、学習塾など）」が 65.2%、「その他（公民館・公園など）（放課後等デイサービス）」が 29.0%の順となっている。



■放課後保育クラブの利用希望時刻（下校時から〇〇時まで）

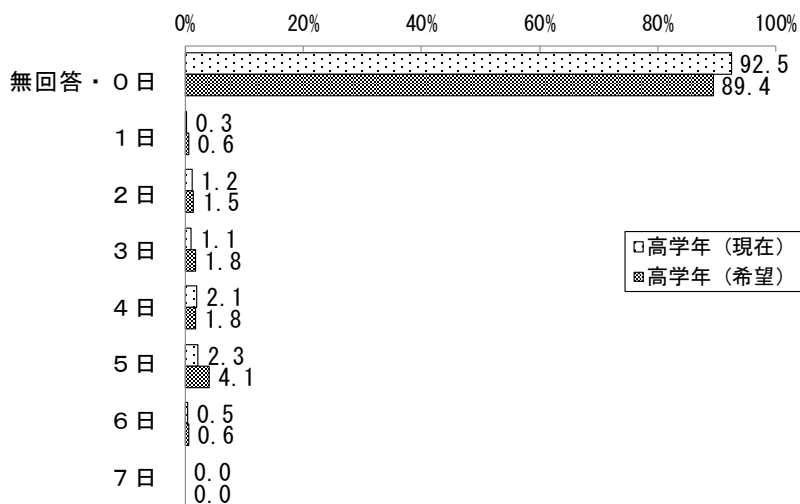
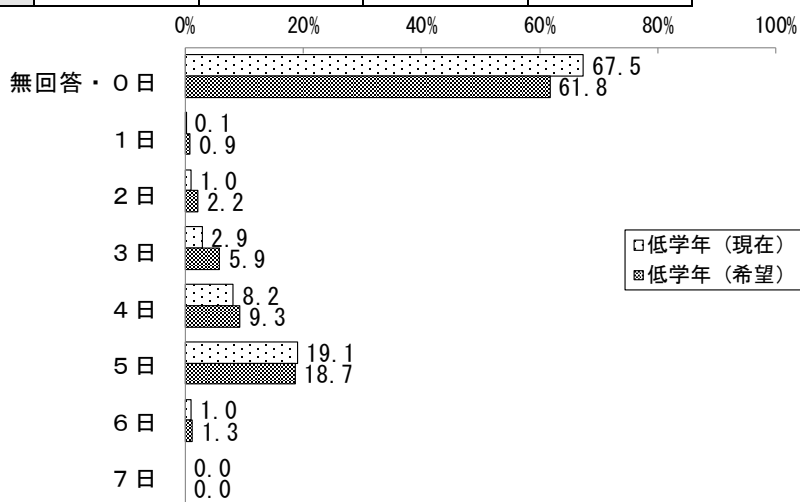
【分析】

「18時まで」が 36.4%と最も多く、次いで「17時まで」が 34.3%となっている。



■放課後保育クラブ：学年区分ごとの現在・希望

週あたり日数	低学年（n=680）		高学年（n=652）	
	現在	希望	現在	希望
無回答・0日	67.5%	61.8%	92.5%	89.4%
1日	0.1%	0.9%	0.3%	0.6%
2日	1.0%	2.2%	1.2%	1.5%
3日	2.9%	5.9%	1.1%	1.8%
4日	8.2%	9.3%	2.1%	1.8%
5日	19.1%	18.7%	2.3%	4.1%
6日	1.0%	1.3%	0.5%	0.6%
7日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

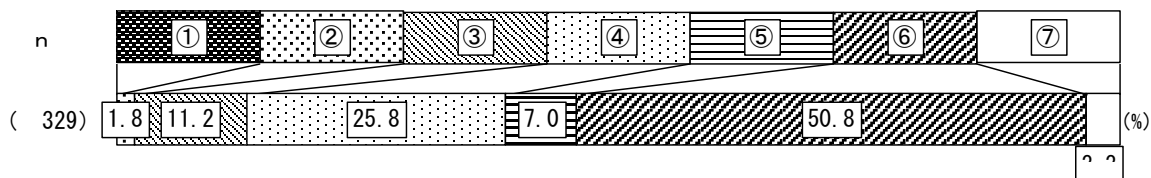


問21 放課後保育クラブを何年生まで利用したいですか。利用したい学年を数字でご記入ください。

【分析】

「小学校6年生まで」が50.8%と最も多く、次いで「小学校4年生まで」が25.8%、「小学校3年生まで」が11.2%の順となっている。

- ① 小学校1年生まで
- ② 小学校2年生まで
- ③ 小学校3年生まで
- ④ 小学校4年生まで
- ⑤ 小学校5年生まで
- ⑥ 小学校6年生まで
- ⑦ 無回答



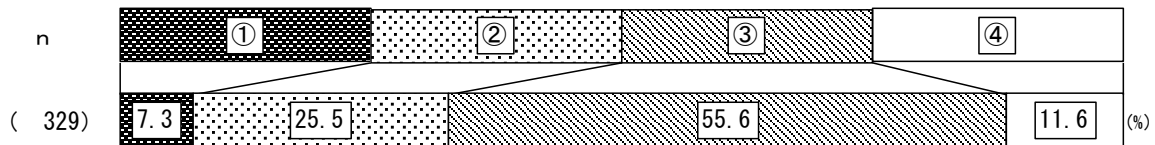
問22 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。

(1) 土曜日

【分析】

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が7.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が25.5%となっている。

- ① 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- ② 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- ③ 利用する必要はない
- ④ 無回答

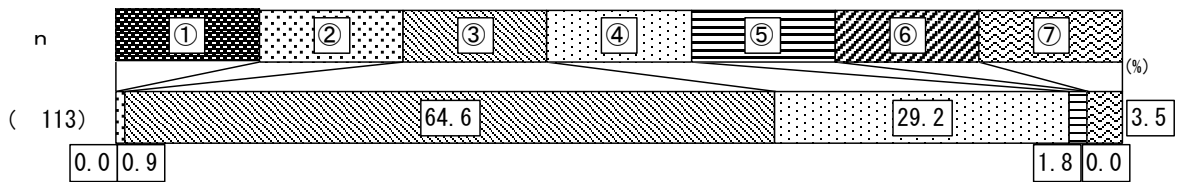


■開始時刻

【分析】

「8時」が64.6%と最も多く、次いで「9時」が29.2%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7時
- ③ 8時
- ④ 9時
- ⑤ 10時
- ⑥ 11時
- ⑦ 12～23時

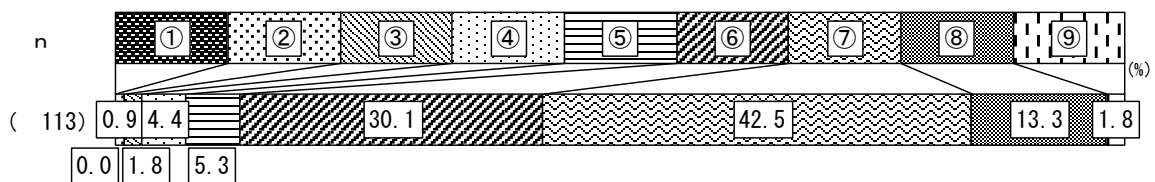


■終了時刻

【分析】

「18時」が42.5%と最も多く、次いで「17時」が30.1%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7～13時
- ③ 14時
- ④ 15時
- ⑤ 16時
- ⑥ 17時
- ⑦ 18時
- ⑧ 19時
- ⑨ 20～23時

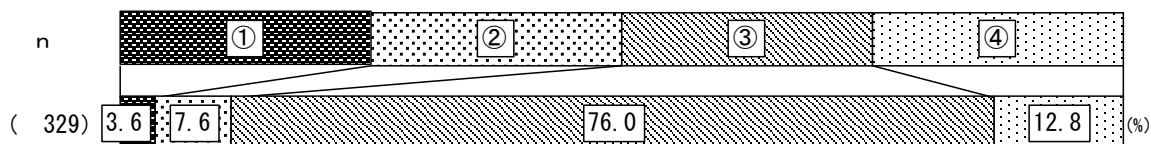


(2) 日曜・祝日

【分析】

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が3.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が7.6%となっている。

- ① 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- ② 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- ③ 利用する必要はない
- ④ 無回答

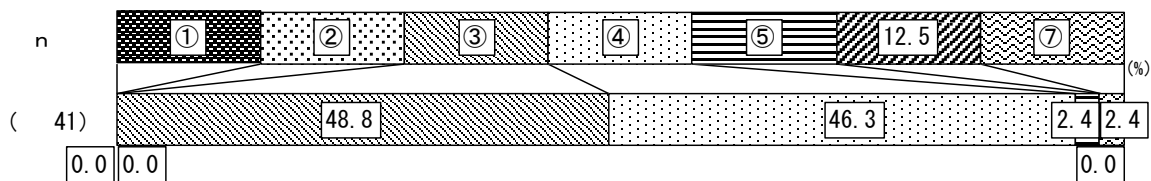


■開始時刻

【分析】

「8時」が48.8%と最も多く、次いで「9時」が46.3%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7時
- ③ 8時
- ④ 9時
- ⑤ 10時
- ⑥ 11時
- ⑦ 12～23時

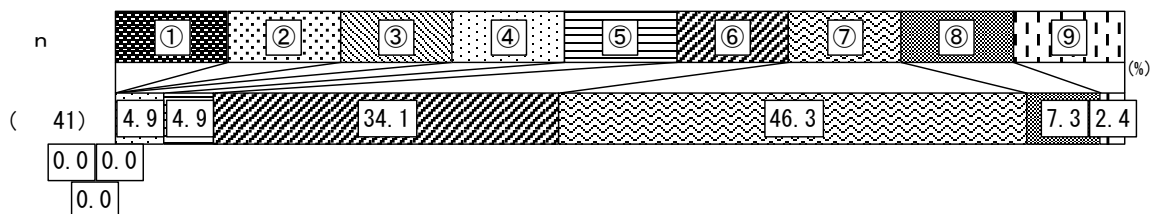


■終了時刻

【分析】

「18時」が46.3%と最も多く、次いで「17時」が34.1%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7～13時
- ③ 14時
- ④ 15時
- ⑤ 16時
- ⑥ 17時
- ⑦ 18時
- ⑧ 19時
- ⑨ 20～23時

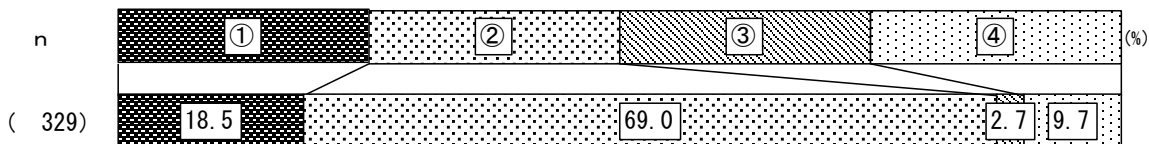


(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

【分析】

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が18.5%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が69.0%となっている。

- ① 低学年（1～3年生）の間は利用したい
- ② 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- ③ 利用する必要はない
- ④ 無回答

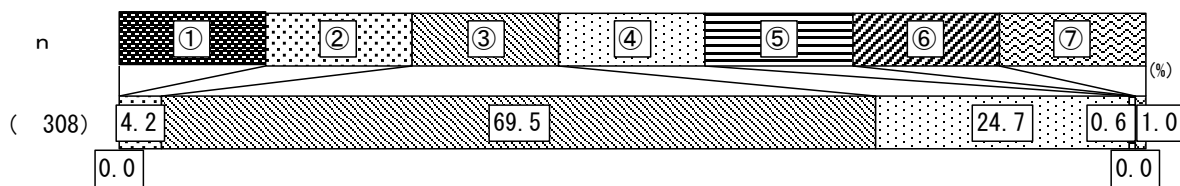


■開始時刻

【分析】

「8時」が69.5%と最も多く、次いで「9時」が24.7%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7時
- ③ 8時
- ④ 9時
- ⑤ 10時
- ⑥ 11時
- ⑦ 12～23時

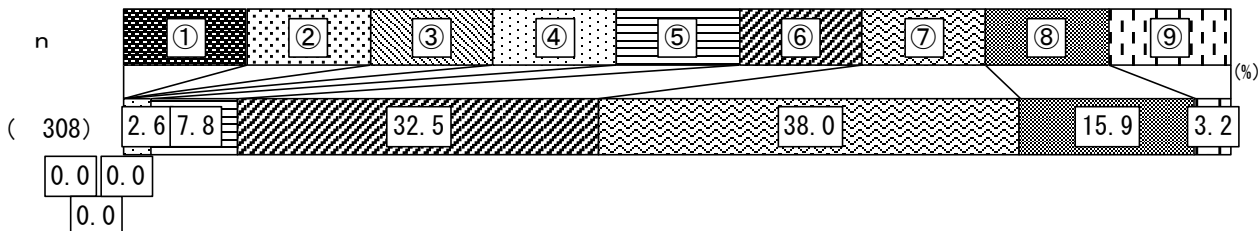


■終了時刻

【分析】

「18時」が38.0%と最も多く、次いで「17時」が32.5%となっている。

- ① 0～6時
- ② 7～13時
- ③ 14時
- ④ 15時
- ⑤ 16時
- ⑥ 17時
- ⑦ 18時
- ⑧ 19時
- ⑨ 20～23時

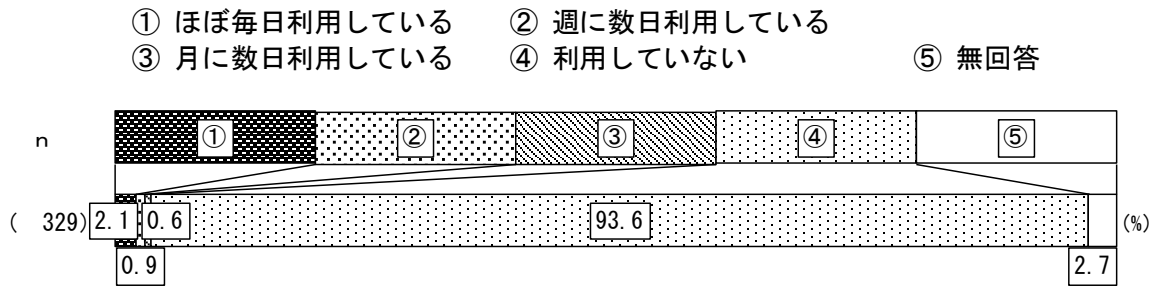


問23 放課後保育クラブ（学童保育）の前後・または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。また利用したいと思いますか。

(1) 現在利用していますか。

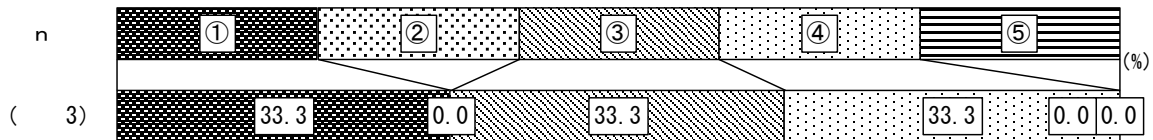
【分析】

無回答を除くと、「利用していない」が 93.6%と最も多く、次いで「ほぼ毎日利用している」が 2.1%となっている。



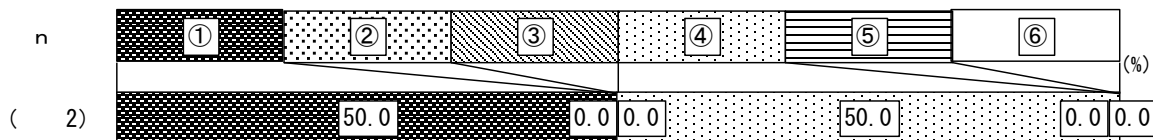
■ 1週あたり日数

- ① 1週あたり1日 ② 1週あたり2日 ③ 1週あたり3日
④ 1週あたり4日 ⑤ 1週あたり5日以上 ⑥ 無回答



■ 1月あたり日数

- ① 1月あたり1日 ② 1月あたり2日 ③ 1月あたり3日
④ 1月あたり4日 ⑤ 1月あたり5日以上 ⑥ 無回答

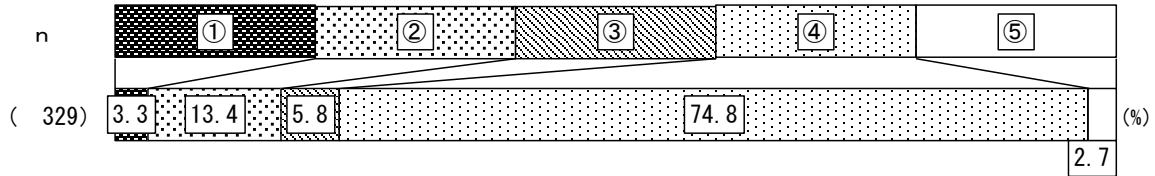


(2) 利用したいと思いますか。

【分析】

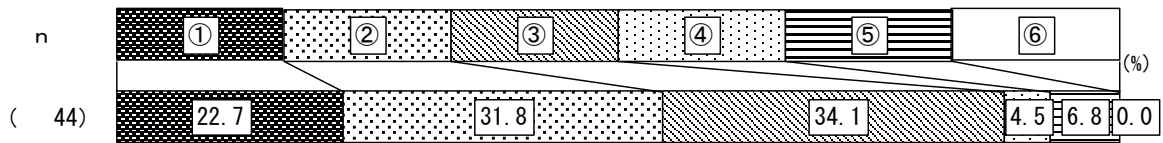
「特に利用したいと思わない」が74.8%と最も多く、次いで「週に数日利用したい」が13.4%となっている。

- ① ほぼ毎日利用したい ② 週に数日利用したい
 ③ 月に数日利用したい ④ 特に利用したいと思わない ⑤ 無回答



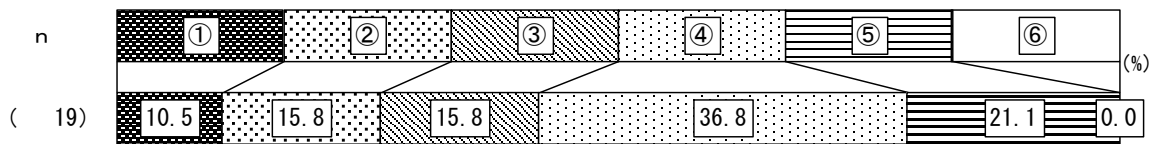
■ 1週間あたり日数

- ① 1週当たり1日 ② 1週当たり2日 ③ 1週当たり3日
 ④ 1週当たり4日 ⑤ 1週当たり5日以上 ⑥ 無回答



■ 1か月あたり日数

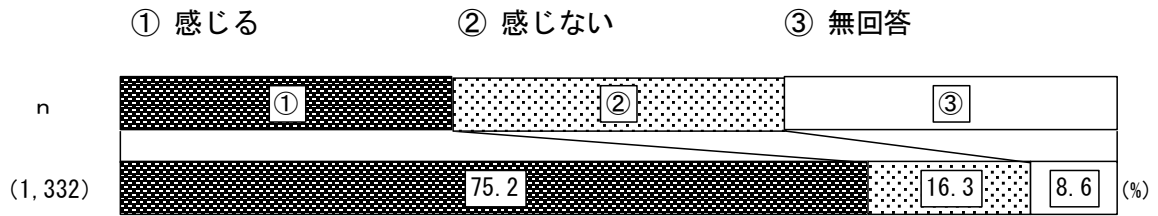
- ① 1月当たり1日 ② 1月当たり2日 ③ 1月当たり3日
 ④ 1月当たり4日 ⑤ 1月当たり5日以上 ⑥ 無回答



問24 小学生の子どもが、家で一人もしくは、きょうだいだけで過ごす事に不安を感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

「感じる」が75.2%と多くなっている。



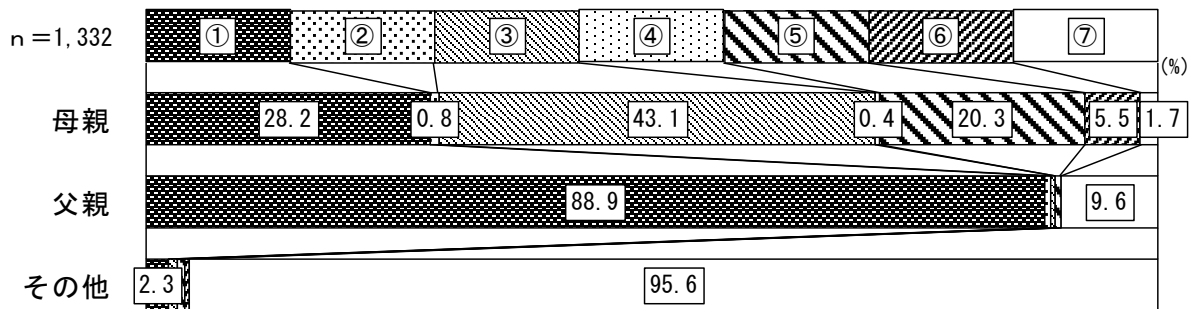
(7) 保護者の就労状況

問25 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【分析】

母親の就労率は72.5%で、フルタイムでの就労率は産休等の休業中も含めて29.0%となっている。父親の就労率は89.9%で、フルタイムでの就労率は産休等の休業中も含めて89.4%となっている。その他の保護者の就労率は3.1%で、フルタイムでの就労率は産休等の休業中も含めて2.3%となっている。

- ① フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ② フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ③ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ④ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ⑤ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ⑥ これまで就労したことがない
- ⑦ 無回答

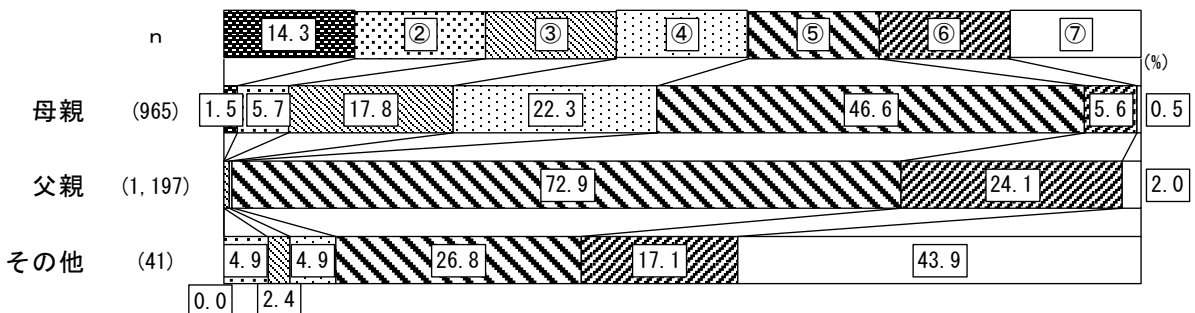


■ 1週間あたりの「就労日数」

【分析】

就労日数が週5日である割合は、母親が46.6%、父親が72.9%、その他の保護者が26.8%となっている。

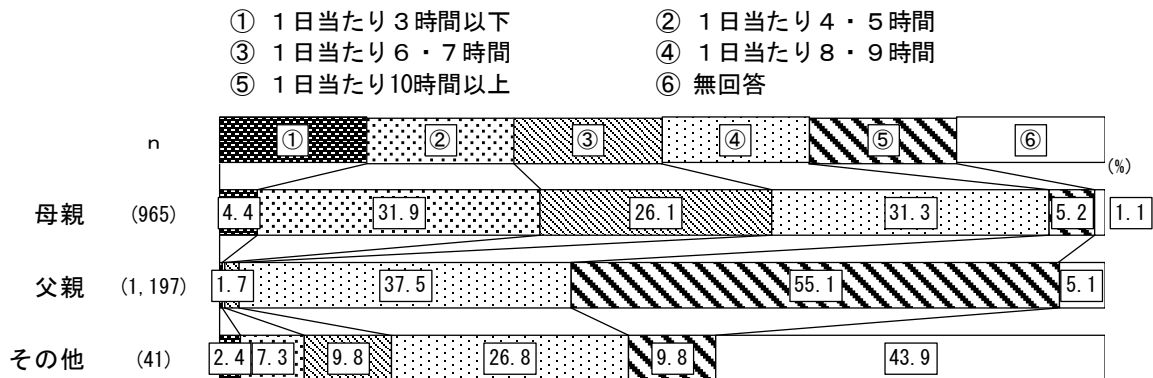
- ① 1週当たり1日
- ② 1週当たり2日
- ③ 1週当たり3日
- ④ 1週当たり4日
- ⑤ 1週当たり5日
- ⑥ 1週当たり6日以上
- ⑦ 無回答



■ 1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」

【分析】

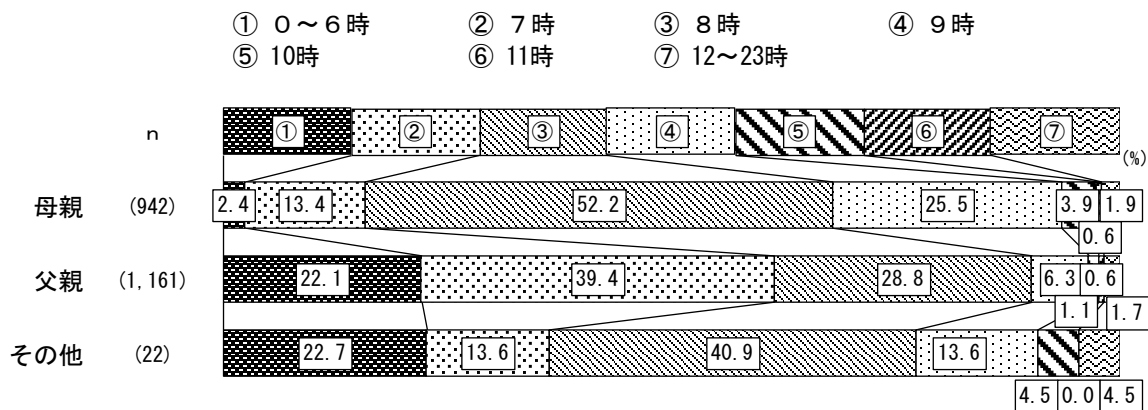
1日あたりの就労時間が8時間以上である割合は、母親が36.5%、父親が92.6%、その他の保護者が36.6%となっている。



■ 家を出る時刻

【分析】

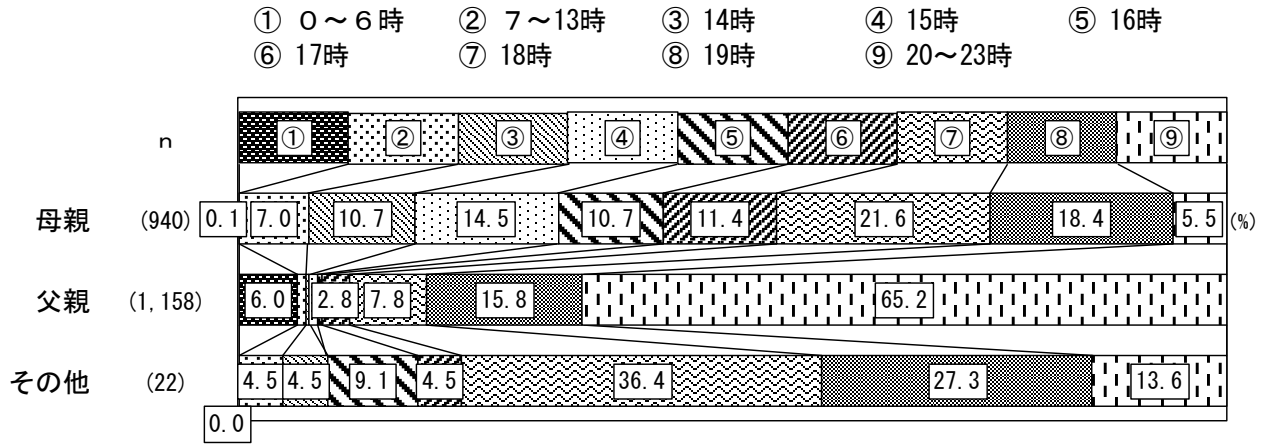
母親では「8時」が52.2%と最も多く、次いで「9時」が25.5%となっている。父親では「8時」が28.8%と最も多く、次いで「7時」が39.4%となっている。その他の保護者では「8時」が40.9%と最も多く、次いで「0～6時」が22.7%となっている。



■帰宅時刻

【分析】

母親では「18時」が21.6%と最も多く、次いで「19時」が18.4%となっている。父親では「20～23時」が65.2%と最も多く、次いで「19時」が15.8%となっている。その他の保護者では「18時」が36.4%と最も多く、次いで「19時」が27.3%となっている。

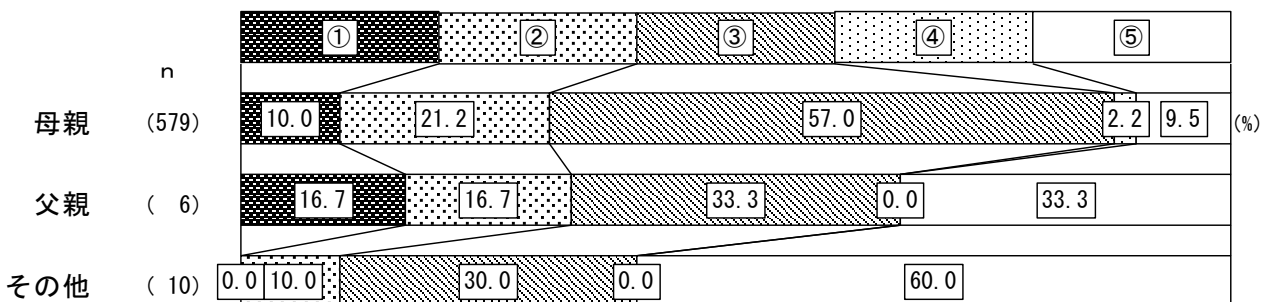


問26 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

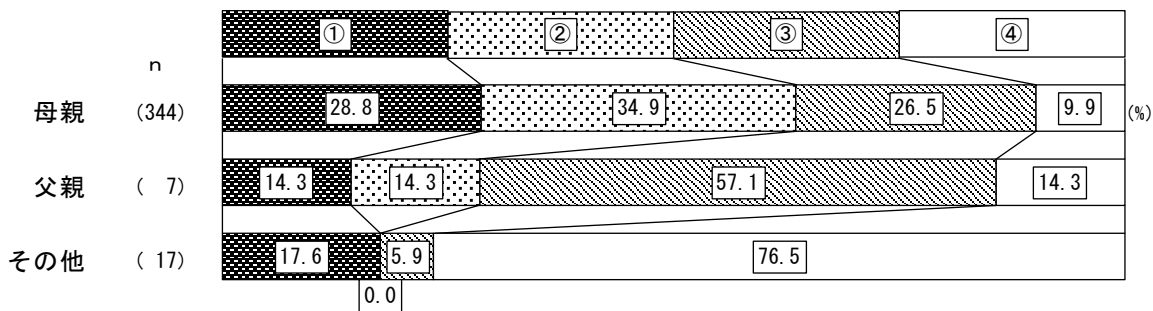
母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が57%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が21.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.0%の順となっている。父親およびその他の保護者はサンプル数が少ないため参考までに図示する。

- ① フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ② フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ③ パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- ④ パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- ⑤ 無回答



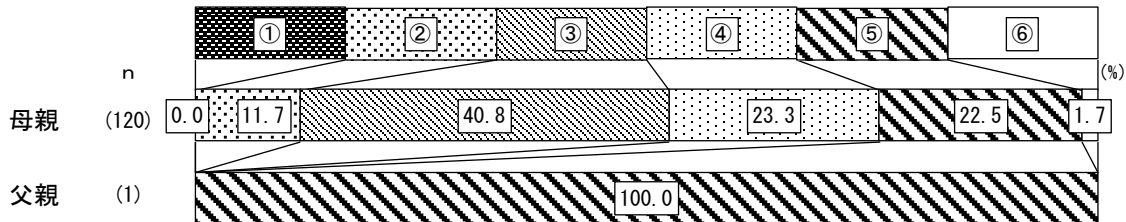
問27 就労したいという希望はありますか。

- ① 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- ② 1年より先、一番下の子が0歳になったところに就労したい
- ③ すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- ④ 無回答



■ 1年より先、一番下の子が0歳になったところに就労したい

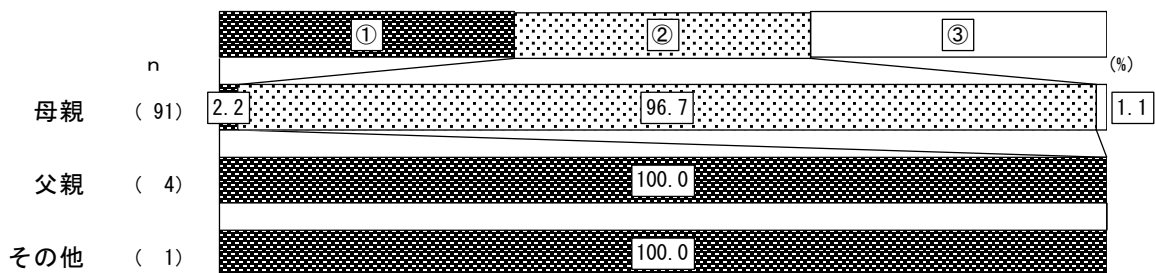
- ① 2歳以下
- ② 3～5歳
- ③ 6～8歳
- ④ 9～11歳
- ⑤ 12歳以上
- ⑥ 無回答



※その他は該当者なし

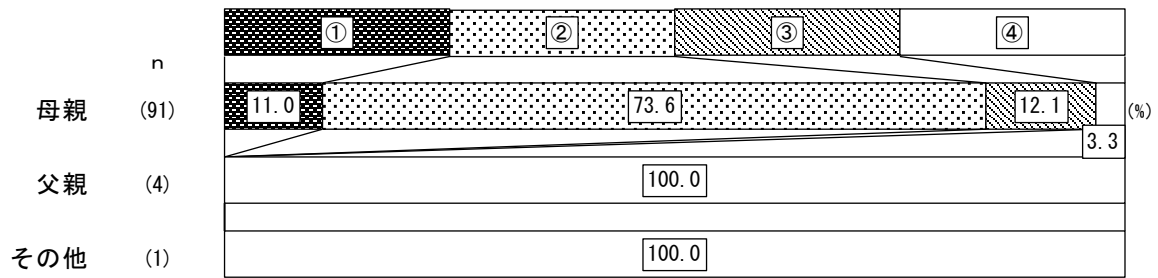
■ 希望する就労形態

- ① フルタイム
- ② パートタイム、アルバイト等
- ③ 無回答



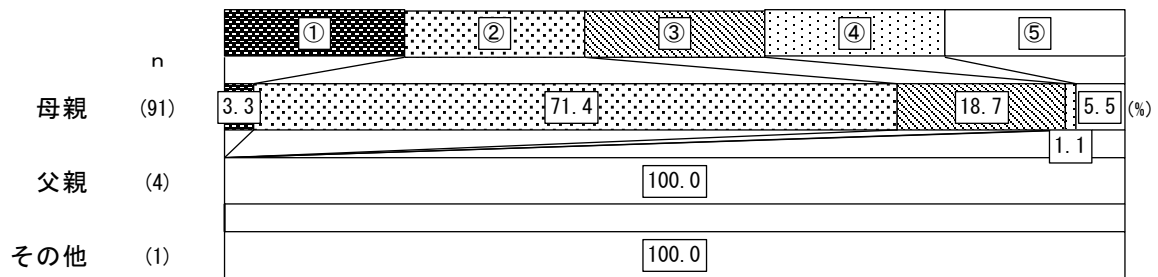
■ 1週間あたり就労日数

- ① 1週あたり1・2日
- ② 1週あたり3・4日
- ③ 1週あたり5日以上
- ④ 無回答



■ 1日あたり就労時間

- ① 3時間以下
- ② 4・5時間
- ③ 6・7時間
- ④ 8・9時間
- ⑤ 10時間以上
- ⑥ 無回答



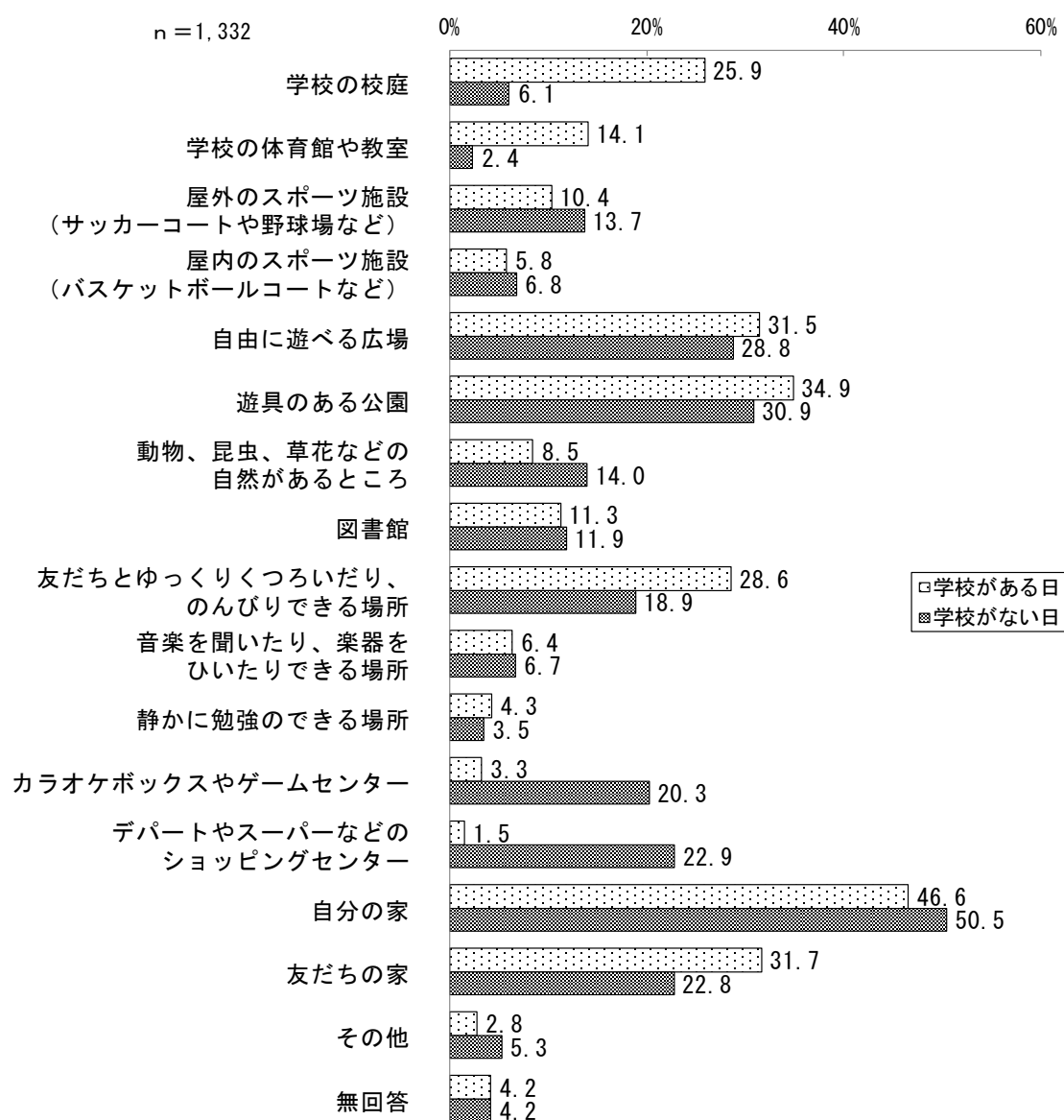
(8) 子ども本人へのアンケート

問28 この質問はお子さんご本人に回答してもらってください。(お子さんが低学年の場合には、保護者の方が質問文の説明など、回答の補助をしてください。)

あなたは、学校の授業が終わった後(放課後)や学校のない日(土・日・夏休みなど)の自由な時間を過ごす時、どんなところで過ごしたいですか。(学校がある日とない日でそれぞれ3つまで回答できます。)

【分析】

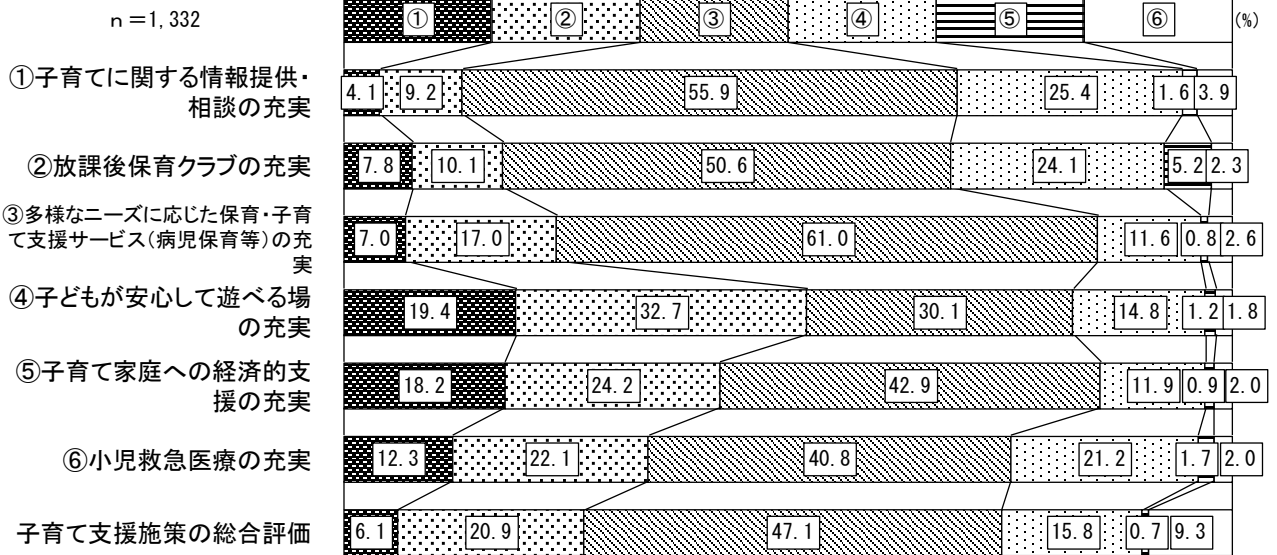
学校がある日では「自分の家」が46.6%と最も多く、次いで「遊具のある公園」が34.9%、「友だちの家」が31.7%の順となっている。学校がない日では「自分の家」が50.5%と最も多く、次いで「遊具のある公園」が30.9%、「自由に遊べる広場」が28.8%の順となっている。



(9) 総合

問29 市川市の子育て支援施策に対する「満足度」をおうかがいします。下記の①～⑥のそれぞれ、および「子育て支援施策の総合評価」について、どの程度満足されているか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- ① 不満
- ② やや不満
- ③ どちらともいえない
- ④ ほぼ満足
- ⑤ 大変満足
- ⑥ 無回答



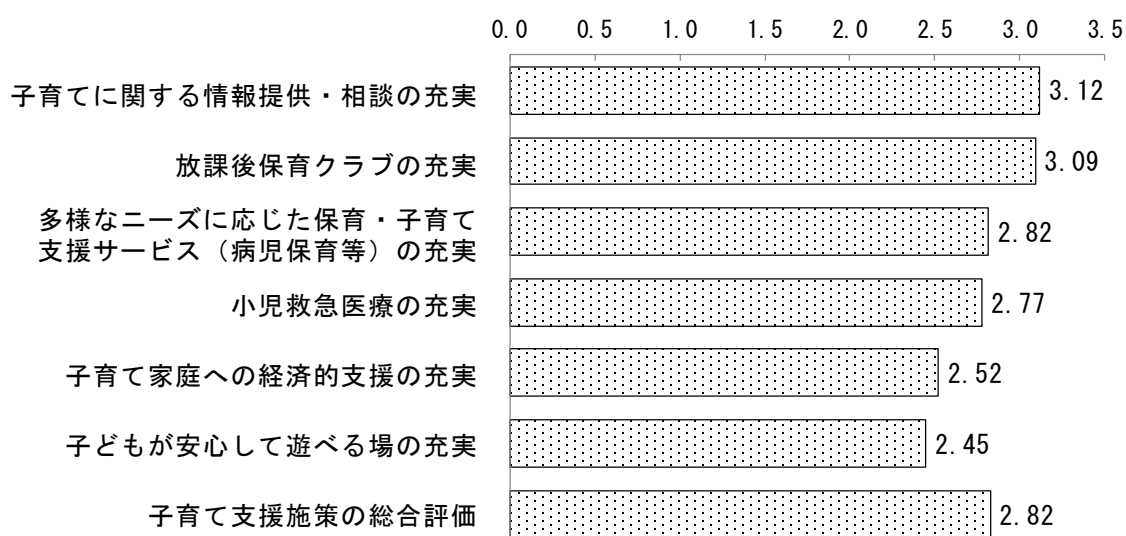
■満足度

下表の基準により、満足度の平均点数を算出した。

大変満足	5点
ほぼ満足	4点
どちらともいえない	3点
やや不満	2点
不満	1点

【分析】

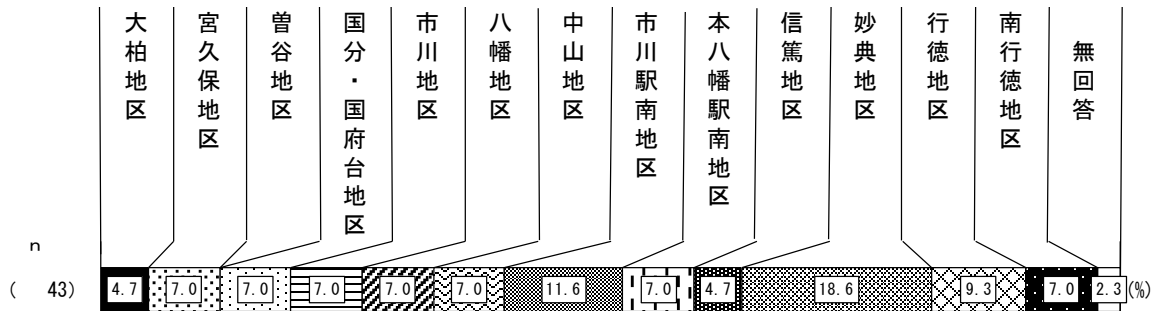
「子育てに関する情報提供・相談の充実」が 3.12 点と最も高く、次いで「放課後保育クラブの充実」が 3.09 点、「多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービス（病児保育等）の充実」が 2.82 点の順となっている。



【3 妊婦の方のいる世帯】

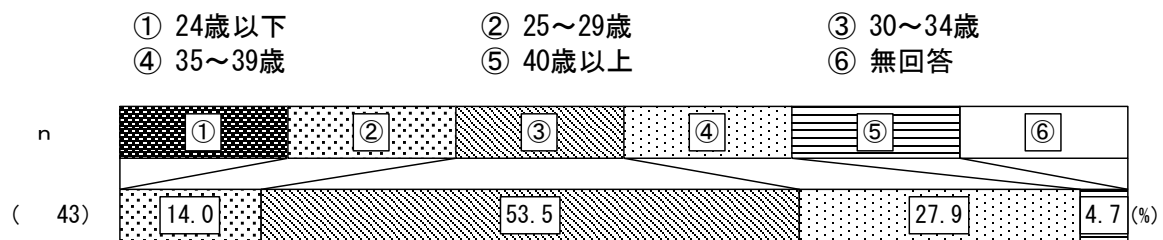
(1) 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

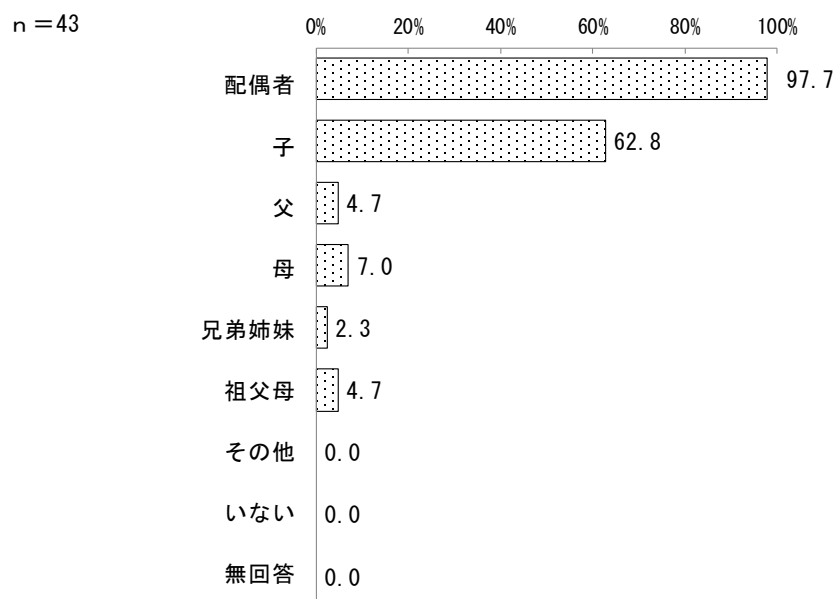


(2) 家族の状況

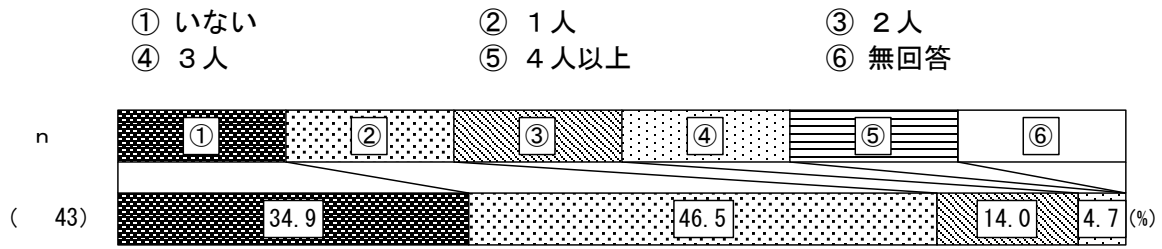
問2 あなたの生年月月をご記入ください。



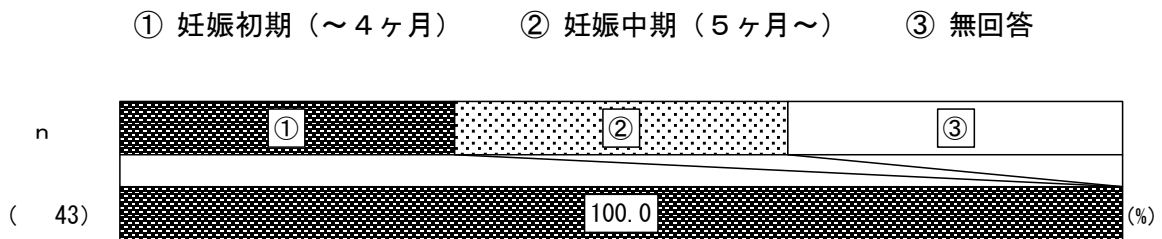
問3 家族の構成をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



問4 お子さんの人数をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(現在妊娠中のお子さんは含みません)



問5 現在の妊娠経過をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

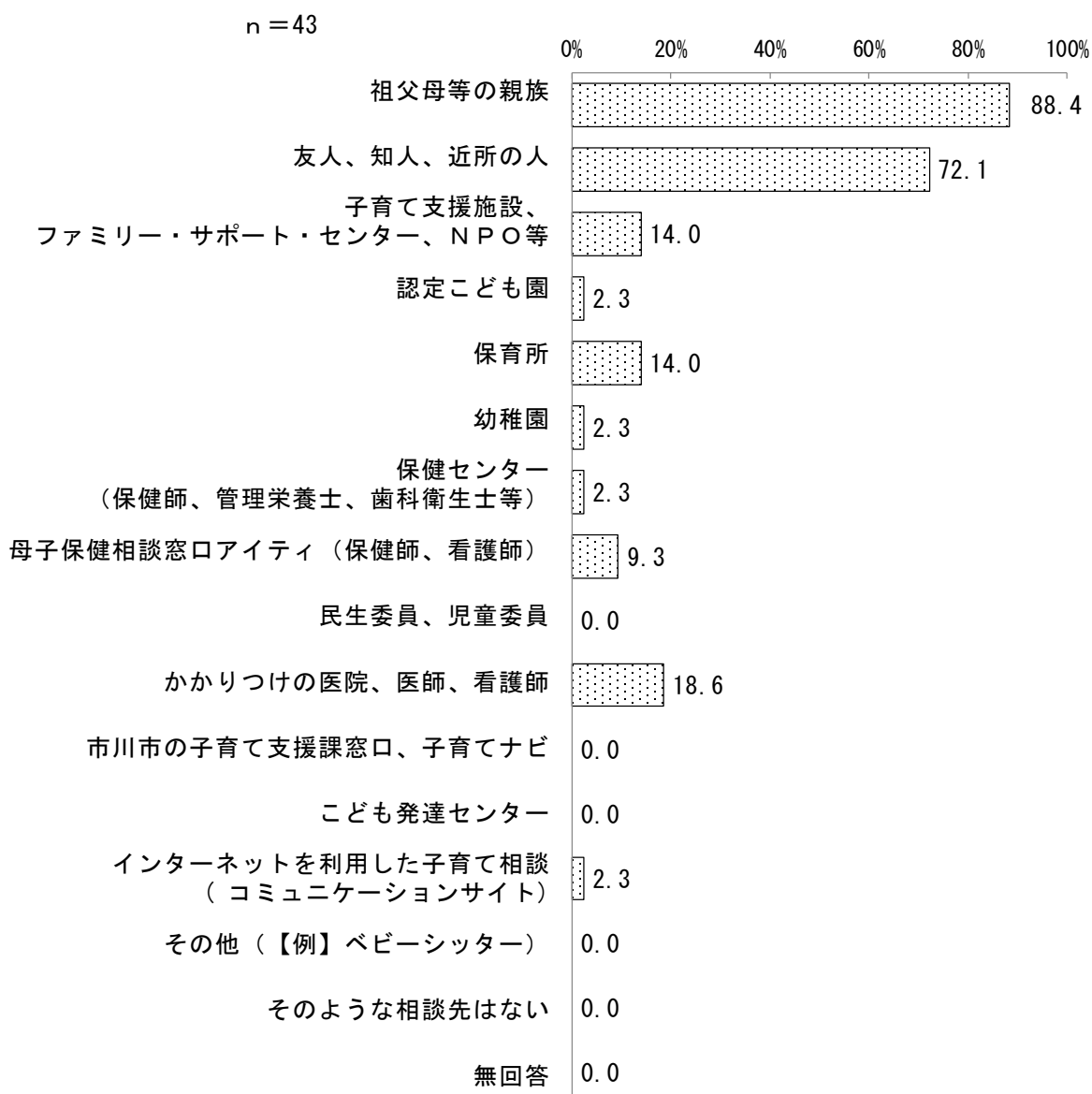


(3) 子育て環境

問6 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

相談相手がいる中では「祖父母等の親族」が 88.4%と最も多く、次いで「友人、知人、近所の人」が 72.1%、「かかりつけの医院、医師、看護師」が 18.6%の順となっている。なお、「そのような相談先はない」と回答した方はいなかった。



問7 問6の15に○をつけた人にうかがいます。どのような相談先がほしいですか。(上の選択肢から当てはまる番号すべてに○をつけてください)

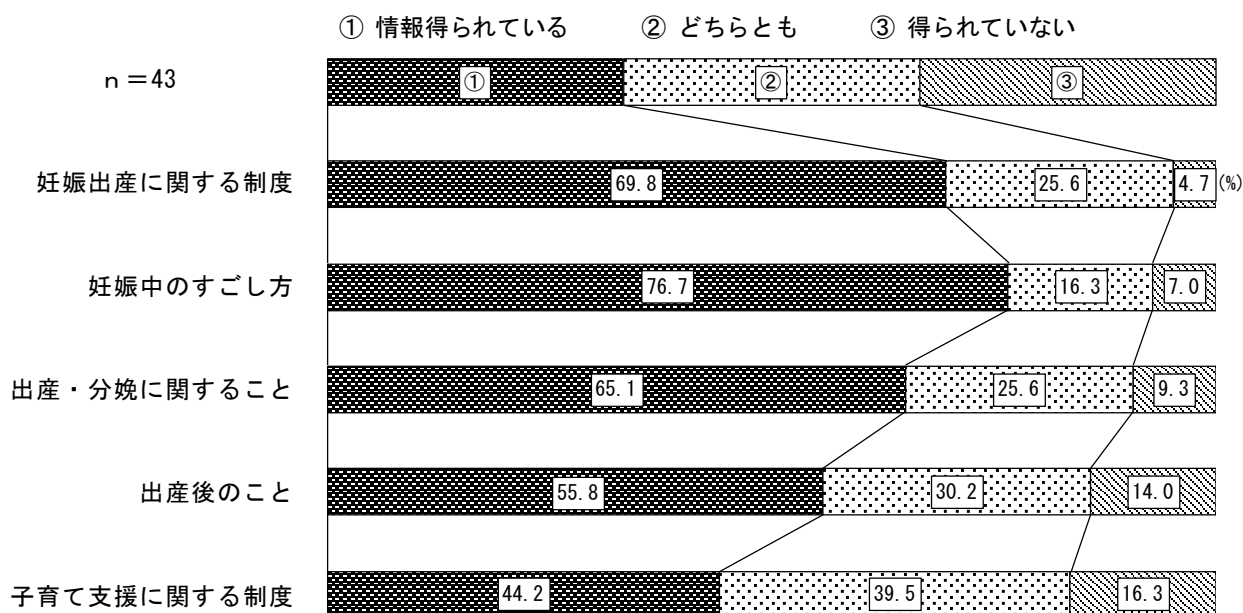
【分析】

問6で「そのような相談先はない」と回答した方はいなかった。

問8 妊娠・出産に関する情報は入手できていますか。それぞれ番号1つに○をつけてください。

【分析】

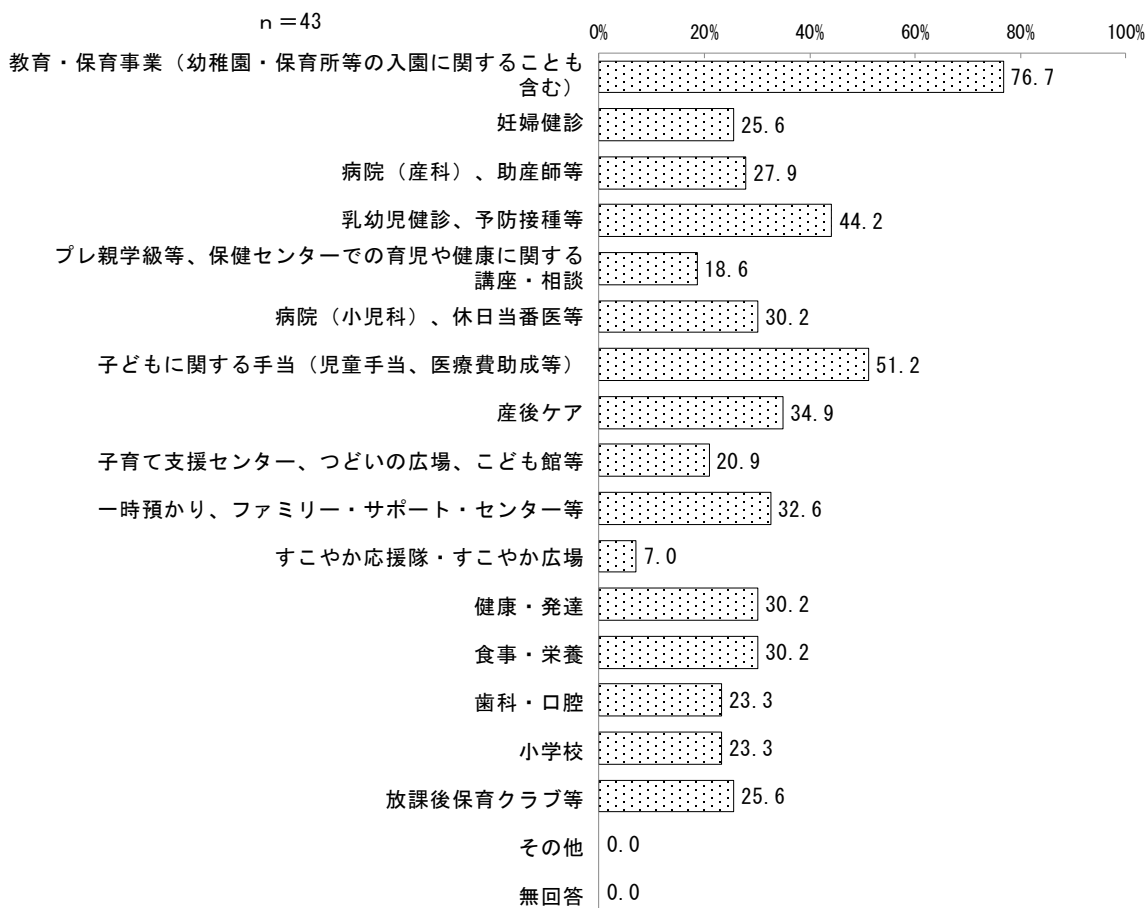
「得られている」では「妊娠中の過ごし方」が76.7%と最も多く、次いで「妊娠出産に関する制度」が69.8%となっている。一方、「得られていない」では「子育て支援に関する制度」が16.3%と最も高くなっている。



問9 子育てに関するどのような情報入手したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

「教育・保育事業（幼稚園・保育所等の入園に関することも含む）」が76.7%と最も多く、次いで「子どもに関する手当（児童手当、医療費助成等）」が51.2%、「乳幼児健診、予防接種等」が44.2%の順となっている。



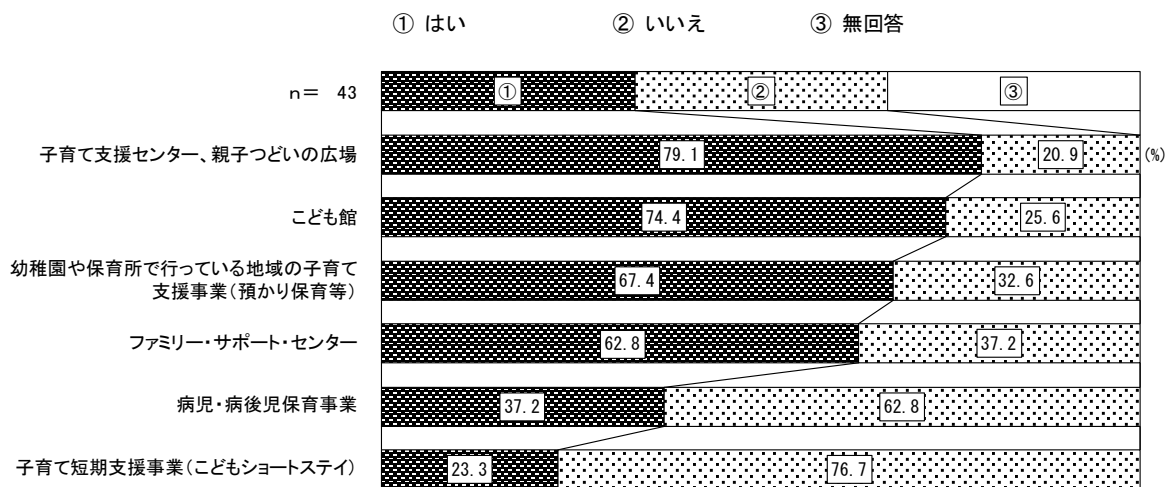
(4) 地域の子育て支援事業の利用状況

問11 「親子つどいの広場」「地域子育て支援センター」「こども館」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です）や、幼稚園・保育所で行っている地域の子育て支援事業などを知っていますか。また今後、それらの利用希望はございますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

■認知度

【分析】

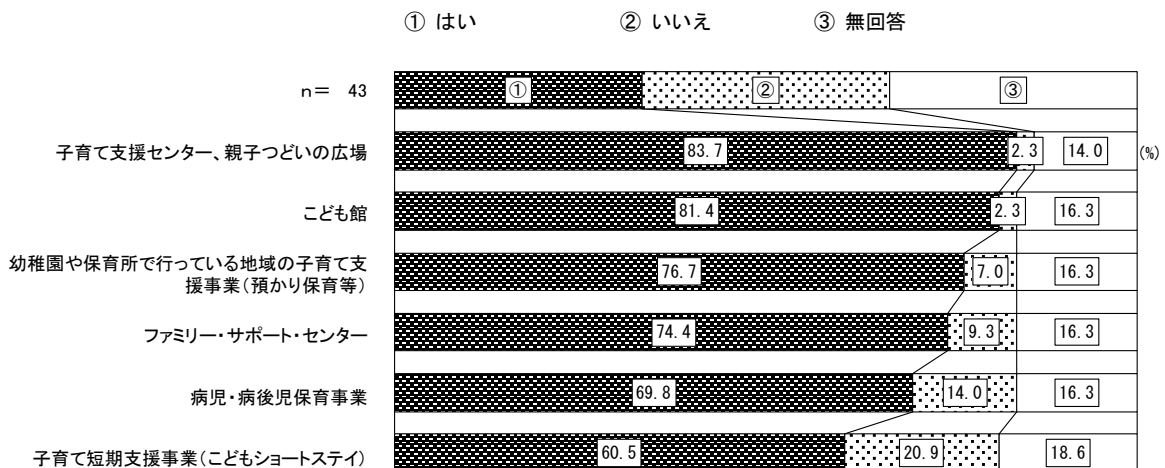
認知度（「知っている」）では「子育て支援センター、親子つどいの広場」が79.1%と最も多く、次いで「こども館」が74.4%となっている。



■今後の利用希望

【分析】

利用希望（「今後利用したい」）では「子育て支援センター、親子つどいの広場」が83.7%と最も多く、次いで「こども館」が81.4%となっている。



問12 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望 総括

	知っている	これまで利用 したことがある	今後利用したい
市のプレ親学級・パパママ栄養クラス	83.7%	30.2%	65.1%
母子保健相談窓口アイティ	93.0%	69.8%	74.4%
保育所の地域交流事業・園庭開放	62.8%	30.2%	83.7%
幼稚園の育児相談・園庭開放	48.8%	20.9%	74.4%
マイ保育園登録事業	7.0%	4.7%	62.8%
子ども家庭総合支援センター	9.3%	4.7%	41.9%
児童家庭支援センターこうのだい	2.3%	2.3%	30.2%
こども発達センター	11.6%	2.3%	44.2%
すこやか応援隊	16.3%	4.7%	46.5%
子育てナビ	44.2%	27.9%	58.1%
いちかわ子育てガイドブック	76.7%	53.5%	76.7%
いちかわっこWEB	34.9%	32.6%	62.8%
予防接種スケジュールナビ	46.5%	27.9%	76.7%

【分析】

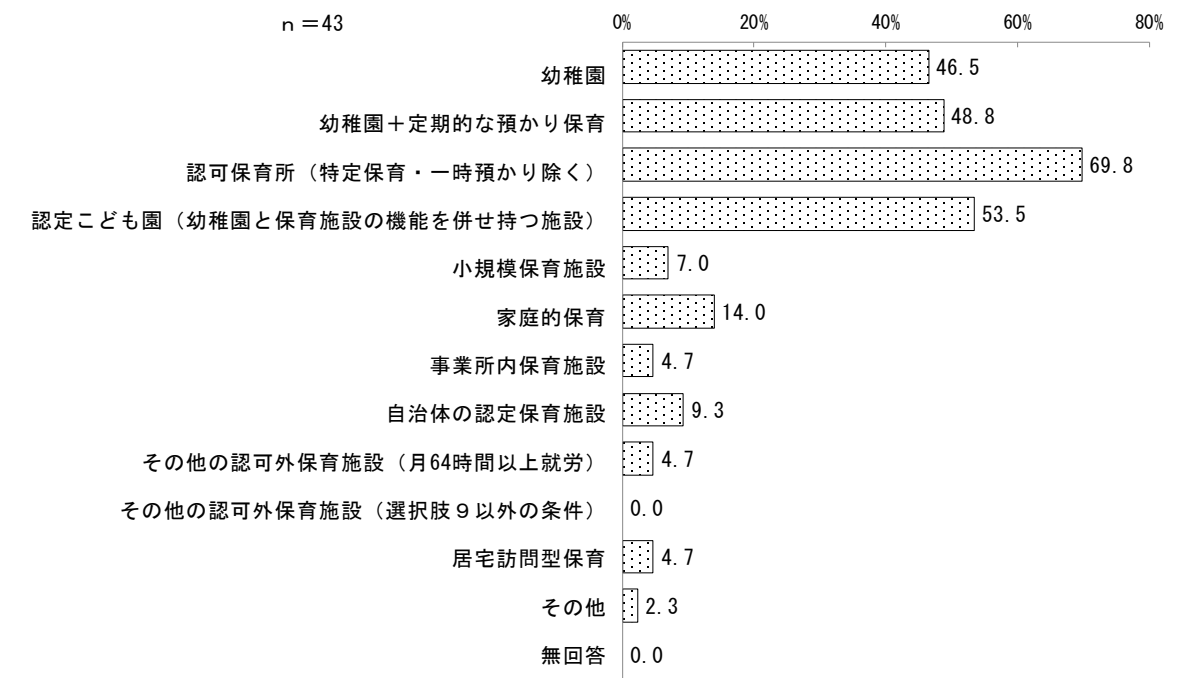
認知度（「知っている」）では「母子保健相談窓口アイティ」が93.0%と最も多く、次いで「市のプレ親学級パパママ栄養クラス」が83.7%となっている。利用状況（「これまで利用したことがある」）では「母子保健相談窓口アイティ」が69.8%と最も多く、次いで「いちかわ子育てガイドブック」が53.5%となっている。利用希望（「今後利用したい」）では「保育所の地域交流事業・園庭開放」が83.7%と最も多く、次いで「いちかわ子育てガイドブック」「予防接種スケジュールナビ」が76.7%となっている。

(5) 幼稚園や保育所、その他の利用希望

問13 お子さんに平日主にどのような教育・保育事業を利用させたいですか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

【分析】

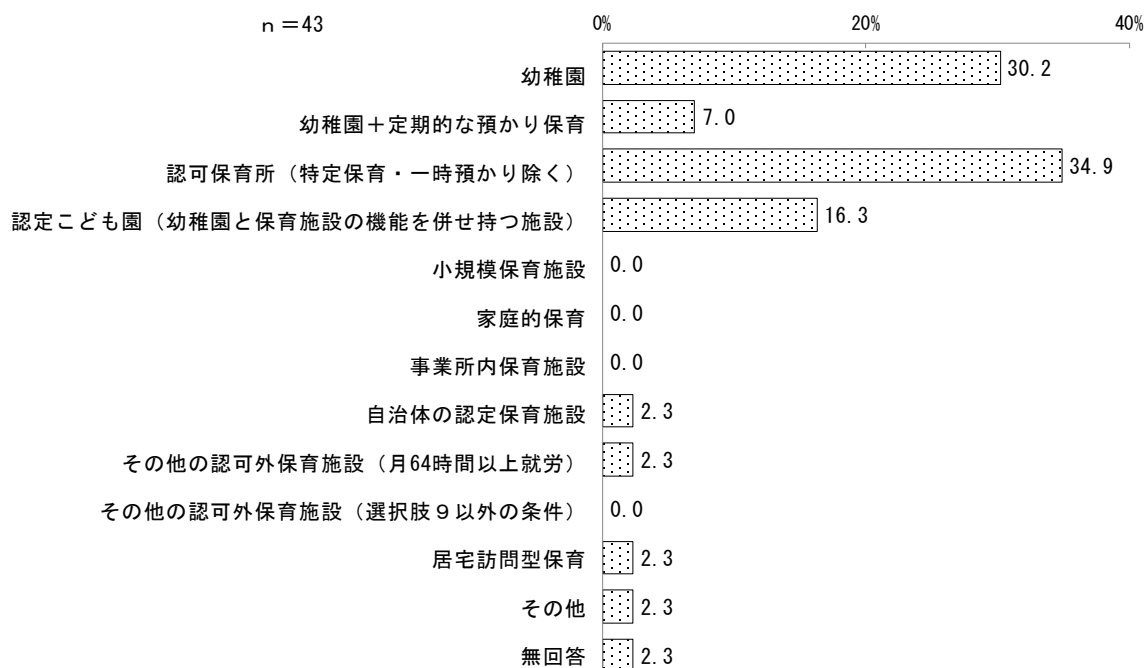
「認可保育所（特定保育・一時預かり除く）」が69.8%と最も多く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が53.5%、「幼稚園+定期的な預かり保育」が48.8%の順となっている。



問14-1 問13の事業の中で、もっとも利用したい事業はどれですか。上記の選択肢から1つお答えください。

【分析】

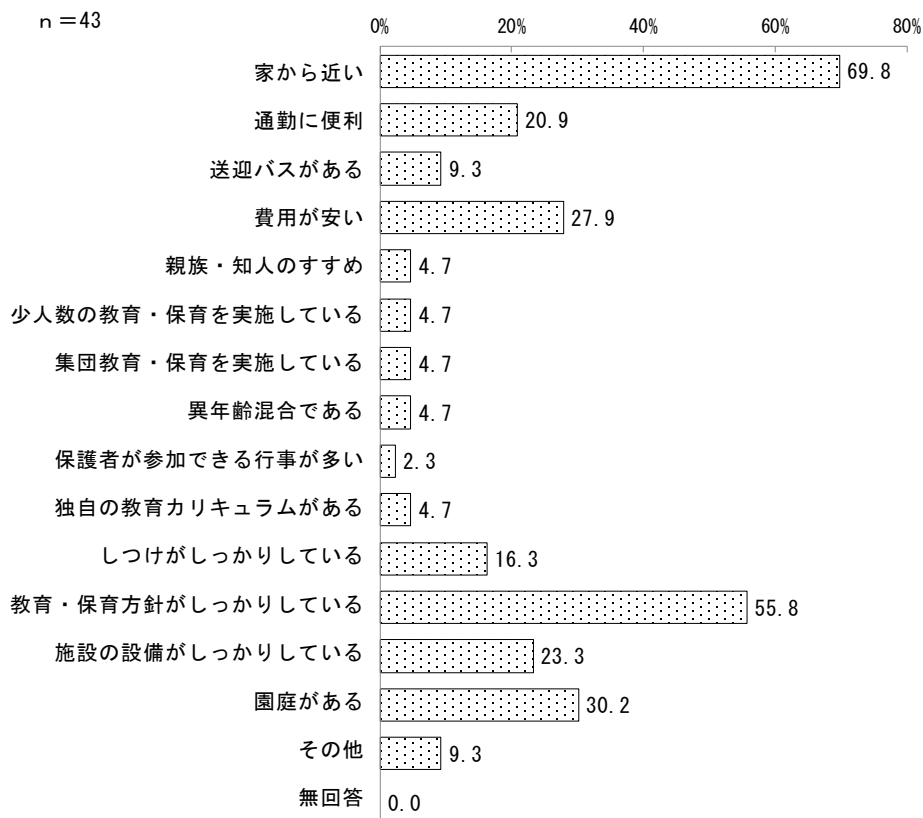
「認可保育所（特定保育・一時預かり）」が34.9%と最も多く、次いで「幼稚園」が30.2%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が16.3%の順となっている。



問14-2 教育・保育事業を選ぶ場合に、何を重視して選びますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

【分析】

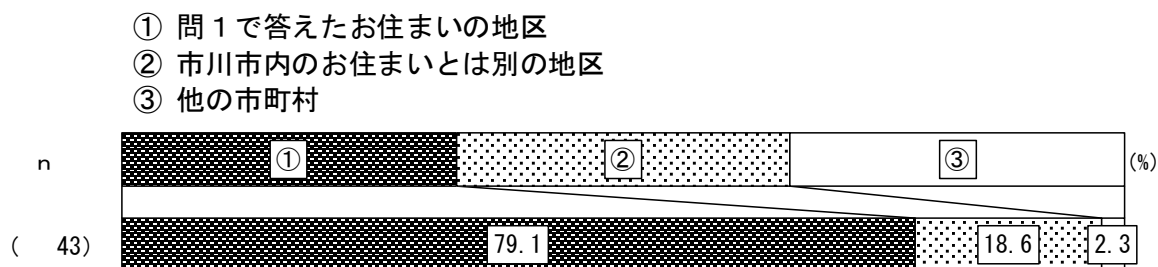
「家から近い」が69.8%と最も多く、次いで「教育・保育方針がしっかりしている」が55.8%、「園庭がある」が30.2%の順となっている。



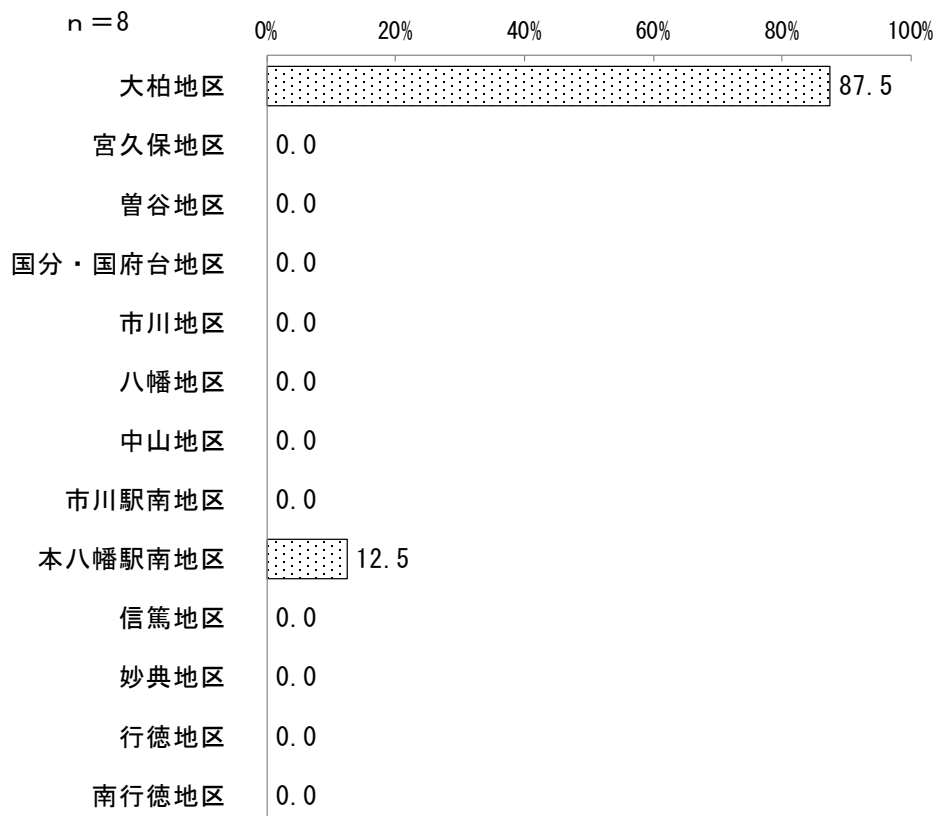
問14-3 お子さんが通う施設はどのような場所にあるのがいいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。2を選んだ方は希望する地区の番号もご記入ください。

【分析】

「問1で答えたお住まいの地区」と回答した人は79.1%であり、「市川市内のお住まいとは別の地区」と「他の市区町村」の割合は、合わせて20.9%であった。



問14-3 希望する地区（「②市川市内のお住まいとは別の地区」の回答をした方のうち）



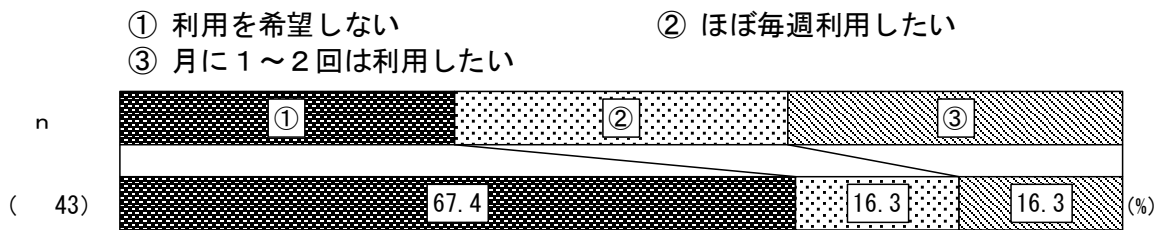
(6) 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

問15 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業の利用希望はありますか（利用料あり）。当てはまる番号1つに○をつけてください。2・3を選んだ方は、口内に希望する時間をご記入ください。（例：09時から18時まで）

(1) 土曜日

【分析】

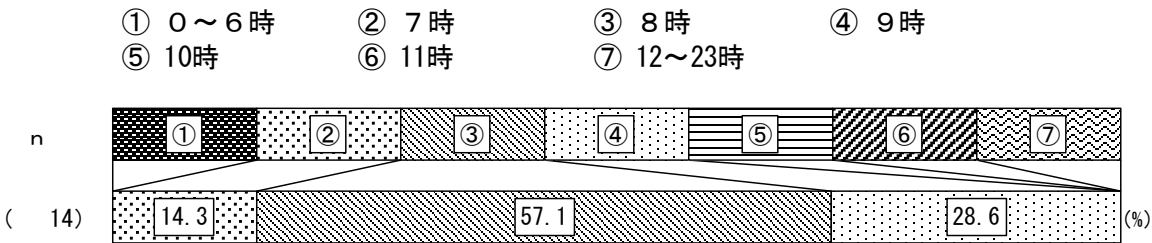
「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」がともに16.3%となっている。



■開始時刻

【分析】

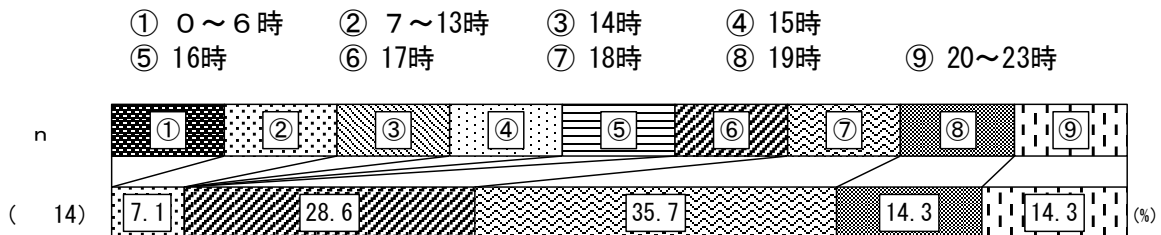
「8時」が57.1%と最も多く、次いで「7時」が14.3%となっている。



■終了時刻

【分析】

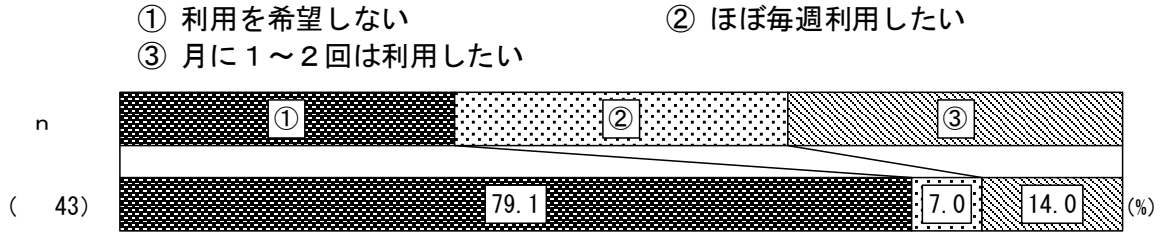
「18時」が35.7%と最も多く、次いで「17時」が28.6%となっている。



(2) 日曜日・祝日

【分析】

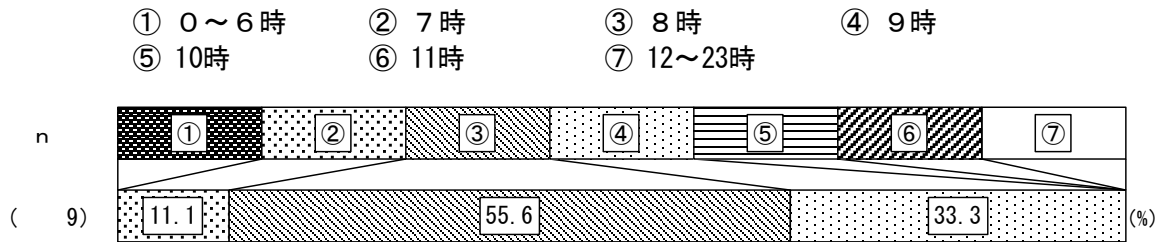
「ほぼ毎週利用したい」が7.0%、「月に1～2回は利用したい」が14.0%となっている。



■開始時刻

【分析】

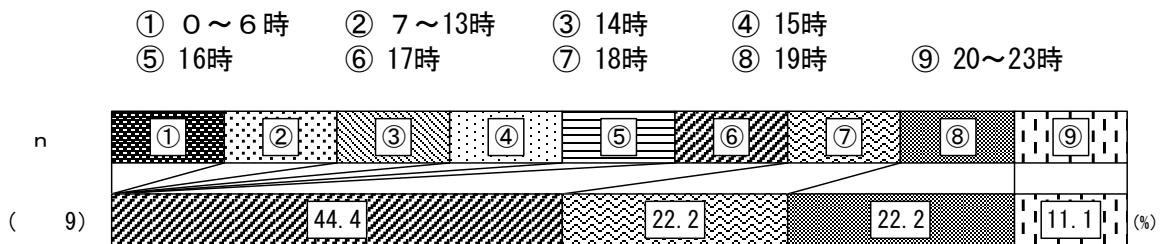
「8時」が55.6%と最も多く、次いで「9時」が33.3%となっている。



■終了時刻

【分析】

「17時」が44.4%と最も多く、次いで「18時」「19時」がともに22.2%となっている。

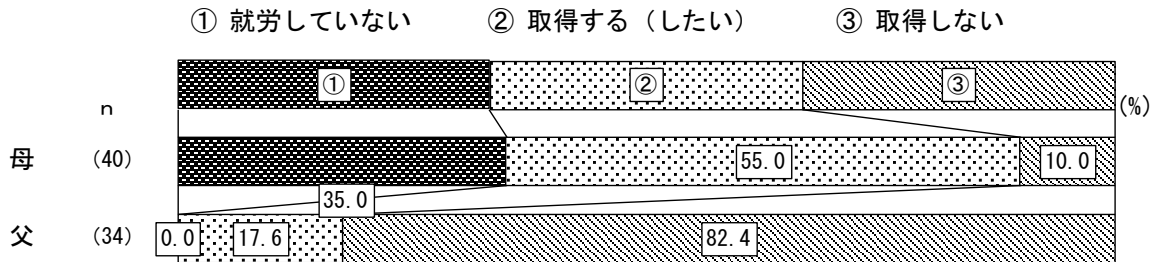


(7) 育児休業など職場の両立支援制度

問16 今後お子さんが生まれた際に、母父のいずれかもしくは両方が育児休業を取得されますか。母・父それぞれに当てはまる番号に○をつけてください。

【分析】

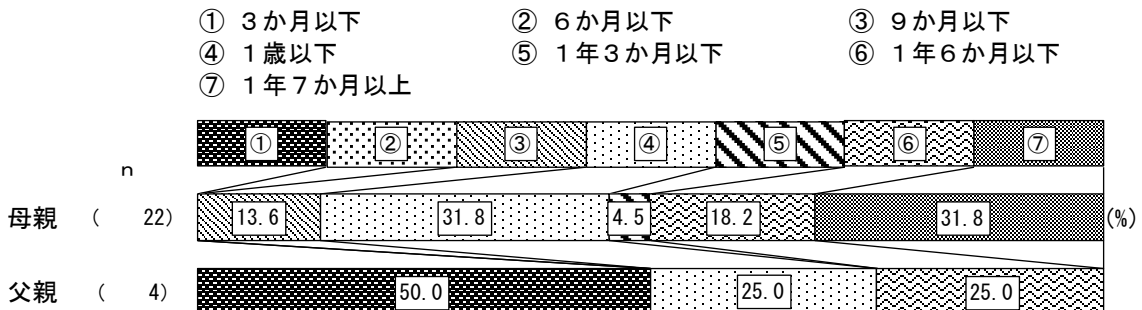
母親では「取得する（したい）」が 55.0%と最も多く、次いで「就労していない」が 35.0%となっている。父親では「取得しない」が 82.4%と最も多く、次いで「取得する（したい）」が 17.6%となっている。



■ 育児休業取得は子供が何歳になるまでか

【分析】

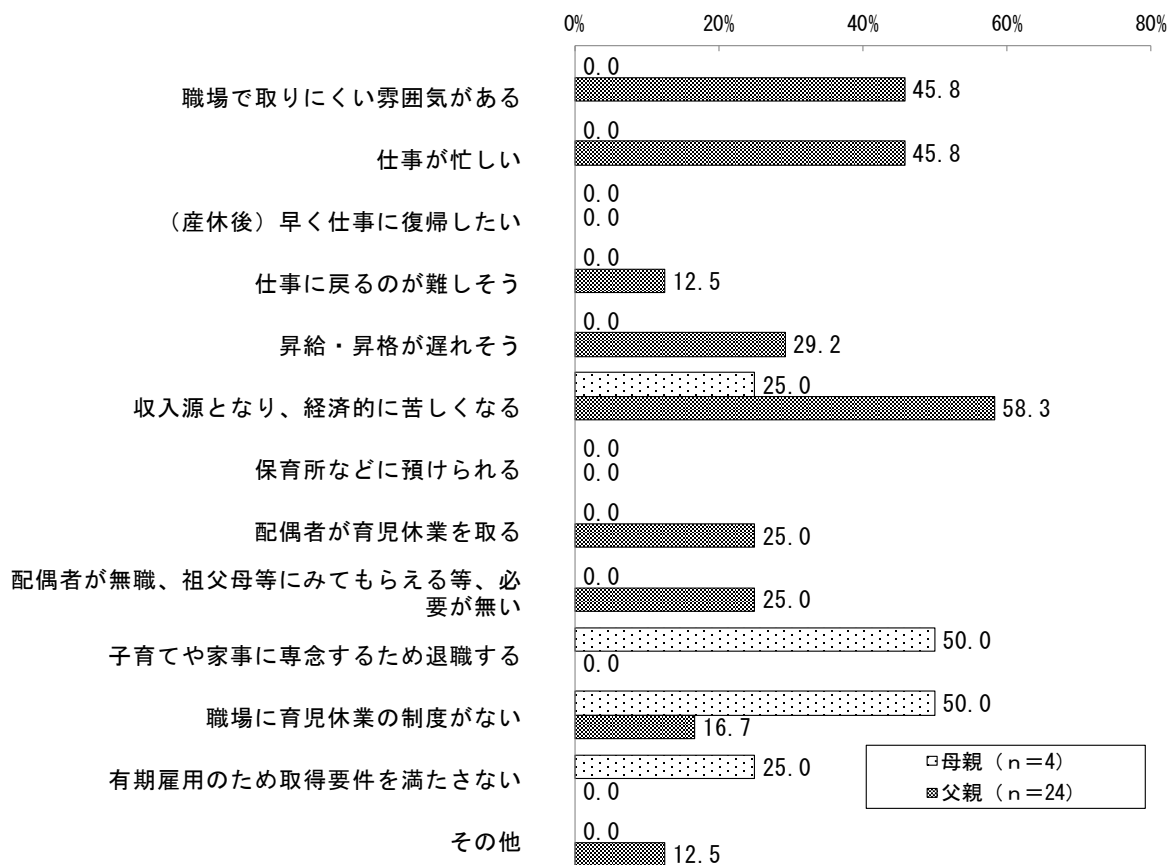
母親では「1年以下」「1年7か月以上」がともに 31.8%と最も多く、次いで「1年6か月以下」が 18.2%となっている。父親はサンプル数が少ないため参考までに図示する。



問16-1 問16で「3. 取得しない」に○をつけた方にうかがいます。取得しない理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【分析】

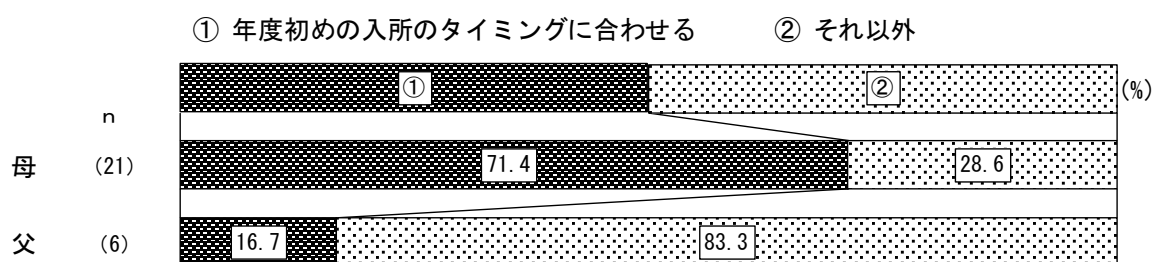
母親はサンプル数が少ないため参考までに図示する。父親では「収入源となり、経済的に苦しくなる」が58.3%と最も多く、次いで「職場で取りにくい雰囲気がある」「仕事が忙しい」が45.8%となっている。



問16-2 問16で「2. 取得する(したい)」に○をつけた方にうかがいます。仕事への復帰のタイミングはいつですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【分析】

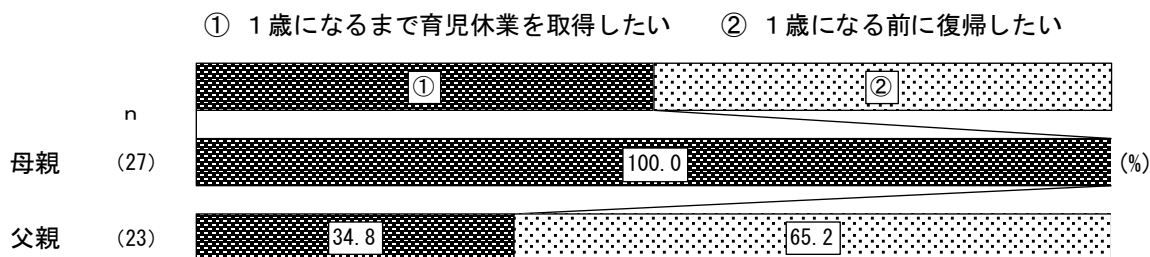
母親では「年度初めの入所のタイミングに合わせる」が71.4%と多くなっている。父親はサンプル数が少ないため参考までに図示する。



問16-3 お子さんが1歳になったときに必ず預けられる保障（保育所の入園など）があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいですか。または、預けられる保障があっても1歳になる前に復帰したいですか。母・父それぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。

【分析】

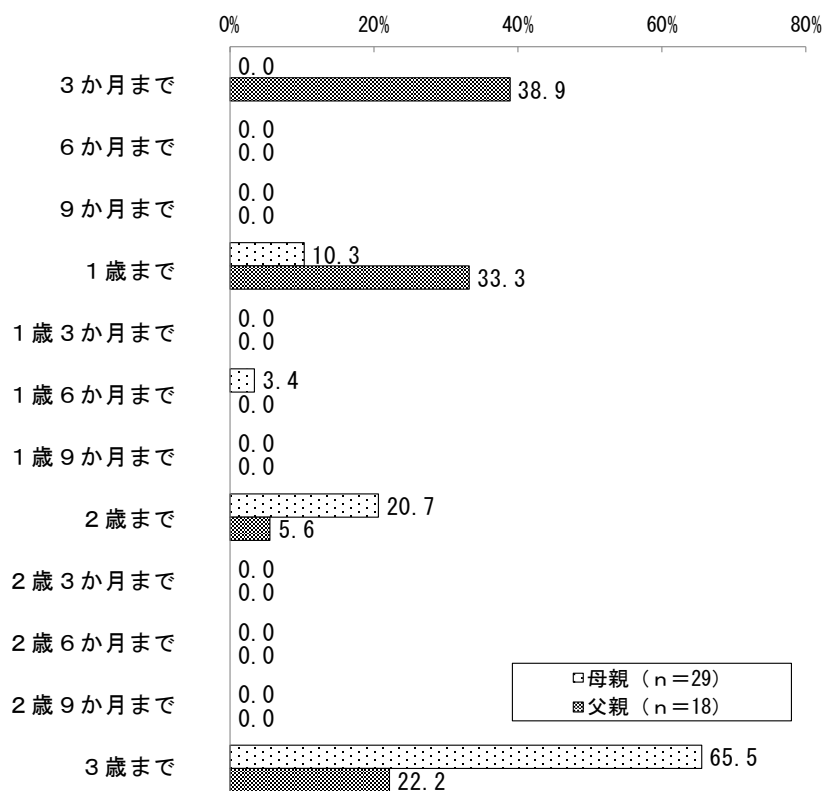
母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が100%、父親では「1歳になる前に復帰したい」が65.2%と多くなっている。



問16-4 勤務先に3歳まで育児のための休暇を取れる制度があったら、何歳まで取りたいですか。□内に希望する年齢をご記入ください。

【分析】

母親では「3歳まで」が65.5%と最も多く、次いで「2歳まで」が20.7%となっている。父親では「3か月まで」が38.9%と最も多く、次いで「1歳まで」が33.3%となっている。

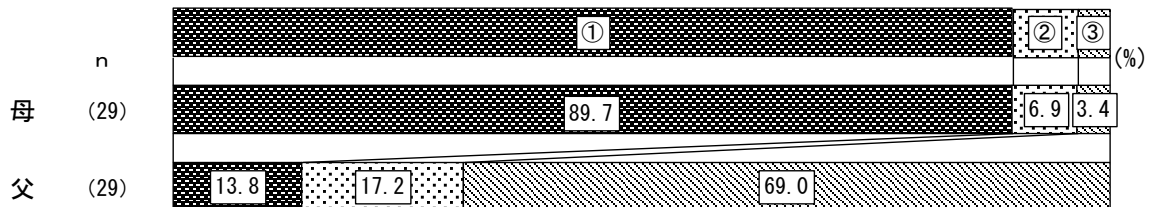


問16-5 仕事に復帰する時、短時間勤務制度を利用したいと思いますか。母・父それぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。

【分析】

「利用したい」の割合は、母親が89.7%、父親が13.8%となっている。

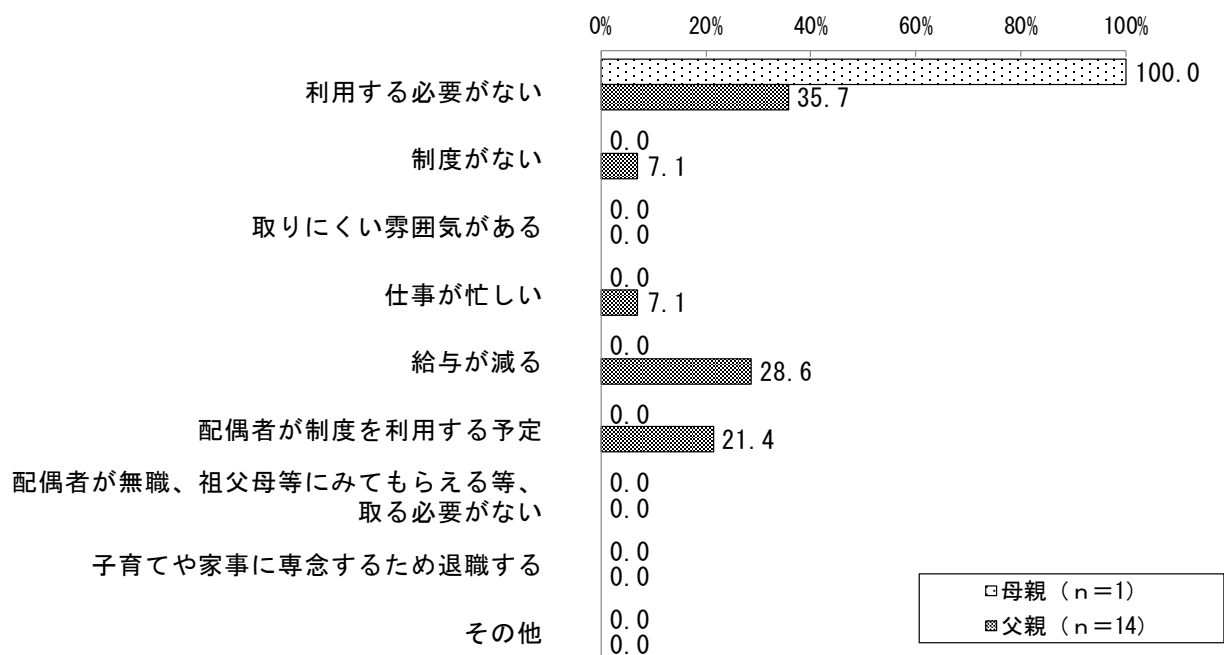
- ① 利用したい
- ② 利用する必要がない（フルタイムで働きたい、元々短時間勤務）
- ③ 利用しない（予定）



問16-6 問16-5で「3. 利用しない（予定）」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しない理由はなんですか。母・父それぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。

【分析】

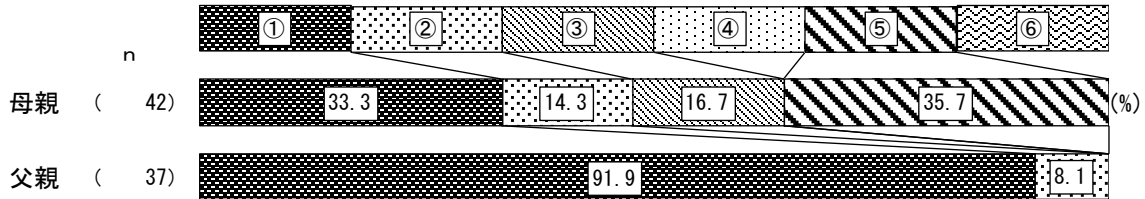
母親はサンプル数が少ないため参考までに図示する。父親では「利用する必要がない」が35.7%と最も多く、次いで「給与が減る」が28.6%となっている。



(8) 保護者の就労状況

問17 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。それぞれいずれかの番号1つに○をつけてください。

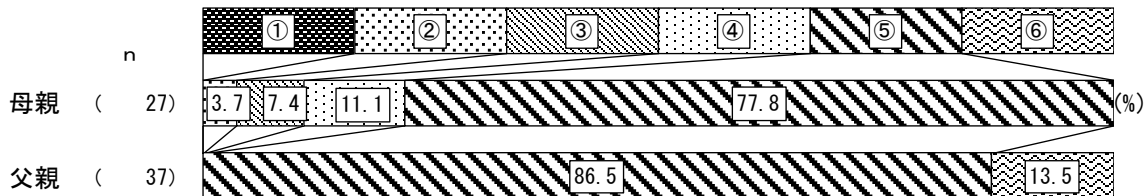
- ① フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない
- ② フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である
- ③ パート・アルバイト等で就労しており、産休・介護休業中ではない
- ④ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・介護休業中である
- ⑤ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ⑥ これまで就労したことがない
- ⑦ 無回答



問17-1 問17で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。現在の就労時間や就労日数、家を出る時間や家に帰る時間をお教えてください。それぞれ口内に希望する数字をご記入ください。

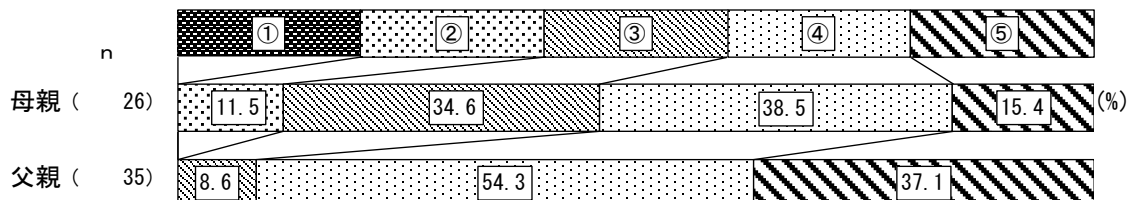
■ 1週あたり就労日数

- ① 1週あたり1日
- ② 1週あたり2日
- ③ 1週あたり3日
- ④ 1週あたり4日
- ⑤ 1週あたり5日
- ⑥ 1週あたり6日以上

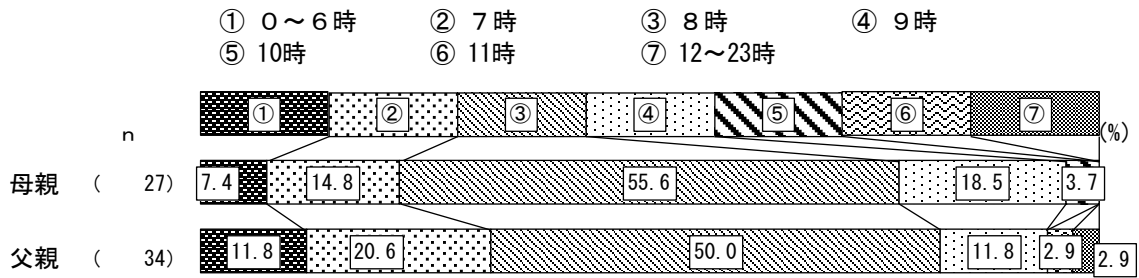


■ 1日あたり就労時間

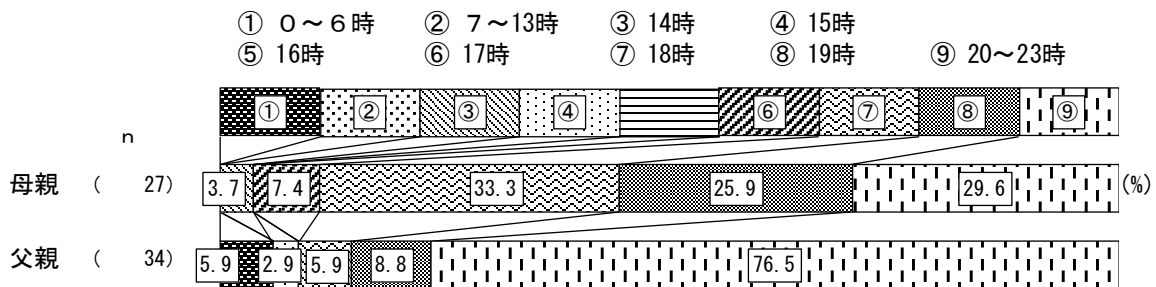
- ① 1日あたり3時間以下
- ② 1日あたり4・5時間
- ③ 1日あたり6・7時間
- ④ 1日あたり8・9時間
- ⑤ 1日あたり10時間以上



■家を出る時間



■家に帰る時間



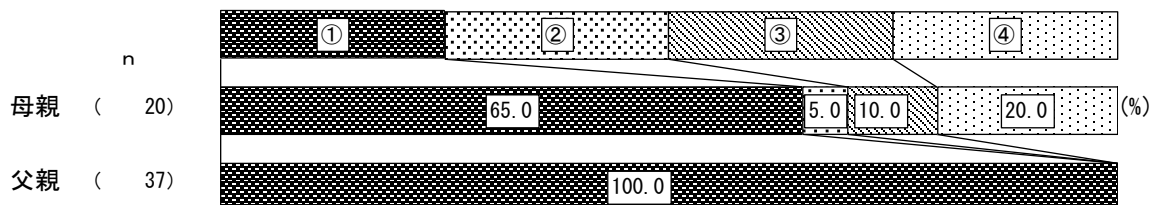
※1日あたり就労時間・家を出る時間・家に帰る時間については分単位での回答を求めており、30分以上は時間を繰り上げ、30分未満は繰り下げて集計を行っている。
 (例:「8時30分」→「9時」、「8時29分」→「8時」)

問17-2 フルタイムの人の今後の就労希望

【分析】

「今の就労を続ける」が母親・父親ともに多く、それぞれ65.0%、100.0%となっている。

- ① 今の就労を続ける
- ② パートタイムやアルバイトへの転換希望があり、実現する見込みがある
- ③ パートタイムやアルバイトへの転換希望があり、実現する見込みがない
- ④ 就労しないで子育てや家事に専念したい

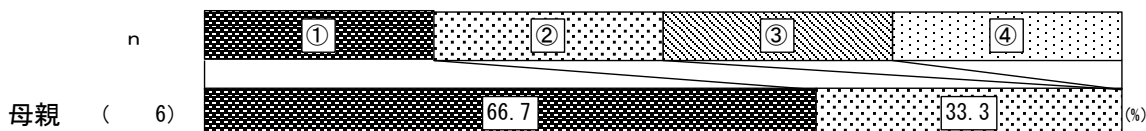


問17-3 パートやアルバイトの人の今後の就労希望

【分析】

母親はサンプル数が少ないため参考までに図示、父親は対象者がいなかった。

- ① 今の就労を続ける
- ② フルタイムへの転換希望があり、実現する見込みがある
- ③ フルタイムへの転換希望があり、実現する見込みがない
- ④ 就労しないで子育てや家事に専念したい

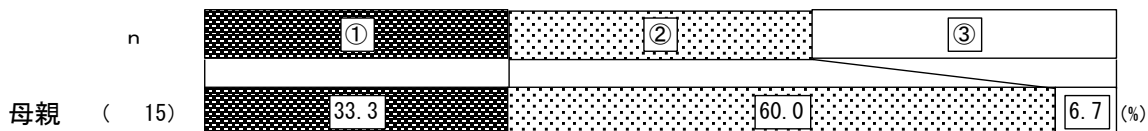


問17-4 就労していない人の今後の就労希望

【分析】

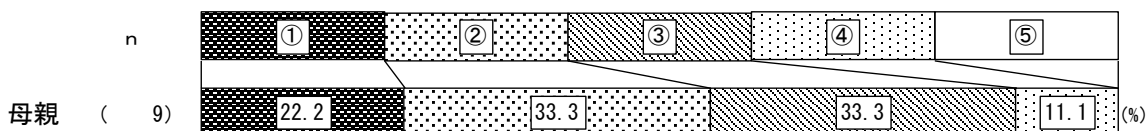
母親では「出産後1年より先、子供がある程度の年齢になった頃に就労したい」が60.0%と多くなっている、父親は対象者がいなかった。

- ① 子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）
- ② 出産後1年より先、子供がある程度の年齢になった頃に就労したい
- ③ 出産後、1年以内に就労したい

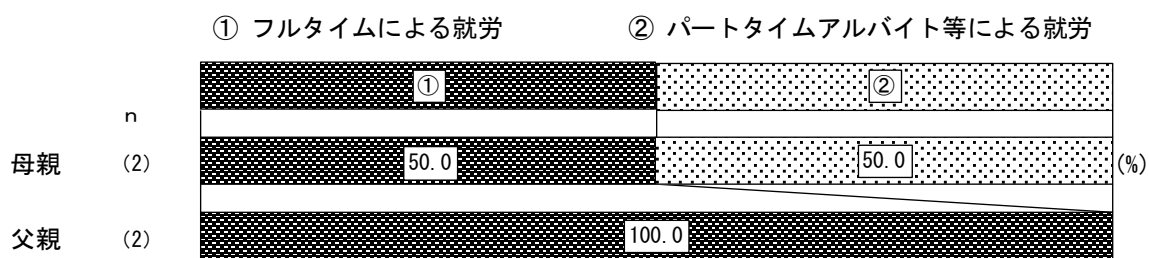


■子供が何歳になったら就労したいか

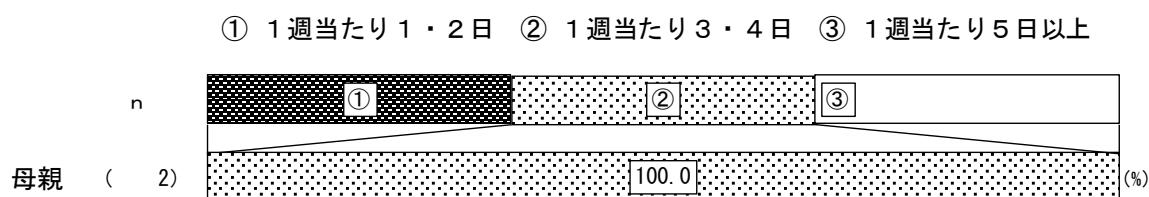
- ① 2歳以下
- ② 3～5歳
- ③ 6～8歳
- ④ 9～11歳
- ⑤ 12歳以上



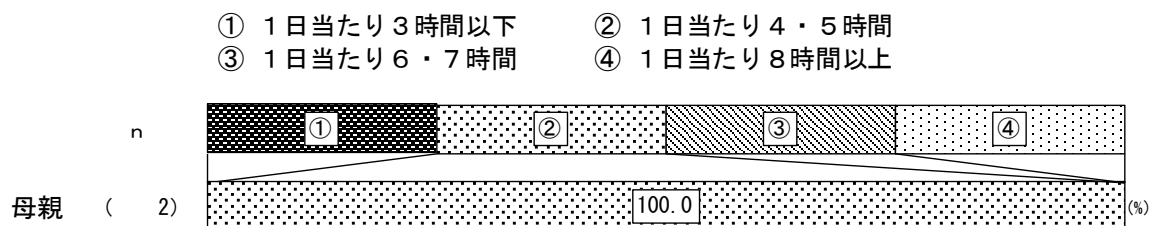
問17-5 出産後に希望する就労形態



■ 1週あたり日数



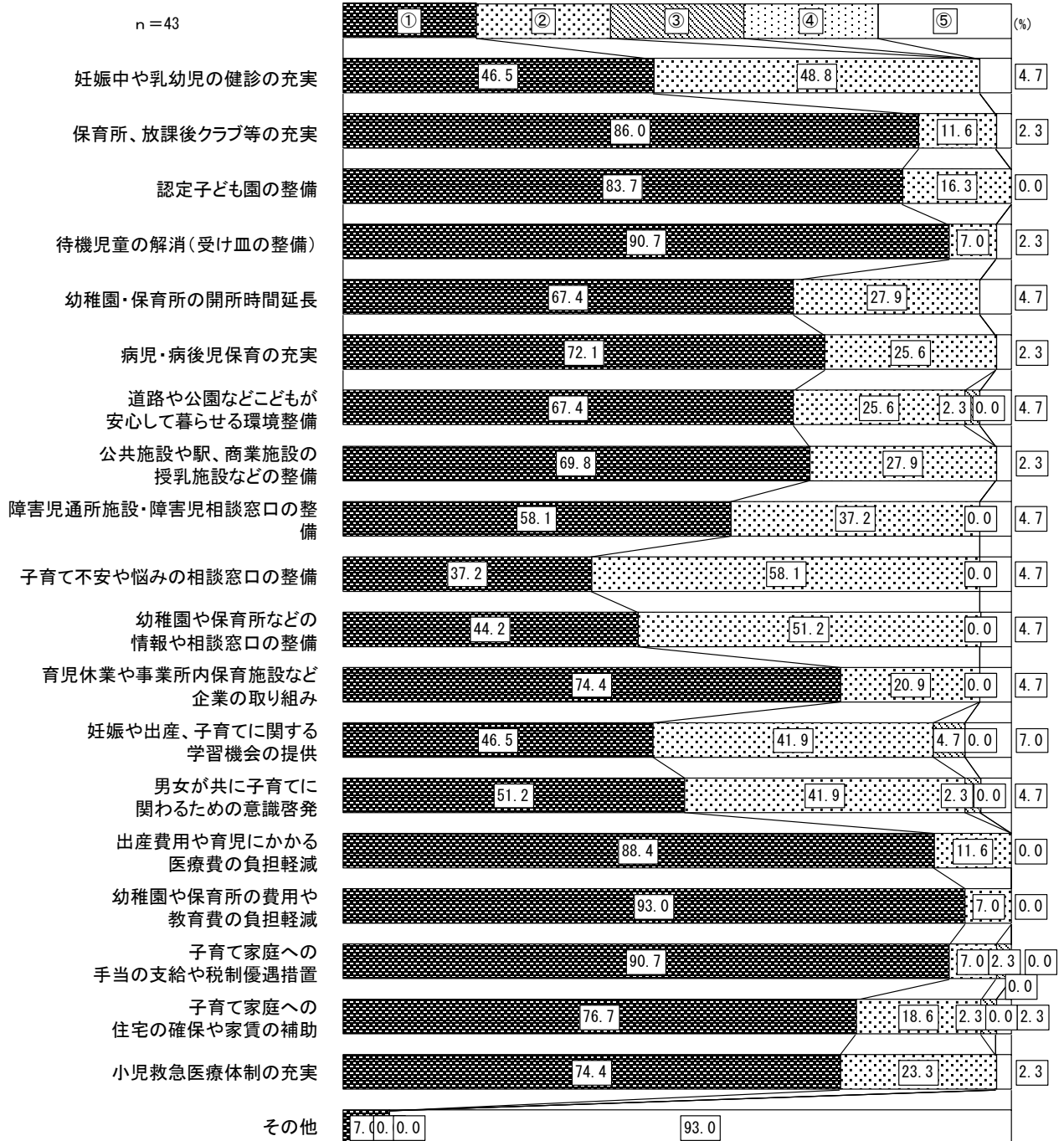
■ 1日あたり時間



(9) 総合

問18 子育てしやすい環境整備のために、国や自治体に期待することはありますか。

- ① 積極的に進めるべき ② 今のままでよい
 ③ あまり行う必要がない ④ 行う必要がない ⑤ 無回答



■期待度

下表の基準により、期待度の平均点数を算出した。

積極的に進めるべき	4点
今のままでよい	3点
あまり行う必要がない	2点
行う必要がない	1点

【分析】

「その他」を除くと、「幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減」「待機児童の解消（受け皿の整備）」が3.93点と最も高く、次いで「出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減」「子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置」「保育所、放課後クラブ等の充実」が3.88点となっている。

